

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉[社文・人福]	1年	授業終了後に教室で原則受け付けます	

学びの準備	ねらい スピーキングとリスニング力を中心とした、実生活で使える英語のコミュニケーション力アップを目指します。	メッセージ まずは怖がらずに英語でメッセージを発信して、コミュニケーションをはかる意識をもってほしいと思います。授業では、私自身の海外での様々なエピソードも交えつつ、インタラクティブなアクティビティをできる限り中心としたものにします。授業への積極的な参加が求められます。真摯に楽しく使える英語力の習得に取り組んでいきましょう！
	到達目標 * 自分について・相手について・お互いに興味のあることに関する情報を英語で共有できる * 英語圏に渡航した際に最低限必要なコミュニケーションを図れる * 英語を用いて異文化への理解に積極的に取り組める	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction/	
	2	In My Life (IML) Self-introduction	
	3	[VSF] Chap 1	
	4	[IML] My hobbies...	
	5	[VSF] Chap 2	
	6	[IML] My recent activities	
	7	[VSF] Chap 3	
	8	[IML] My past	
	9	[VSF] Chap 4	
	10	[IML] My family	
	11	[VSF] Chap 5	
	12	[IML] My friends	
	13	[VSF] Chap 6	
	14	VSF review (クイズ1)	
	15	IML review (クイズ2)	
	16	[VSF] Chap 7	
	17	[IML] My weekly schedule	
	18	[VSF] Chap 8	
	19	[IML] My free time	
	20	[VSF] Chap 9	
	21	[IML] My hometown and neighborhood	
	22	[VSF] Chap 10	
	23	[IML] My home	
	24	[IML] My hopes and dreams	
	25	[IML] My upcoming plans	
	26	Group presentation 準備	
	27	Group presentations 1	
	28	Group presentations 2	
	29	Group presentations 3	
30	Group presentations 4		
31	Wrap up, End-semester exam 準備		

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>指定教科書: ①In My Life: Strategies for Personal Communication (Macmillan; 学内書店にて購入要) ②Viva! San Francisco (Macmillan; ラボ室ソフト教材のため、購入不要)</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> - 講義への出欠は、評価対象となるとともに、毎回確認を行います。妥当かつやむを得ない理由で欠席する際は、事前にメールで連絡してください。 - インタラクティブなアクティビティを多用しますので、毎回積極的な参加姿勢が求められます。Q67
	<p>評価</p> <p>1. 授業への参加姿勢 (出欠、アクティビティなどへの積極的な参加) 10% 2. 中間 review クイズ 20% 3. グループプレゼンテーション20% 3. 期末テスト 35% 4. スクラップブック評価 15%</p> <p>詳細については、第1回の講義にてお知らせします。</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本教科で学んだことを踏まえ、英語IIを履修し応用しましょう。</p>

※ポリシーとの関連性 「リスニング・スピーキング力を重点的に訓練する」と同時に、他のスキル向上も行い、総合的な基礎英語力を付けることを目指す。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [法律・地行]	1年	c. uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	日常的に遭遇するトピックやタスクを通して、リスニングとスピーキングを中心に、4つの基本スキルに加え、語彙、文法をバランスよく学習する。学生一人一人が英語で伝えたいことを常に意識し、自身に必要な英単語や表現を積極的に学ぶことを期待する。また、ペアワークやグループワークを通して共に学び、英語学習が楽しくできる環境作りを目指す。	今まで英語が苦手だった学生が英語に興味を持てるような、そして今まで英語が得意だった学生が更に英語を好きになるような、そんな授業にしていきたいと思っています。See you in class!

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介ができる。 興味のあることや、身近かな事柄について基礎的な英語を用いて話すことができる。 英語でクラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。 タスクを行うための情報収集・問題解方法を自ら考え、実行できる。 授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	スラバスを読む。Unit 1 の予習
	2	Unit 1: Hello!	Unit 1の復習
	3	Viva! San Francisco Ch. 1	Unit 1の復習& Viva SF Ch. 1復習
	4	Unit 1: Hello!	Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch. 2	Unit 2の予習& Viva SF Ch. 2復習
	6	Unit 2: Your World	Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch. 3	Unit 2の復習& Viva SF Ch. 3復習
	8	Unit 2: Your World	Unit 2の復習
	9	Viva! San Francisco Ch. 4	Unit 3予習& Viva SF Ch. 4復習
	10	Unit 3: All about you	Unit 3の復習
	11	Viva! San Francisco Ch. 5	Unit 3の復習 Viva SF Ch. 5復習
	12	Unit 3: All about you	Unit 3の復習 Viva SF 1-5復習
	13	Viva! San Francisco Review Ch. 1-5	Unit 4の予習
	14	Unit 4: Family and Friends	Unit 4の復習
	15	Viva! San Francisco Ch. 6	Unit 4の復習& Viva SF Ch. 6復習
	16	Unit 4: Family and Friends	Unit 4の復習
	17	Viva! San Francisco Ch. 7	Unit 1-4復習& Viva SF Ch. 7復習
	18	中間テスト Unit 1-4	「英語関連の本を読もう」課題
	19	Viva! San Francisco Ch. 8	Unit 5の予習& Viva SF Ch. 8復習
	20	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	21	Viva! San Francisco Ch. 9	Unit 5の復習& Viva SF Ch. 9復習
	22	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	23	Viva! San Francisco Ch. 10	Unit 6予習& Viva SF Ch. 10復習
	24	Unit 6: Every day	Unit 6復習& Viva SF Ch. 6-10復習
	25	Viva! San Francisco Review Ch. 6-10	Unit 6の復習
	26	Unit 6: Every day	Unit 6の復習 Viva SFプレゼン準備
	27	Viva! San Francisco Presentations	Unit 7の予習 Viva SFプレゼン準備
	28	Unit 7: My favorites	Unit 7の復習 Viva SFプレゼン準備
	29	Viva! San Francisco Presentations	Unit 7の復習
30	Unit 7: My favorites	Unit 1-7の復習	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Starter (Student Book, Second Edition), Oxford University Press 参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介します。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ほぼ毎回クイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性(20%) ②中間試験(20%) ③期末試験(20%) ④課題(20%) ⑤クイズ・Self Reflection(20%)を総合的に判断して評価する。</p> <p>また、授業以外に積極的に英語活動を行ったもの、ゲーム等の勝者にはボーナスポイントを与える場合があるのでそれらも考慮する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の英語IIは夏休みを挟むので英語Iで学んだことを積極的に活用し、日常生活でも英語を使うことを心がけてほしい。英語IIでは学んだことを応用したり、英語を使っの課題やタスクが増えるのでそれに備えて様々な体験をし、視野を広げてほしい。</p>

※ポリシーとの関連性 英語I・IIの到達目標である「会話を聞いて、情報を理解し、的確に答え、用件を伝えることができる。」に沿った学習を進める。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 広美 [企業システム]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	スピーキング・リスニングを中心に英語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。コミュニケーション力は単に情報の受信や発信という技術的な事だけではなく、その背景にある文化を理解することでもある。よって、さまざまな教材を通してスピーキング・リスニングの技術習得と共に異文化理解も深めていく。	将来、どのような職業に就くにしても、英語の必要性は高くなることが予想されます。また、高い英語力があれば職業の選択の幅も広がります。また、このクラスで学んだ英語によるコミュニケーション力は母国語においても発揮されるはずで、企業はコミュニケーション能力の高い社員を求めています。積極的に授業に参加して英語の基礎力・コミュニケーション力を身に付けて下さい。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平易な英語を聞いて理解できる。 2. 日常生活において必要なことを英語で伝えることができる。 3. 平易な英文を読んで理解できる。 4. クラスメートと協力してペアワークやグループ学習ができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	クラスオリエンテーション	シラバスをよく読むこと
	2	New Friends, New Faces	Good Morning U. 1
	3	Reading a short story	Time to Read U. 1
	4	New Friends, New Faces	Good Morning U. 1
	5	Reading a short story	Time to Read U. 2
	6	Express Yourself!	Good Morning U. 2
	7	Reading a short story	Time to Read U. 3
	8	Express Yourself!	Good Morning U. 2
	9	Reading a short story	Time to Read U. 4
	10	What Do We Need?	Good Morning U. 2
	11	Reading a short story	Time to Read U. 5
	12	What Do We Need?	Good Morning U. 3
	13	Good Morning World Unit 1-3	Review U. 1-3
	14	Oral Activity 1	Practice U. 1-3
	15	Midterm Exam	Review U. 1-3
	16	Vacation!	Good Morning U. 4
	17	Reading a short story	Time to Read U. 6
	18	Vacation!	Good Morning U. 4
	19	Reading a short story	Time to Read U. 7
	20	Vacation!	Good Morning U. 4
	21	Reading a short story	Time to Read U. 8
	22	Heroes	Good Morning U. 5
	23	Reading a short story	Time to Read U. 9
	24	Heroes	Good Morning U. 5
	25	Reading a short story	Time to Read U. 10
	26	The Mind	Good Morning U. 6
	27	The Mind	Good Morning U. 6
	28	The Mind	Good Morning U. 6
	29	Good Morning World Unit 4-6	Review U. 4-6
30	Oral Activity 2	Practice U. 1-3	
31	Final Exam	Review U. 4-6	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Good Morning World! センゲージラーニング (株) 2. It's Time to Read! 南雲堂 3. Viva! San Francisco. MACMILAN (インストールされているので購入する必要はありません)
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>学科でクラス分けをしているので、無断でクラスを変更しないと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスに出席する。遅刻として認めるのは開始20分まで、それ以上の遅刻は欠席とみなす。3回の遅刻は1回の欠席とみなす。3分の1以上の欠席者には単位は与えない。 2. 授業に積極的に参加する。教員の質問に答えるのは勿論のこと、わからないところは遠慮なく質問する。また、授業中の演習には真剣に取り組む。(Class Participation) 3. 前もってテキストの単語を調べる等の予習をする。宿題は必ず済ませておく。 4. クイズ・定期テストは必ず受ける。
	<p>評価</p> <p>Class Participation 10% (上記の到達目標の1～4を評価)</p> <p>Viva! Quiz 10% (上記の到達目標の1,2を評価)</p> <p>Reading Quiz 10% (上記の到達目標の3を評価)</p> <p>Oral Activities 20% (上記の到達目標2,3,4を評価)</p> <p>Exams 50% (上記の到達目標の2,3,4を評価)</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iで学習した英語の基礎を土台に、後期に英語IIへ進む。英語IIは内容が濃くなり、また、応用も求められるので、夏休み中にインターネット・洋画等を利用した幅広い英語の学習を続けて欲しい。</p>

※ポリシーとの関連性 「リスニング・スピーキング力を重点的に訓練する」と同時に、他のスキル向上も行い、総合的な基礎英語力を付けることを目指す。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [産業情報]	1年	c. uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>日常的に遭遇するトピックやタスクを通して、リスニングとスピーキングを中心に、4つの基本スキルに加え、語彙、文法をバランスよく学習する。学生一人一人が英語で伝えたいことを常に意識し、自身に必要な英単語や表現を積極的に学ぶことを期待する。また、ペアワークやグループワークを通して共に学び、英語学習が楽しくできる環境作りを目指す。</p>	<p>今まで英語が苦手だった学生が英語に興味を持てるような、そして今まで英語が得意だった学生が更に英語を好きになるような、そんな授業にしていきたいと思っています。See you in class!</p>

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介ができる。 興味のあることや、身近かな事柄について基礎的な英語を用いて話すことができる。 英語で・クラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。 タスクを行うための情報収集・問題解方法を自ら考え、実行できる。 授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	スラバスを読む。Unit 1 の予習
	2	Unit 1: Hello!	Unit 1の復習
	3	Viva! San Francisco Ch. 1	Unit 1の復習& Viva SF Ch. 1復習
	4	Unit 1: Hello!	Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch. 2	Unit 2の予習& Viva SF Ch. 2復習
	6	Unit 2: Your World	Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch. 3	Unit 2の復習& Viva SF Ch. 3復習
	8	Unit 2: Your World	Unit 2の復習
	9	Viva! San Francisco Ch. 4	Unit 3予習& Viva SF Ch. 4復習
	10	Unit 3: All about you	Unit 3の復習
	11	Viva! San Francisco Ch. 5	Unit 3の復習 Viva SF Ch. 5復習
	12	Unit 3: All about you	Unit 3の復習 Viva SF 1-5復習
	13	Viva! San Francisco Review Ch. 1-5	Unit 4の予習
	14	Unit 4: Family and Friends	Unit 4の復習
	15	Viva! San Francisco Ch. 6	Unit 4の復習& Viva SF Ch. 6復習
	16	Unit 4: Family and Friends	Unit 4の復習
	17	Viva! San Francisco Ch. 7	Unit 1-4復習& Viva SF Ch. 7復習
	18	中間試験 Unit 1-4	「英語関連の本を読もう」課題
	19	Viva! San Francisco Ch. 8	Unit 5の予習 & Viva SF Ch. 8復習
	20	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	21	Viva! San Francisco Ch. 9	Unit 5の復習 & Viva SF Ch. 9復習
	22	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	23	Viva! San Francisco Ch. 10	Unit 6予習& Viva SF Ch. 10復習
	24	Unit 6: Every day	Unit 6復習& Viva SF Ch. 6-10復習
	25	Viva! San Francisco Review Ch. 6-10	Unit 6の復習
	26	Unit 6: Every day	Unit 7の予習 Viva SFプレゼン準備
	27	Viva! San Francisco Presentations	Unit 7の予習 Viva SFプレゼン準備
	28	Unit 7: My favorites	Unit 7の復習 Viva SFプレゼン準備
	29	Viva! San Francisco Presentations	Unit 7の復習
30	Unit 7: My favorites	Unit 1-7の復習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Starter (Student Book, Second Edition), Oxford University Press 参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介します。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ほぼ毎回クイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性（20%）②中間試験（20%）③期末試験（20%）④課題（20%） ⑤クイズ・Self Reflection（20%）を総合的に判断して評価する。</p> <p>また、授業以外に積極的に英語活動を行ったもの、ゲーム等の勝者にはボーナスポイントを与える場合があるのでそれらも考慮する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の英語IIは夏休みを挟むので英語Iで学んだことを積極的に活用し、日常生活でも英語を使うことを心がけてほしい。英語IIでは学んだことを応用したり、英語を使っての課題やタスクが増えるのでそれに備えて様々な体験をし、視野を広げてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 ゆかり [経済・環境・企業・産情(2年以上)]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい (1) 感情や事実、考えや意図等を伝える活動（ペアワークやグループワーク）を通して、スピーキングおよびリスニングスキルを高める。 (2) 他者を受容し多様な価値観を受容するコミュニケーション能力を高める	メッセージ 互いを尊重し、共に学びあう学習環境を作り上げるコミュニティの一員であるという自覚をもち、主体性を持って授業に参加しよう。出席重視はもちろんですが、積極的に授業へ参加（発言や会話の練習）できることが最も重要です。事前準備（音読・暗唱の練習）ができる学生の受講を期待します。
	到達目標 (1) 調べた情報を英語で他者に伝え、自らの問題意識に引き付けて考え英語で自分の考えを発信できる。 (2) クラスメートの発言・発話を聞き、その内容を把握し理解し、英語でリアクション・コミュニケーションできる。 (3) 互いの英語による発話・発言を尊重し、協力して課題に取り組むことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション（授業の進め方の説明と小テスト）	シラバスの確認
	2	イントロダクション（小テスト返却）	自己紹介・他者紹介について
	3	Unit 1 Icebreaking	Section1 を予習
	4	Unit 1 Icebreaking	Section2 "
	5	Unit 1 Icebreaking 発表1	Section3 "
	6	Unit 1 Icebreaking 小テスト1	Section4 "
	7	Unit 2 Describing People (Character)	Section1 を予習
	8	Unit 2 Describing People (Character)	Section2 "
	9	Unit 2 Describing People (Character) 発表2	Section3 "
	10	Unit 2 Describing People (Character) 小テスト2	Section4 "
	11	Unit 3 Describing People (Appearance)	Section1 を予習
	12	Unit 3 Describing People (Appearance)	Section2 "
	13	Unit 3 Describing People (Appearance) 発表3	Section3 "
	14	Unit 3 Describing People (Appearance) 小テスト3	Section4 "
	15	テスト対策	テスト勉強（リスニング）
	16	中間テスト (Unit 1-3)	テスト勉強（リスニング）
	17	テスト振り返り・音読	音読
	18	Unit 4 Inviting People	Section1 を予習
	19	Unit 4 Inviting People	Section2 "
	20	Unit 4 Inviting People 発表4	Section3 "
	21	Unit 4 Inviting People 小テスト4	Section4 "
	22	Unit 5 Giving Directions	Section1 を予習
	23	Unit 5 Giving Directions	Section2 "
	24	Unit 5 Giving Directions 発表5	Section3 "
	25	Unit 5 Giving Directions 小テスト5	Section4 "
	26	Unit 6 Complaining & Apologizing	Section1 を予習
	27	Unit 6 Complaining & Apologizing	Section2 "
	28	Unit 6 Complaining & Apologizing 発表6	Section3 "
	29	Unit 6 Complaining & Apologizing 小テスト6	Section4 "
30	テスト対策・振り返り	テスト勉強	
31	期末テスト (Unit4-6)		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 学習記録（ポートフォリオ）、適宜ハンドアウトを配布 授業にて紹介します。</p>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ★履修の心構え：ペアワークやグループワーク等が毎回ある為、共同学習に積極的に参加できること。 ★学びを深めるために：授業内容で理解が難しい場合は、直ぐに講師に質問もしくは相談してください。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト(リスニング含む) 50% ・ポートフォリオ(ワークへの参加、学びのプロセス記録) 15% ・ペアワークおよびグループワークへの貢献(発言、積極性、リーダーシップ) 15% ・課題(20回) 20%
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 英語Ⅱ (2) 情報のアンテナをはり多様なソースや出会いから文化理解を深めてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真喜志 満 [社文・人福]	1年	ptt040@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>普通教室では、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで記憶の確認を行う。CALL教室では、既存の教材「Viva! San Francisco」と洋楽にITを導入・活用して、4技能を総合的に高めるよう演習する。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サバイバルから英検2級程度までの英語力を身につけることができる。 ・ 海外に出かけても、いろいろな場面で困らない英語表現が身につく。 ・ 日本人の苦手な発音を克服する。 ・ 英語4技能(とくにヒアリング)がさらに向上する。 ・ e-learning systemやITを活用した英語学習ができるようになる。 ・ 英語への苦手意識や抵抗が減り英語の勉強が楽しくなる 	<p>必要な教材はLearning Management System (LMS)に掲載し、準備する。そのアクセスや使い方などの詳細は、初回のガイダンスで説明する。学生はインターネットの環境があれば、いつでもどこでもそこにアクセスして予習・復習を行う。また、欠席したり教材プリントを紛失したりした場合には、そこから自分で印刷してテストなどに備えること。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	コースガイダンス I _ 普通教室での講義について	シラバスをよく読むこと
	2	コースガイダンス II _ CALL教室での講義について	CALLやLMSの活用
	3	つぶやきS4を演習	LMSを使って学習する
	4	Viva Ch. 1、洋楽#01	Vivaの練習問題をLMSで解く
	5	つぶやきS6を演習。S4を小テスト。	LMSを使って学習する
	6	Viva Ch. 2、洋楽#02	Vivaの練習問題をLMSで解く
	7	つぶやきS7を演習。S6を小テスト。	LMSを使って学習する
	8	Viva Ch. 3、洋楽#03	Vivaの練習問題をLMSで解く
	9	つぶやきS10を演習。S7を小テスト。	LMSを使って学習する
	10	Viva Ch. 4、洋楽#04	Vivaの練習問題をLMSで解く
	11	つぶやきS13を演習。S10を小テスト。	LMSを使って学習する
	12	Viva Ch. 5、洋楽#05	Vivaの練習問題をLMSで解く
	13	特別講義 I @普通教室 S13を小テスト。	LMSを使って学習する
	14	特別講義 I @CALL教室	Vivaの練習問題をLMSで解く
	15	追試セッション I : 前半つぶやきテスト5回分・・・S4, S6, S7, S10, S13	LMSを使って学習する
	16	追試セッション I : 前半洋楽テスト5回分・・・洋楽#01～#05	Vivaの練習問題をLMSで解く
	17	つぶやきS14を演習	LMSを使って学習する
	18	Viva Ch. 6、洋楽#06	Vivaの練習問題をLMSで解く
	19	つぶやきS17を演習。S14を小テスト。	LMSを使って学習する
	20	Viva Ch. 7、洋楽#07	Vivaの練習問題をLMSで解く
	21	つぶやきS18を演習。S17を小テスト。	LMSを使って学習する
	22	Viva Ch. 8、洋楽#08	Vivaの練習問題をLMSで解く
	23	つぶやきS20を演習。S18を小テスト。	LMSを使って学習する
	24	Viva Ch. 9、洋楽#09	Vivaの練習問題をLMSで解く
	25	つぶやきS22を演習。S20を小テスト。	LMSを使って学習する
	26	Viva Ch. 10、洋楽#10	Vivaの練習問題をLMSで解く
	27	特別講義 II @普通教室。S22を小テスト。	LMSを使って学習する
	28	特別講義 II @CALL教室	Vivaの練習問題をLMSで解く
	29	追試セッション II : 後半つぶやきテスト5回分・S14, S17, S18, S20, S22	LMSを使って学習する
30	追試セッション II : 後半洋楽テスト5回分・・・洋楽#06～#10	Vivaの練習問題をLMSで解く	
31	特別講義 III : 総合演習 + 追試調整 + 最終成績確認	LMSを使って学習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>毎回教材プリントを配布する。さらにそれらの教材すべてをLearning Management System (LMS)にアップロードする。英和・和英・英英辞典、あるいは電子辞書、英文法書、インターネット上の文献・ホームページなど。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>e-learning教材を学習する際には、必ず“microsoft internet explorer”からLMSに入ること。間違ってほかのブラウザから入って学習すると、成績記録が残らないので注意する。“Viva Sanfrancisco”は、各章2部ごとに分かれているが、後半の“Face The Camera”の練習問題も解くこと。間違っただけの場合は何度もチャレンジし、各設問で満点が取れるまで問題を解くこと。なお、欠席する場合は所定の欠席届けを事前に、無理な場合は後日できるだけ早い時期に提出すること。</p>
	<p>評価</p> <p>出席10%、小テスト(つぶやき英語)30%、小テスト(洋楽)40%、宿題(Viva SFの自主学习)20%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>このコースで扱った洋楽はラジオなどでよく流れる曲なので、曲が流れるたびに英語を意識して復習し、また好きな人はカラオケなどでくりかえし歌って曲の中の英語をすべて自分のものにして、楽しく英語を学んでほしい。さらに英文法も知識が欠けたところは、よく復習してほしい。本学の豊富なe-learning教材も大いに活用し、最後の実力テストを意識して学んでほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子 [地域環境]	1年	学内のE-mailや、授業の前後に教室にて受けつける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学生にとっての日常生活における身近な場面に焦点をあて、英語の4技能をバランスよく学習する。実用性の高い教材を用いて、臨場感あふれる、生き生きとした表現を習得することを目指す。中学・高校を通して学んだ英語のスキルを整理し、実生活（日常・職場）において活用できるようにすることを目標とする。</p>	<p>クラスにおいては、ペアを組んで練習をする等の積極的な参加が期待されることを心してほしい。語学（英語）の学習の場であることを常に念頭に置いて、他の受講者との語らいを楽しんでほしい。すなわち、無気力・無関心・しらけた態度を謹んでクラスに臨むことが期待される。英語が得意な学生も、苦手な学生も更なる前進を目指してほしい。</p>
到達目標	<p>1) 日常生活のあらゆる場で使われる英語の①語彙、②表現、③文法、④音声、⑤英米の文化的側面について学ぶ。 2) 英語を使って自分の考えなどを表現できる。 3) 英語で表現された資料や告知文などを理解し、実生活に役立てることができる。 4) 他の人の意見を聞き、時にはアドバイスをしたり、自分の考えを示したりして、協力・共存できるような英語のコミュニケーション能力を高める。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスの読み合わせ
	2	『出会いの場面』の会話：聞き取り・ペア練習	ハンドアウト
	3	Unit 1, および、名前の由来のスピーチの準備	場所を尋ねる
	4	Unit 1: 自己紹介	沖縄国際大学の提供科目について
	5	スピーチ：1分間スピーチ	スピーチをする・聴く
	6	Unit 2: 家族・ペット	わからない言葉を尋ねる
	7	Unit 2	〃
	8	Unit 3: 趣味	日程の確認
	9	Unit 3	〃
	10	Unit 4: 大学生活	クラブ活動について
	11	Unit 4	〃
	12	Unit 5: 食べ物	アルバイトについて
	13	Unit 5	〃
	14	Unit 6: コンサート	相手の意見を聞く
	15	Unit 6	〃
	16	中間試験	
	17	Unit 1~Unit 6のまとめ	試験の解答
	18	Unit 7: 道案内	暮らしの中のルールについて
	19	Unit 7	〃
	20	Unit 8: 日本文化紹介	行き方や道を尋ねる・教える
	21	Unit 8	〃
	22	Unit 9: ジェスチャー	外国人観光客をサポートする
	23	Unit 9	〃
	24	Unit 10: 観光案内	夏休みの計画をたてる
	25	Unit 10	〃
	26	Unit 11: 航空券をNetでGet	レポートの締め切りを尋ねる
	27	Unit 11	〃
	28	Unit 12: E-mailを送る	成績について話す
	29	Unit 12	〃
30	期末試験		
31	Unit 7~Unit 12のまとめ	試験の解答&前期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>参考文献：英語便利辞典（小学館外国語辞典編集部） テキスト：Forerunner to Power-Up English その他：ハンドアウト資料・教材</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 3分の1以上欠席すると、単位を取得することはできない。遅刻3回で、欠席1回とみなす。②授業中は他の学生の学習を妨げるような行為を慎む。③ペア・グループを組んでの活動では、積極的に取りくむよう心がける。④授業中、スマホや携帯電話などを使用することを禁じる。⑤辞書を活用する習慣を身につける。⑥質問はおおいに歓迎する。</p>
	<p>評価</p> <p>1) Unitごとの、ミニ・クイズ（①語彙 ②表現 ③聴き取りなど）・課題：30% 2) 中間・期末テスト：60% 3) クラス・ラボ室での活動、およびレポートなど：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 Iを通して学んだ知識や、辞書を活用するなど、語学を学習するために役立つ習慣等を日常生活で実践するよう心がける。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [経済]	1年	ptt899@okiu.ac.jp 又は、授業後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい ①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	メッセージ 「外国に行ってみたい」、「留学したい」、「英語を話したい」と思っている学生は多いようですが、「自分は英語が出来ない」と思っている学生も多いようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイディアを一度忘れて授業に参加して下さい。
	到達目標 ①短いニュースを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	
	2	スモールスピーチ	
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	9	スモールスピーチ	
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	16	スモールスピーチ	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①「履修の心構え」・出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後20分以内を遅刻とみなし、チャイム後20分以上は、どんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。・欠席した日の授業内容は、必ず次の授業までにクラスメイトに確認、又は担当教員にメールで確認し、「休んでいたから分からなかった」というような事がないようにして下さい。・授業中に携帯をいじる、コンピューター上で授業と無関係な事を行っている等を見つけた場合、欠席扱いとします。</p> <p>②「学びを深めるために」・授業の最初に行うクイズの問題は、前回の授業の内容から出題します。しっかりと授業を聞いていれば、確実に点数が取れる内容になっています。・授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないようにして下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>出欠状況と授業態度・・・5％ 課題・・・20％ クイズ・・・25％ 中間テスト・・・25％（ショートスピーチ） 期末テスト・・・25％（パワーポイントを使用しての簡単なプレゼンテーション）</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 関連科目：英語II、英語III～IV (2) 次のステージ：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [日文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 現代の日本事情に関する英語ニュースを視聴しながら、「読む」「書く」「聴く」「話す」の英語の四技能をバランスよく伸ばしていく。	メッセージ NHKの海外向け英語ニュースを編集した視聴覚教材をテキストとして使用します。 News StoryやExerciseを利用して英語の語彙を増やしていきます。
	到達目標 ①日本事情に関する英語ニュースを視聴してその内容を理解することができる。 ②関心のあるトピックについて、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③短い和文を英文で表現することができる。 ④英文のNews Storyを読んで、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	Unit1: Waste Not, Want Not	U1 Exercises
	3	DVD教材1: Campus Life(1)	DVD Vocabulary
	4	Unit2: Dancing Toward Closer Friendship	U2 Exercises
	5	DVD : Campus Life(2)	DVD Vocabulary
	6	Unit3&4: Creature Comforts / White-hat Hackers Wanted	U3&4 Exercises
	7	DVD : Campus Life(3)	DVD Vocabulary
	8	Unit5: Rescue Bike	U5 Exercises
	9	DVD2 : Native Americans(1)	DVD Vocabulary
	10	Unit6&7: Crash Course Boom / Big Returns	U6&7 Exercises
	11	DVD : Native Americans(2)	DVD Vocabulary
	12	Unit8: Sweet Acts of Kindness	U8 Exercises
	13	DVD : Native Americans(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Colonial Life in New England	DVD Vocabulary
	16	Unit9: Pioneering Photojournalist	U9 Exercises
	17	DVD4 : American Court System(1)	DVD Vocabulary
	18	Unit10: Cafés Beyond Coffee	U10 Exercises
	19	DVD : American Court System(2)	DVD Vocabulary
	20	Unit11&12: Indoor Navigation / Reaching New Heights	U11&12 Exercises
	21	DVD : American Court System(3)	DVD Vocabulary
	22	Unit13: At Home in the Sky	U13 Exercises
	23	DVD5 : Group Therapy(1)	DVD Vocabulary
	24	Unit14: Fishing for a Market	U14 Exercises
	25	DVD5 : Group Therapy(2)	DVD Vocabulary
	26	Unit15: Stressing the Rural Life	U15 Exercises
	27	DVD5 : Group Therapy(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
	29	DVD6 : Special English	DVD Vocabulary
30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など What's on Japan 10 [映像で学ぶNHK英語放送 - 日本を発信する 10] (金星堂, 2016年) ¥2,300 (税別)</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>(1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。 (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して1年生必修の英語Ⅱを履修してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [社文・人福]	1年	ptt899@okiu.ac.jp 又は、授業後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい ①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	メッセージ 「外国に行ってみたい」、「留学したい」、「英語を話したい」と思っている学生は多いようですが、「自分は英語が出来ない」と思っている学生も多いようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイディアを一度忘れて授業に参加して下さい。
	到達目標 ①短いニュースを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	
	2	スモールスピーチ	
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	9	スモールスピーチ	
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	16	スモールスピーチ	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①「履修の心構え」・出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後20分以内を遅刻とみなし、チャイム後20分以上は、どんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。・欠席した日の授業内容は、必ず次の授業までにクラスメイトに確認、又は担当教員にメールで確認し、「休んでいたから分からなかった」というような事がないようにして下さい。・授業中に携帯をいじる、コンピューター上で授業と無関係な事をしている等を見つけた場合、欠席扱いとします。</p> <p>②「学びを深めるために」・授業の最初に行うクイズの問題は、前回の授業の内容から出題します。しっかりと授業を聞いていれば、確実に点数が取れる内容になっています。・授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないようにして下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>出欠状況と授業態度・・・5％ 課題・・・20％ クイズ・・・25％ 中間テスト・・・25％（ショートスピーチ） 期末テスト・・・25％（パワーポイントを使用しての簡単なプレゼンテーション）</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 関連科目：英語II、英語III～IV (2) 次のステージ：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 2・土 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [企業システム]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。 ブロークンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 中学校・高校で学んだ文法の復習をしながら様々なテーマについて英語で視聴、発信、記述していきます。「継続は力なり。」です。休まずに、コツコツと勉強していきましょう。
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	Unit1(1): Lifestyles(現在形)	U1 Grammar Ref.
	3	DVD教材1: Campus Life(1)	DVD Vocabulary
	4	Unit1(2): Lifestyles	U1 Digibook
	5	DVD : Campus Life(2)	DVD Vocabulary
	6	U2(1): Leisure(現在進行形)	U2 Grammar Ref.
	7	DVD : Campus Life(3)	DVD Vocabulary
	8	U2(2): Leisure	U2 Digibook
	9	DVD2 : Native Americans(1)	DVD Vocabulary
	10	U3(1): Getting along(依頼/許可)	U3 Grammar Ref.
	11	DVD : Native Americans(2)	DVD Vocabulary
	12	U3(2): Getting along	U3 Digibook
	13	DVD : Native Americans(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Colonial Life in New England	DVD Vocabulary
	16	U4(1): Interests(過去形)	U4 Grammar Ref.
	17	DVD4 : American Court System(1)	DVD Vocabulary
	18	U4(2): Interests	U4 Digibook
	19	DVD : American Court System(2)	DVD Vocabulary
	20	U5(1): Telling a story(過去進行形)	U5 Grammar Ref.
	21	DVD : American Court System(3)	DVD Vocabulary
	22	U5(2): Telling a story	U5 Digibook
	23	DVD5 : Group Therapy(1)	DVD Vocabulary
	24	U8(1): Rules(Possibility/Obligation)	U8 Grammar Ref.
	25	DVD5 : Group Therapy(2)	DVD Vocabulary
	26	U8(2): Rules(Possibility/Obligation)	U8 Digibook
	27	DVD5 : Group Therapy(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
	29	DVD6 : Special English	DVD Vocabulary
30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Breakthrough PLUS 2 (Macmillan LanguageHouse, 2012年) ¥2,500(税別)</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>(1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。 (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して1年生必修の英語Ⅱを履修してください。</p>

※ポリシーとの関連性 読む・書く・聞く・話すの4技能のうち、主に「聞く」「話す」を中心に、簡単な日常会話で聞き手と話し手が双方向に理解できる。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 1・土 1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美 [法律・地行]	1年	ptt016@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>日常的に話されている自然な英語をたくさん聞き、英語表現の特徴を掴み、ペアレッスン等を通して学習する。相手の英語を理解し、自分の言いたいことを的確に英語で表現できるようにする。「聞き」「話す」に重点を置くが、英語を発信するoutputの力を養うために、英語による1分間スピーチ (one minute speech) と short writing の課題を課す。</p>	<p>このテキストは、日常会話のトピックが題材となっており、会話の練習にとってもよい。またlistening内容もバラエティーに富んでおり、生の英語に触れることができるよう構成されている。ペアレッスンのときは、恥ずかしがらずに真剣に取り組んでほしい。他の課題も同様で、提出日を守る。毎日少しずつ学習することが、英語能力を高める秘訣である。</p>
	到達目標	
	① Listeningの内容が理解できる。 ② 英語で1分間スピーチ (one minute speech) することができる。 ③ 言いたいことを英語で正しく書くことができる (short writing assignments)。 ④ 教科書で学ぶ文法や単語を習得する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをよく読むこと
	2	Introduction 1	U. 1 (pp. 7-8)
	3	Introduction 2	pp9-11 writing課題
	4	Introductions 3 listening quiz	U. 1 (p. 12)
	5	Shopping 1	U. 3 (pp. 23-24)
	6	Shopping 2	U. 3 (pp. 25-27)
	7	Shopping 3 listening quiz	U. 3 (p. 28)
	8	Food 1, one minute speech starts	U. 4 (pp. 31-32)
	9	Food 2	U. 4 (pp. 33-35)
	10	Food 3 listening quiz	U. 4 (p. 36)
	11	Music 1	U. 5 (pp. 39-40)
	12	Music 2	U. 5 (pp. 41-43)
	13	Music 3 listening quiz	U. 5 (p. 44)
	14	Free time 1	U. 6 (pp. 47-48)
	15	Free time 2	U. 6 (pp. 49-51)
	16	Free time 3 listening quiz	U. 6 (p. 52)
	17	Travel 1	U. 7 (pp. 59-60)
	18	Travel 2	p61-63 writing課題
	19	Travel 3 listening quiz	U. 7 (p. 64)
	20	Sports 1	U. 8 (pp. 67-71)
	21	Sports 2 listening quiz	U. 8 (p. 72)
	22	Friends 1	U. 9 (pp. 75-76)
	23	Friends 2	U. 9 (pp. 77-79)
	24	Friends 3 listening quiz	U. 9 (p. 80)
	25	Work 1	U. 10 (pp. 83-84)
	26	Work 2	U. 10 (pp. 85-87)
	27	Work 3 listening quiz	U. 10 (p. 88)
	28	Personal Tech 1	U. 12 (pp. 99-100)
	29	Personal Tech 2	U. 12 (pp. 101-103)
30	Personal Tech 3 listening quiz	U. 12 (p. 104)	
31	Final Examination	Unit 2, 11 以外	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Textbook: Nice Talking with You 1 (Cambridge, 2011)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修の心構え> 講義中の私語・携帯/スマホの使用を堅く禁ずる。電子辞書はOK。毎回、出席を取ります。遅刻3回で1回の欠課とみなします。欠席が10回になると単位は与えません。 ・学びを深めるために> 講義前には単語や基本的な表現などは調べておくこと。自分で工夫してノート作りをすることを勧めます。教科書の音声教材は、CALL教室のPCに保存してあります。講義時間内だけでは足りないので、空き時間を利用して何度も聴くようにして下さい。英語は毎日少しずつ学習することが言語能力を高めることにつながります。
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Participation 5% (到達目標①②③④) 2. Listening quizzes 30% (到達目標①) 3. One minute speech 20% (到達目標②) 4. Writing assignments 15% (到達目標③) 5. Final examination 30% (到達目標④)
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英検やTOEFL/TOEICを受けて実力を高めたり、また、留学してその国の文化に触れるのもよいと思います。日本にいてもインターネットを利用して、好きな俳優や歌手などの英語ブログを読んだり、英字新聞・英語ニュース・音楽や映画等を通して学ぶことも可能です。様々な方法で生の英語に触れると英語能力の向上に役立つでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数ジェニョールデビット [社文・人福]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations.	メッセージ Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English la
	到達目標 Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for your
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
	30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr. Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュニオール デビッド [経済]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations.	メッセージ Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English
	到達目標 Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"	
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr. Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ジヨン ターバート [英米]	1年	ptt500@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい The purpose of this class is to help students develop conversational skills while working on improving their reading and writing skills.	メッセージ As a native speaker of English, I will teach you English as it is used in real life. This class will give you many chances to speak English.
	到達目標 ・You will be able to have basic English conversations more smoothly and naturally. ・You will be able to write basic English sentences more accurately and clearly. ・You will be able to give a short presentation in English.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Self-introductions	Buy text/file
	2	Wh-questions	Wh-questions
	3	Unit 1 (Classroom help language)	Write sentences
	4	Unit 1 (Classroom help language)	Study for quiz
	5	Unit 2 (Talking about family)	Study for quiz
	6	Unit 2 (Talking about family)	Vocabulary for describing people
	7	Describing people	Vocabulary
	8	Describing people	Study for quiz
	9	Unit 3 (Gestures)	Work on conversation
	10	Unit 3 (Gestures)	Prepare for interview
	11	Unit 4 (Abilities)	Prepare for interview
	12	Unit 4 (Abilities)	Prepare yes/no questions
	13	Jobs	Prepare yes/no questions
	14	Jobs	Vocabulary
	15	Unit 5 (Emotions)	Study for quiz
	16	Unit 5 (Emotions)	Review emotions
	17	Unit 5 (Emotions)	Vocabulary
	18	Unit 6 (Prepositions of place)	Review prepositions of place
	19	Unit 6 (Prepositions of place)	Prepare for interview
	20	Unit 6 (Prepositions of place)	Write sentences
	21	Rules	Review patterns
	22	Unit 7 (Permission)	Study for quiz
	23	Unit 7 (Permission)	Vocabulary
	24	Health	Interview preparation
	25	Health	Interview preparation
	26	Review	Review
	27	Interview test	Interview preparation
	28	Interview test	Interview preparation
	29	Interview test	Review
30	Final exam	Review	
31	Listening test		

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as handouts. Students should bring dictionaries (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> • More than 30 minutes late to class= 1 absence • Being late twice= 1 absence • Less than 66% attendance= 不可 • Homework must be done on time. Late homework=0 • Students should use English in class as much as possible. • Syllabus is subject to change.
	<p>評価</p> <p>Final exam/listening test/quizzes (50%) Interview test (20%) Homework (10%) Attendance/participation (10%) Presentation (10%)</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Students should continue working to improve their communication skills in English II, as well as Oral Communication II.</p>

※ポリシーとの関連性

英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。
また、サブテキストを用いて法律に関連のある用語をまなぶ。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 1・土 1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [法律・地行]	1 年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい 英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、サブテキストの基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。3分間スピーチではパブリックスピーチの基礎を習得する。	メッセージ 授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。
	到達目標 1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 法律関連の基礎的な用語を英語で認知できる。3. 英語を用いて情報収集することに慣れる。4. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをきちんと確認する
	2	Funny Laws:Chapter 1	予習テストの準備 1 課
	3	Viva! SF:Chapter 1	1 課の復習
	4	Funny Laws:Chapter 1	ディスカッションの準備
	5	Viva! SF:Chapter 2	2 課の復習
	6	Funny Laws:Chapter 2	予習テストの準備 2 課
	7	Viva! SF:Chapter 3	3 課の復習
	8	Funny Laws:Chapter 2	ディスカッションの準備
	9	Viva! SF:Chapter 4	4 課の復習
	10	Funny Laws:Chapter 3	予習テストの準備 3 課
	11	Viva! SF:Chapter 5	5 課の復習
	12	Funny Laws:Chapter 3	ディスカッションの準備
	13	Viva! SF:Review Chapter 1-5	1 - 5 課の復習
	14	Mid-term Examination: Viva SF Chapter 1-5	中間試験の準備
	15	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	16	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	17	Funny Laws:Chapter 4	予習テストの準備 4 課
	18	Viva! SF:Chapter 6	6 課の復習
	19	Funny Laws:Chapter 4	ディスカッションの準備
	20	Viva! SF:Chapter 7	7 課の復習
	21	Funny Laws:Chapter 5	予習テストの準備 5 課
	22	Viva! SF:Chapter 8	8 課の復習
	23	Funny Laws:Chapter 5	ディスカッションの準備
	24	Viva! SF:Chapter 9	9 課の復習
	25	Funny Laws:Chapter 6	予習テストの準備 6 課
	26	Viva! SF:Chapter 10	10課の復習
	27	Funny Laws:Chapter 6	ディスカッションの準備
	28	Viva! SF:Review Chapter 6-10	6 - 10 課の復習
	29	Funny Laws:Review	1 - 6 課の重要事項確認
30	Memorization:Viva!SF	会話の暗記	
31	Final Examination:Viva!Chapter 6-10		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>副教材用教科書：Funny Laws in the World（南雲堂）2015 1700円 主教材のViva! San Franciscoについては、教科書の購入は必要ない。LMSなどを通じての自宅での予習・復習が可能なので、活用してください。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。Funny Lawsの予習テストは各チャプター毎に行うので、準備をすること。Vivaについては学外からのアクセスも可能なので、毎回復習を欠かさないこと。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価</p> <p>Mid-term and Final Examination: 25% × 2 = 50% 3-minute speech: 20% Prep Quiz: 30%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ダグラス ドライスタット [法律・地行]	2年	https://bee.okiu.ac.jp/mod/page/view.php?id=7062	

学びの準備	ねらい This is a comprehensive four-skills course with emphasis on autonomous learning. Students are encouraged to acquire not only a knowledge of English, but also communication skills and strategies for sustainable autonomous learning.	メッセージ This class focuses on the acquisition of practical, personal, sustainable strategies for language learning suited to a variety of learning styles. In this class, you can assemble a set of learning strategies for your short-term and long-term foreign language learning goals.
	到達目標 1. Build a solid foundation of basic English, with focus on listening and speaking. 2. Clarify short- and medium-term goals and strategies for English learning. 3. Develop the confidence to communicate actively. 4. Prepare for participation in the globalized economy.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画 (テーマ・時間外学習の内容含む) 1/2 eLearning Registration, orientation. Discussion: Hurdles to learning English 3/4 Portfolio, Document your history. Dream in English warm up Practice greetings. 5 Diving into extensive reading Read one book. 6 Dream in English Unit 1, Part 1 Review the text 7 Viva! San Francisco Ch. 1, portfolio, 他 Portfolio page 2 8 Dream in English Unit 1, Part 2 Online assignment 9 Viva! San Francisco Ch. 2, portfolio, 他 Portfolio page 3 10 Dream in English Unit 1, Part 3 Online assignment 11 Viva! San Francisco Ch. 3, portfolio, 他 Portfolio page 4 12 Dream in English Unit 1, Part 4 Online assignment 13 Viva! San Francisco Ch. 4, portfolio, 他 Portfolio page 5 14 Dream in English Unit 2, Part 1 Online assignment 15 Viva! San Francisco Ch. 5, portfolio, 他 Portfolio page 6 16 Dream in English Unit 2, Part 2 Online assignment 17/18 Mid-term assessment 19 Viva! San Francisco Ch. 6, portfolio, 他 Portfolio page 7 20 Dream in English Unit 2, Part 3 Online assignment 21 Viva! San Francisco Ch. 7, portfolio, 他 Portfolio page 8 22 Dream in English Unit 2, Part 4 Online assignment 23 Viva! San Francisco Ch. 8, portfolio, 他 Portfolio page 9 24 Dream in English Unit 3, Part 1 Online assignment 25 Viva! San Francisco Ch. 9, portfolio, 他 Portfolio page 10 26 Dream in English Unit 3, Part 2 Online assignment 27 Viva! San Francisco Ch. 10, portfolio, 他 Portfolio page 11 28 Dream in English Unit 3, Part 3 Online assignment 29/30/31Final assessment
	テキスト・参考文献・資料など 必須 1. XReading subscription 2. Dream in English (オンライン教科書) 3. Viva! San Francisco (オンライン教材) 4. 英和・和英辞典
	学びの手立て Students are expected to be prepared for each class. Active collaboration during group work and pair work is essential for a good grade. Enthusiastic class participation is highly evaluated. Utilization of the eLearning system and active engagement with classmates online is also part of the final evaluation.
	評価 Attendance - 5%, Class participation - 25%, Quizzes - 10%, Portfolio - 20%, Mid-term - 20%, Final exam - 20%

学びの継続	次のステージ・関連科目 英語II, 英語III, 英語IV, 外国語資料購読演習。英語合宿、英検に挑戦する。
-------	---

※ポリシーとの関連性

英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。
また、BBCの映像教材を使用して世界各地の地域事情を学ぶ。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 2・土 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [産業情報]	1 年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Iにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、英語学習の基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。3分間スピーチではパブリックスピーチの基礎を習得する。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。4. 大勢の人の前で英語で自己表現できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをきちんと確認する
	2	BBC WPD: Unit 1 Laughter	単語予習 1 課
	3	BBC WPD: Unit 1 Laughter	1 課の復習・単語テスト準備
	4	Movie: Patch Adams	関連事項のリサーチ
	5	Movie: Patch Adams	関連事項のリサーチ
	6	BBC WPD: Unit 2 Hats	単語予習 2 課
	7	BBC WPD: Unit 2 Hats	2 課の復習・単語テスト準備
	8	Test: Unit 1, 2	1, 2 課テストの準備
	9	BBC WPD: Unit 3 Sphinx's Nose	単語予習 3 課
	10	BBC WPD: Unit 3 Sphinx's Nose	3 課の復習・単語テスト準備
	11	BBC WPD: Unit 4 Terracotta Warriors	単語予習 4 課
	12	BBC WPD: Unit 4 Terracotta Warriors	4 課の復習・単語テスト準備
	13	Test: Unit 3, 4	3, 4 課テストの準備
	14	BBC WPD: Unit 6 Athens	単語予習 6 課
	15	BBC WPD: Unit 6 Athens	6 課の復習・単語テスト準備
	16	BBC WPD: Unit 7 Skydiving	単語予習 7 課
	17	BBC WPD: Unit 7 Skydiving	7 課の復習・単語テスト準備
	18	Test: Unit 6, 7	6, 7 課のテスト準備
	19	BBC WPD: Unit 8 Food and Society	単語予習 8 課
	20	BBC WPD: Unit 8 Food and Society	8 課の復習・単語テスト準備
	21	Movie: "Food Inc."	関連事項のリサーチ
	22	Movie: "Food Inc."	関連事項のリサーチ
	23	Test: Unit 8, "Food Inc."	8 課のテスト準備、コメントを作成
	24	BBC WPD: Unit 9 Shinjuku Station	単語予習 9 課
	25	BBC WPD: Unit 9 Shinjuku Station	9 課の復習・単語テスト準備
	26	Test: Unit 9	9 課のテスト準備
	27	Memorization: Dialogues	会話の暗記の練習
	28	Memorization: Dialogues	会話の暗記の練習
	29	Review	総復習
30	Review	総復習	
31	Conclusion	コメントのまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書：「BBC World Profile on DVD」(南雲堂) 2014年 2500円</p>
学びの実践	<p>学びの手立て 語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。単語テストが各課毎にあるので、準備をすること。特別課題の映画に関しては、映画評と関連事項の Recherche、及びコメントを必須とする。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価 Tests:50% Vocabulary Quiz:20% 3-minute Speech:10% Comments on the Movies:20%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目 英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 4・土 3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [日文]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、家庭学習にはサブテキストを使用して、英語のリスニング・ヒアリング・リーディングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。提出物は、指定がない限り、B 5 サイズのルーズリーフを使用すること。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 1~6)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	Subtext:Lesson 1
	3	Unit 1	"
	4	Chapter 1, Viva! San Francisco	"
	5	Unit 1	Lesson 2
	6	Chapter 2, Viva! San Francisco	"
	7	Unit 1	"
	8	Chapter 3, Viva! San Francisco	Lesson 3
	9	Unit 2	"
	10	Chapter 4, Viva! San Francisco	"
	11	Unit 2	Lesson 4
	12	Chapter 5, Viva! San Francisco	"
	13	Unit 3	"
	14	Unit 3	Mid-term exam 準備
	15	Review Unit 1~3	"
	16	Mid-term Examination	
	17	Review Mid-term exam & Unit 4	Lesson 5
	18	Chapter 6, Viva! San Francisco	"
	19	Unit 4	"
	20	Chapter 7, Viva! San Francisco	Lesson 6
	21	Unit 4	"
	22	Chapter 8, Viva! San Francisco	"
	23	Unit 5	Lesson 7
	24	Chapter 9, Viva! San Francisco	"
	25	Unit 5	"
	26	Chapter 10, Viva! San Francisco	Report 作成
	27	Unit 5 & 6	"
	28	Unit 6	"
	29	Unit 6	Final exam 準備
30	Review Unit 4~6 and Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト： 第一回の講義時に紹介する。</p>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。それ以降の遅刻は、欠席とみなす。 2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。
	<p>評価</p> <p>中間テスト：20% 期末テスト：20% クイズ：20% 提出物：20% 出席： 10% 講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語 II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	野口 正樹 [英米]	1年	noguchi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は、初日の orientation を除き、各種活動(dictation, one-minute speech, definition game, listening comprehension, essay writing 等)を主軸に行います。先ず、1文毎の英文を1度聴取し、聞いた通りの英語を書き取ります。続いて、曜日や週毎に設定された課題を通して、oral skills の向上を目指します。	メッセージ 4技能の中の listening & speaking 及び異文化理解に焦点を当てます。
	到達目標 sentence-level の意味処理を確実にできる。 日常生活に根差した言語表現の幅を広げる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画 (テーマ・時間外学習の内容含む)
	テキスト・参考文献・資料など 別途連絡します。 別途連絡します。
	学びの手立て MP3 や smartphone を利用して例文を繰り返し聴く。 Internet や図書館を活用して課題に答える。
	評価 ① 授業出席度 (原則皆勤) ② dictation/speech/listening comprehension/essay writing ③ 英語の理解と使用 ④ 質疑応答 ⑤ 課題テストおよび中間・期末試験 ⑥ 受講姿勢

学びの継続	次のステージ・関連科目 Oral Communication I と関連づける。 English II につなげる。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子 [法律・地行]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 大学生として必須な英語コミュニケーションを養成する。そのねらいをもとに、英文法、語彙力、リスニング、スピーキング等あらゆる活動を行う。	メッセージ 英語 I 学習を通して、言葉と考える力を一緒に磨いていきましょう！
	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる	

到達目標	日常生活で英語コミュニケーションができる
------	----------------------

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	
	2	英語自己紹介 他	
	3	ラボ室オリエンテーション 他	
	4	英語のしくみ(概要) 他	
	5	ラボ室学習 他	
	6	英語基礎力養成	
	7	ラボ室学習 他	
	8	英語基礎力養成	
	9	ラボ室学習 他	
	10	英語基礎力養成	
	11	ラボ室学習 他	
	12	英語基礎力養成	
	13	ラボ室学習 他	
	14	英語基礎力養成	
	15	ラボ室学習 他	
	16	中間テスト	
	17	ラボ室学習 他	
	18	英語基礎力養成	
	19	ラボ室学習 他	
	20	英語基礎力養成	
	21	ラボ室学習 他	
	22	英語基礎力養成	
	23	ラボ室学習 他	
	24	英語基礎力養成	
	25	ラボ室学習 他	
	26	英語基礎力養成	
	27	ラボ室学習 他	
	28	英語基礎力養成	
	29	ラボ室学習 他	
30	期末テスト		
31	総点検：振り返り等		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 講義オリエンテーションで指定テキストを紹介します。購入してください。また英語を自分で調べる活動が多くあります。英語辞書（電子辞書でもよい）を活用してください。</p>
	<p>学びの手立て 英語 I は講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください。</p>
	<p>評価 大学の成績評価規定に準じ、あらゆる活動やテストを総合したうえで成績を評価します。なお、欠席や遅刻は減点対象となります。注意してください。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 次へのステップは英語 II です。英語を現実社会で使うことです</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 2・土 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 博 [産業情報]	1 年	メールアドレス: nagamine@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい このクラスを受講する事により得た情報・知識が、英語での意思の疎通を図る場面で生かされる様にする。	メッセージ 使用テキスト1冊・CALL教室コンピュータ内教材・その他のプリント教材等を使用し、学期を通して一定のパターンでクラスを進行するので、受講学生も対応が容易になるのでは。
	到達目標 (1) 英語独特の音の繋がりに伴う発音の変化が認識出来る。(2) 英語発音の変化を自らも発音出来る。(3) 英語で話されたり書かれた内容がより理解出来る。(4) 英作文能力を向上させる。(5) 英語コミュニケーション能力全般を向上させる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス概要説明等	
	2	Discovering Japan : Lesson 1	テキストの該当箇所を予習
	3	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 1	CALL教室で該当箇所を予習
	4	プリント教材 No. 1	CALL教室で事前リスニング
	5	Discovering Japan : Lesson 2	テキストの該当箇所を予習
	6	Quiz 1	試験に備え全教材の復習
	7	Discovering Japan : Lesson 3	テキストの該当箇所を予習
	8	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 2	CALL教室で該当箇所を予習
	9	プリント教材 No. 2	CALL教室で事前リスニング
	10	Discovering Japan : Lesson 4	テキストの該当箇所を予習
	11	Quiz 2	試験に備え全教材の復習
	12	Discovering Japan : Lesson 5	テキストの該当箇所を予習
	13	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 3	CALL教室で該当箇所を予習
	14	プリント教材 No. 3	CALL教室で事前リスニング
	15	Discovering Japan : Lesson 6	テキストの該当箇所を予習
	16	Quiz 3	試験に備え全教材の復習
	17	Discovering Japan : Lesson 7	テキストの該当箇所を予習
	18	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 4	CALL教室で該当箇所を予習
	19	プリント教材 No. 4	CALL教室で事前リスニング
	20	Discovering Japan : Lesson 8	テキストの該当箇所を予習
	21	Quiz 4	試験に備え全教材の復習
	22	At the Movies	教材を当日配布
	23	Field of Dreams	ビデオ教材を当日鑑賞
	24	Discovering Japan : Lesson 9	テキストの該当箇所を予習
	25	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 5	CALL教室で該当箇所を予習
	26	プリント教材 No. 5	CALL教室で事前リスニング
	27	プリント教材 No. 6	CALL教室で事前リスニング
	28	Quiz 5	試験に備え全教材の復習
	29	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備
30	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備	
31	課題提出・追試等		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH「観光英語で日本発見」（英宝社）</p>									
学びの実践	<p>学びの手立て 毎回出席確認を行うので、欠席する場合は事前或いは事後に欠席届を提出すること。 毎学期遅刻する受講生が見受けられるが、遅刻3回で欠席1回と計算するので注意すること。 毎回講義の中で多くの受講生を指名し、ロールプレイでの発音練習、講義内容理解度確認の質問、短い英語センテンスの作文等のクラス活動を行って貰うが、積極的に参加すること。</p>									
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>・出席状況/クラス活動参加度</td> <td>10%</td> <td>到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価</td> </tr> <tr> <td>・筆記テスト</td> <td>75%</td> <td>到達目標(1)(3)(4)(5)を評価</td> </tr> <tr> <td>・会話テスト</td> <td>15%</td> <td>到達目標(1)(2)(3)(5)を評価</td> </tr> </table>	・出席状況/クラス活動参加度	10%	到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価	・筆記テスト	75%	到達目標(1)(3)(4)(5)を評価	・会話テスト	15%	到達目標(1)(2)(3)(5)を評価
・出席状況/クラス活動参加度	10%	到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価								
・筆記テスト	75%	到達目標(1)(3)(4)(5)を評価								
・会話テスト	15%	到達目標(1)(2)(3)(5)を評価								
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語学習継続を考える受講生は、クラスへの出席・宿題・テスト・単位取得等を心配すること無く、自己流・自分のペース及び自分の好きな手段、特にインターネット等を利用して英語を学び続けることが出来るのでは。</p>									

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子 [社文・人福]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 大学生として必須の英語力（語彙、文法）をみにつけながら、リスニングとスピーキングの基礎力を養成する。週一回のラボ室では、全学教材のViva!SabFranciscoの学習や様々なメディア教材を用いて、異文化理解を深めつつ実践的な聴解力の向上をめざし、もう一方の普通教室では上記の語彙や文法を中心の学習を行いながら、その履修内容を発話（スピーキング）につなげ基本的なコミュニケー	メッセージ 英語 I 学習を通して、言葉と考える力を一緒に磨いていきましょう！
	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	
	2	英語自己紹介 他	
	3	ラボ室利用オリエンテーション Viva!Ch1	
	4	英語のしくみ（概要） 他	
	5	ラボ室学習 Viva!1回目、他	
	6	英語基礎力養成1	
	7	ラボ室学習 Viva!2回目、他	
	8	英語基礎力養成2	
	9	ラボ室学習 Viva!3回目、他	
	10	英語基礎力養成3	
	11	ラボ室学習 Viva!4回目、他	
	12	英語基礎力養成4	
	13	ラボ室学習 Viva!5回目、他	
	14	英語基礎力養成5	
	15	ラボ室学習 Viva!6回目、他	
	16	英語基礎力養成6	
	17	ラボ室学習 Viva!7回目、他	
	18	英語基礎力養成1-6中間点検	
	19	ラボ室学習 Viva!8回目、他	
	20	英語基礎力養成7	
	21	ラボ室学習 Viva!9回目、他	
	22	英語基礎力養成8	
	23	ラボ室学習 Viva!10回目、他	
	24	英語基礎力養成9	
	25	Viva! 全体学習定着点検（テストも含む）	
	26	英語基礎力養成10	
	27	スピーキングテスト関連1	
	28	英語基礎力養成11	
	29	スピーキングテスト関連2	
30	英語基礎力養成7-11期末点検 他		
31	総点検：スピーキングと英語基礎力養成		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>1Viva!SanFrancisco大八木廣人他マカランゲージハウス(ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2講師指定の教科書 (オリエンテーション時に説明するテキストを大学書店で必ず購入すること) 3講師作成配布のStudy Guide</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>英語 I は講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください</p>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>授業への参加、試験、Speech, 発表, 出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。</p>
	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次へのステップは英語 II です。英語を現実社会で使うことです。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 博 [日文]	1年	メールアドレス: nagamine@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい このクラスを受講する事により得た情報・知識が、英語での意思の疎通を図る場面で生かされる様にする。	メッセージ 使用テキスト1冊・CALL教室コンピュータ内教材・その他のプリント教材等を使用し、学期を通して一定のパターンでクラスを進行するので、受講学生も対応が容易になるのでは。
-------	---	--

到達目標	(1)英語独特の音の繋がりに伴う発音の変化が認識出来る。(2)英語発音の変化を自らも発音出来る。(3)英語で話されたり書かれた内容がより理解出来る。(4)英作文能力を向上させる。(5)英語コミュニケーション能力全般を向上させる。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス概要説明等	
	2	Discovering Japan : Lesson 1	テキストの該当箇所を予習
	3	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 1	CALL教室で該当箇所を予習
	4	プリント教材 No. 1	CALL教室で事前リスニング
	5	Discovering Japan : Lesson 2	テキストの該当箇所を予習
	6	Quiz 1	試験に備え全教材の復習
	7	Discovering Japan : Lesson 3	テキストの該当箇所を予習
	8	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 2	CALL教室で該当箇所を予習
	9	プリント教材 No. 2	CALL教室で事前リスニング
	10	Discovering Japan : Lesson 4	テキストの該当箇所を予習
	11	Quiz 2	試験に備え全教材の復習
	12	Discovering Japan : Lesson 5	テキストの該当箇所を予習
	13	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 3	CALL教室で該当箇所を予習
	14	プリント教材 No. 3	CALL教室で事前リスニング
	15	Discovering Japan : Lesson 6	テキストの該当箇所を予習
	16	Quiz 3	試験に備え全教材の復習
	17	Discovering Japan : Lesson 7	テキストの該当箇所を予習
	18	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 4	CALL教室で該当箇所を予習
	19	プリント教材 No. 4	CALL教室で事前リスニング
	20	Discovering Japan : Lesson 8	テキストの該当箇所を予習
	21	Quiz 4	試験に備え全教材の復習
	22	At the Movies	教材を当日配布
	23	Field of Dreams	ビデオ教材を当日鑑賞
	24	Discovering Japan : Lesson 9	テキストの該当箇所を予習
	25	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 5	CALL教室で該当箇所を予習
	26	プリント教材 No. 5	CALL教室で事前リスニング
	27	プリント教材 No. 6	CALL教室で事前リスニング
	28	Quiz 5	試験に備え全教材の復習
	29	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備
30	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備	
31	課題提出・追試等		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH「観光英語で日本発見」（英宝社）</p>
学びの実践	<p>学びの手立て 毎回出席確認を行うので、欠席する場合は事前或いは事後に欠席届を提出すること。 毎学期遅刻する受講生が見受けられるが、遅刻3回で欠席1回と計算するので注意すること。 毎回講義の中で多くの受講生を指名し、ロールプレイでの発音練習、講義内容理解度確認の質問、短い英語センテンスの作文等のクラス活動を行って貰うが、積極的に参加すること。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況/クラス活動参加度 10% 到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価 ・筆記テスト 75% 到達目標(1)(3)(4)(5)を評価 ・会話テスト 15% 到達目標(1)(2)(3)(5)を評価
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語学習継続を考える受講生は、クラスへの出席・宿題・テスト・単位取得等を心配すること無く、自己流・自分のペース及び自分の好きな手段、特にインターネット等を利用して英語を学び続けることが出来るのでは。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [社文・人福]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動等では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。 	<p>英語の基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成 1	英語による自己紹介の練習
	3	Viva! San Francisco Ch.1	役立つ英語表現（1）の暗唱
	4	英語の基礎力養成 2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.2他	役立つ英語表現（2）の暗唱
	6	英語の基礎力養成 3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3他	役立つ英語表現（3）の暗唱
	8	英語の基礎力養成 4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4他	役立つ英語表現（4）の暗唱
	10	英語の基礎力養成 5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5他	役立つ英語表現（5）の暗唱
	12	英語の基礎力養成 6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! Ch.1～5総まとめ（テスト）	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成 7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6他	役立つ英語表現（6）の暗唱
	16	英語の基礎力養成 1～7（中間点検）	English Ace Unit 1～6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7他	役立つ英語表現（7）の暗唱
	18	英語の基礎力養成 8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8他	役立つ英語表現（8）の暗唱
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9他	役立つ英語表現（9）の暗唱
	22	スピーチテスト	スピーチ原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10他	役立つ英語表現（10）の暗唱
	24	英語の基礎力養成 9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11他	役立つ英語表現（11）の暗唱
	26	英語の基礎力養成 10	語彙力アップ（1）
	27	Viva! San Franciscoの総まとめ（1）	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成 11	語彙力アップ（2）
	29	Viva! San Franciscoの総まとめ（2）	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成 12	English Ace Unit 1～8の総復習	
31	英語の基礎力養成 8～12（期末点検）	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で挑むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出席状況や授業態度、②スピーチテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美[社文・人福・日文(2年以上)]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力の向上を目指し、“音”、“音読”を多用し「使える」英語を身につける。これまで学んだ英語の基本的事項の振り返りを行い、語彙力を高め、ペアやグループワークを通して英語を音読する、話す、使ってみる機会を増やし、英語運用能力を育みショートスピーチができるようになる。</p>	<p>言語を学ぶということはとても基本的な事—その言語を身体を使って「聴く」「話す」「書く」「読む」—の繰り返しが大切です。それができる場が教室でわれる授業です。授業を大いに活用し、クラスメートと英語を多用する機会を大切にしてください。そうすることで皆さんが日本語を学んできたように、英語も着実に身につけて来るはずですよ。</p>

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> 1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。 2. 自分の事を英語で伝えることができる。 3. 身近なことや自分の興味関心のあることを基本的な英語で表現できる。 4. ペアやグループワークで仲間と協力して作業ができる。 5. 2分程度のスピーチができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	第1週：オリエンテーション	授業の内容、進度、約束事等の確認
	2	第2～7週：	
	3	月曜日：リスニングスキルアップのための活動を取り入れたり	前もって配布した教材や教科書の
	4	教科書に従い語彙、基本的事項の養成を行い基礎英語力の	予習を行う
	5	定着を図る	
	6	木曜日：教科書のアクティビティーを中心に作業を行い	教科書の該当ユニットの予習と
	7	リーディングやスピーキング課題に取り組む	提出の準備を行う
	8	第8週：中間考査の実施と返却	中間考査に向けて復習を行う
	9	第9～15週：第2～7週と同じように、月曜日はリスニング、語彙、基本的	
	10	事項の学習を行い、木曜日はスピーチに向けリーディングや	
	11	スキッピング課題に取り組む	
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定教科書あり、授業で連絡します。 2. 適宜配布教材ありますので、ファイルを準備すること。
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 遅刻、欠席はしないこと（詳しい約束事はオリエンテーションでお知らせします）。 ② 授業には必ず辞書（電子辞書でも良い）を準備すること。 ③ 課題等は期限を守って提出すること。 ④ 授業には前向きな積極的態で臨むこと。 ⑤ ペア、グループワークは協力して行うこと。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間、期末考査（50%） ・ 確認クイズ等（20%） ・ スピーチ発表（20%） ・ 提出物、平常点等（10%）
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iでの学びを基礎に、英語IIでさらなる基礎力強化を目指して下さい。そして将来的に自発的に学べる姿勢を身につけ、英語でも自分のやりたい事ができる状況を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 1・土 1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [法律・地行]	1 年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。 	<p>英語の基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成 1	英語による自己紹介
	3	Viva! San Francisco Ch.1 他	役立つ英語表現 (1)
	4	英語の基礎力養成 2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.2 他	役立つ英語表現 (2)
	6	英語の基礎力養成 3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3 他	役立つ英語表現 (3)
	8	英語の基礎力養成 4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4 他	役立つ英語表現 (4)
	10	英語の基礎力養成 5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5 他	役立つ英語表現 (5)
	12	英語の基礎力養成 6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! Ch.1~5総まとめ (テスト)	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成 7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6 他	役立つ英語表現 (6)
	16	英語の基礎力養成 1~7 (中間点検)	English Ace Unit 1~6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7 他	役立つ英語表現 (7)
	18	英語の基礎力養成 8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8 他	役立つ英語表現 (8)
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9 他	役立つ英語表現 (9)
	22	スピーチテスト	スピーチ原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10 他	役立つ英語表現 (10)
	24	英語の基礎力養成 9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11 他	役立つ英語表現 (11)
	26	英語の基礎力養成 10	語彙力アップ (1)
	27	Viva! San Francisco 総まとめ(1)	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成 11	語彙力アップ (2)
	29	Viva! San Francisco 総まとめ(2)	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成 12	English Ace Unit 1~8の総復習	
31	英語の基礎力養成 8~12 (期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出席確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出席状況や授業態度、②スピーチテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及びⅣを履修することが望ましい。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [経済]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。 	<p>英語の基礎事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成 1	英語による自己紹介の練習
	3	Viva! San Francisco Ch.1他	役立つ英語表現（1）の暗唱
	4	英語の基礎力養成 2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch2他	役立つ英語表現（2）の暗唱
	6	英語の基礎力養成 3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3他	役立つ英語表現（3）の暗唱
	8	英語の基礎力養成 4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4他	役立つ英語表現（4）の暗唱
	10	英語の基礎力養成 5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5他	役立つ英語表現（5）の暗唱
	12	英語の基礎力養成 6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! San Francisco Ch.1～5総まとめ（テスト）	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成 7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6他	役立つ英語表現（6）の暗唱
	16	英語の基礎力養成 1～7（中間点検）	English Ace Unit 1～6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7他	役立つ英語表現（7）の暗唱
	18	英語の基礎力養成 8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8他	役立つ英語表現（8）の暗唱
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9他	役立つ英語表現（9）の暗唱
	22	スピーチテスト	スピーチテスト原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10他	役立つ英語表現（10）の暗唱
	24	英語の基礎力養成 9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11他	役立つ英語表現（11）の暗唱
	26	英語の基礎力養成 10	語彙力アップ（1）
	27	Viva! San Francisco 総まとめ（1）	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成 11	語彙力アップ（2）
	29	Viva! San Francisco 総まとめ（2）	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成 12	English Ace Unit 1の復習	
31	英語の基礎力養成 8～12（期末点検）	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出欠状況や授業態度、②スピーチテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及びⅣを履修することが望ましい。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 2・土 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [企業システム]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、家庭学習にはサブテキストを使用して、英語のリスニング・ヒアリング・リーディングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。提出物は、指定がない限り、B 5サイズのルーズリーフを使用すること。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 1~6)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	Sub text, Unit 1
	3	Unit 1	" "
	4	Chapter 1, Viva! San Francisco	" "
	5	Unit 1	" "
	6	Chapter 2, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 2
	7	Unit 2	" "
	8	Chapter 3, Viva! San Francisco	" "
	9	Unit 2	" "
	10	Chapter 4, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 3
	11	Unit 3	" "
	12	Chapter 5, Viva! San Francisco	" "
	13	Unit 3	" "
	14	Mid-term examination	Mid-term exam 準備
	15	Review mid-term examination	" "
	16	Chapter 6, Viva! San Francisco	
	17	Unit 4	Sub text, Unit 4
	18	Chapter 7, Viva! San Francisco	" "
	19	Unit 4	" "
	20	Chapter 8, Viva! San Francisco	" "
	21	Unit 5	Sub text, Unit 5
	22	Chapter 8, Viva! San Francisco	" "
	23	Unit 5	" "
	24	Chapter 9, Viva! San Francisco	" "
	25	Unit 5,	Sub text, Unit 6
	26	Chapter 10, Viva! San Francisco	" "
	27	Unit 6	" "
	28	Unit 6,	" "
	29	Review Unit 4~6 for Final Examination	Final exam 準備
30	Review Unit 4~6 & Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： 第一回の講義時に紹介する。 サブテキスト： It's time to Read! (Unit 1~6) 出版社：南雲堂 ￥1,300 + 税</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>1. 15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。それ以降の遅刻は、欠席とみなす。 2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</p>
	<p>評価</p> <p>中間テスト：20% 期末テスト：20% クイズ：30% 提出物：10% 出席： 10% 講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 II 「関連科目」 英語 III 「上位科目」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	前澤 大樹 [英米]	1年	h.maezawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい この授業では、特にリスニングとスピーキングに焦点を合わせ、大学での英語学習の基礎となる口頭運用能力を養う。CALL教室の回では、実践的な状況で活かせる口語表現を学び、練習機会もできるだけ確保する。普通教室では聴き取りに加え、より能動的な会話練習を行う。また、全員に授業期間のどこかで1分程度のショートスピーチを実施して貰う。	メッセージ これまでに学んだことを振り返り、それを次のレベルへと発展させることは、今後より高度な英語力を身に付けていく上で重要な土台となります。大学での英語学習の第一歩として、是非積極的に取り組んでください。
	到達目標 1. 授業に取り組む中で、高校までに学習した英語の知識・技能を再確認し、確実に定着させる。 2. それらを発展させた知識・技能をリスニング・スピーキングの実践に於いて活用することができる。 3. 英語での口頭の遣り取りによって、他者から情報を得るとともに、自身に関することを相手に伝えることができる。 *下記の進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施内容を含め予定を変更する場合があります。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業概要と学習の進め方、導入	WL1 Unit 1-Aの活動準備
	2	World Link (WL1) Unit 1-A	VSF Chapter 1の活動準備
	3	Viva! San Francisco (VSF) Chapter 1	WL1 Unit 1-Bの活動準備
	4	WL1 Unit 1-B、関連活動	VSF Chapter 2の活動準備
	5	VSF Chapter 2、その他CALL教材	WL1 Unit 2-Aの活動準備
	6	WL1 Unit 2-A、関連活動	VSF Chapter 3の活動準備
	7	VSF Chapter 3、その他CALL教材	WL1 Unit 2-Bの活動準備
	8	WL1 Unit 2-B、関連活動	VSF Chapter 4の活動準備
	9	VSF Chapter 4、その他CALL教材	WL1 Unit 3-Aの活動準備
	10	WL1 Unit 3-A、関連活動	VSF Chapter 5の活動準備
	11	VSF1 Chapter 5、その他CALL教材	WL1 Unit 3-Bの活動準備
	12	WL1 Unit 3-B、関連活動	VSF Chapters 1-5の復習
	13	発展的・応用的活動	WL1 Units 1-3の復習
	14	WL1 Review: Units 1-3、その他	VSF Chapters 1-5の復習
	15	発展的・応用的活動	WL1 Units 1-3、Reviewの復習
	16	WL1関連活動	VSF Chapter 6の活動準備
	17	VSF Chapter 6、その他CALL教材	WL1 Unit 4-Aの活動準備
	18	WL1 Unit 4-A、関連活動	VSF Chapter 7の活動準備
	19	VSF Chapter 7、その他CALL教材	WL1 Unit 4-Bの活動準備
	20	WL1 Unit 4-B、関連活動	VSF Chapter 8の活動準備
	21	VSF1 Chapter 8、その他CALL教材	WL1 Unit 5-Aの活動準備
	22	WL1 Unit 5-A、関連活動	VSF Chapter 9の活動準備
	23	VSF1 Chapter 9、その他CALL教材	WL1 Unit 5-Bの活動準備
	24	WL1 Unit 5-B、関連活動	VSF Chapter 10の活動準備
	25	VSF Chapter 10、その他CALL教材	WL1 Unit 6-Aの活動準備
	26	WL1 Unit 6-A、関連活動	VSF Chapters 6-10の復習
	27	発展的・応用的活動	WL1 Unit 6-Bの活動準備
	28	WL1 Unit 6-B、関連活動	予告に従った活動準備
	29	発展的・応用的活動	WL1 Units 4-6の復習
30	WL1 Review: Units 4-6、その他	総復習と試験準備	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Ohyagi, Hiroto and Timothy Kiggell (1998) Viva! San Francisco, MacMillan. (購入不要) 2. Stempleski, Susan et al. (2011) World Link 1: Developing English Fluency, 2nd Edition, Cengage Learning.
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 辞書は毎回必ず持参すること。語彙力は、聴く・話す技能の向上にも不可欠である。 2. リスニング・スピーキング力の向上には多分に身体的・感覚的な慣れが必要であり、どれだけ聴いた・どれだけ話したかということは重要である。従って、できるだけ欠席しないだけでなく、授業での諸活動に努めて積極的・能動的に取り組むよう求めたい。 3. 参加姿勢に甚だしく問題がある場合は、欠席と見なしたり、退室を求めることもあり得る。 <p>*授業ではMoodleを用いた活動も行うため、初回授業時にコースへの登録を行う。</p>
	<p>評価</p> <p>(1) 期末試験: 30%、(2) 授業内の活動(スピーチ含む): 35%、(3) 提出物・課題: 20%、(4) LMS・Moodleでの解答: 15% の配分で得点を計算し、評価を決定する。但し、活動状況等に特筆すべき点(良い面・悪い面とも)がある場合は、±10%を上限として加点・減点を行う。また、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期開講の英語IIは英語Iと連続した内容を扱っており、原則的に続けて履修すること。また、学習内容への習熟を確認する意味でも、各種の英語資格試験には進んで取り組んで欲しい。</p>

※ポリシーとの関連性 英語I・IIの到達目標である「会話を聞いて、情報を理解し、的確に答え、用件を伝えることができる。」に沿った学習を進める。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 広美 [法律・地行]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	スピーキング・リスニングを中心に英語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。コミュニケーション力は単に情報の受信や発信という技術的な事だけではなく、その背景にある文化を理解することでもある。よって、さまざまな教材を通してスピーキング・リスニングの技術習得と共に異文化理解も深めていく。	将来、どのような職業に就くにしても、英語の必要性は高くなることが予想されます。また、高い英語力があれば職業の選択の幅も広がります。また、このクラスで学んだ英語によるコミュニケーション力は母国語においても発揮されるはずで、企業はコミュニケーション能力の高い社員を求めています。積極的に授業に参加して英語の基礎力・コミュニケーション力を身に付けて下さい。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平易な英語を聞いて理解できる。 2. 日常生活において必要なことを英語で伝えることができる。 3. 平易な英文を読んで理解できる。 4. クラスメートと協力してペアワークやグループ学習ができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラスオリエンテーション	シラバスをよく読むこと
	2	New Friends, New Faces	Good Morning U. 1
	3	Reading a short story	Time to Read U. 1
	4	New Friends, New Faces	Good Morning U. 1
	5	Reading a short story	Time to Read U. 2
	6	Express Yourself!	Good Morning U. 2
	7	Reading a short story	Time to Read U. 3
	8	Express Yourself!	Good Morning U. 2
	9	Reading a short story	Time to Read U. 4
	10	What Do We Need?	Good Morning U. 2
	11	Reading a short story	Time to Read U. 5
	12	What Do We Need?	Good Morning U. 3
	13	Good Morning World Unit 1-3	Review U. 1-3
	14	Oral Exam 1	Practice U. 1-3
	15	Midterm Exam	Review U. 1-3
	16	Vacation!	Good Morning U. 4
	17	Reading a short story	Time to Read U. 6
	18	Vacation!	Good Morning U. 4
	19	Reading a short story	Time to Read U. 7
	20	Vacation!	Good Morning U. 4
	21	Reading a short story	Time to Read U. 8
	22	Heroes	Good Morning U. 5
	23	Reading a short story	Time to Read U. 9
	24	Heroes	Good Morning U. 5
	25	Reading a short story	Time to Read U. 10
	26	The Mind	Good Morning U. 6
	27	The Mind	Good Morning U. 6
	28	The Mind	Good Morning U. 6
	29	Good Morning World Unit 4-6	Review U. 4-6
30	Oral Exam 2	Practice U. 1-3	
31	Final Exam	Review U. 4-6	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Good Morning World! センゲージラーニング (株) 2. It's Time to Read! 南雲堂 3. Viva! San Francisco. MACMILAN (インストールされているので購入する必要はありません)
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>学科でクラス分けをしているので、無断でクラスを変更しないと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスに出席する。遅刻として認めるのは開始20分まで、それ以上の遅刻は欠席とみなす。3回の遅刻は1回の欠席とみなす。3分の1以上の欠席者には単位は与えない。 2. 授業に積極的に参加する。教員の質問に答えるのは勿論のこと、わからないところは遠慮なく質問する。また、授業中の演習には真剣に取り組む。(Class Participation) 3. 前もってテキストの単語を調べる等の予習をする。宿題は必ず済ませておく。 4. クイズ・定期テストは必ず受ける。
	<p>評価</p> <p>Class Participation 10% (上記の到達目標の1～4を評価)</p> <p>Viva! Quiz 10% (上記の到達目標の1,2を評価)</p> <p>Reading Quiz 10% (上記の到達目標の3を評価)</p> <p>Oral Activities 20% (上記の到達目標2,3,4を評価)</p> <p>Exams 50% (上記の到達目標の2,3,4を評価)</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iで学習した英語の基礎を土台に、後期に英語IIへ進む。英語IIは内容が濃くなり、また、応用も求められるので、夏休み中にインターネット・洋画等を利用した幅広い英語の学習を続けて欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	前澤 大樹 [地域環境]	1年	h.maezawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業では、特にリスニングとスピーキングに焦点を合わせ、大学での英語学習の基礎となる口頭運用能力を養う。CALL教室の回では、実践的な状況で活かせる口語表現を学び、練習機会もできるだけ確保する。普通教室では聴き取りに加え、より能動的な会話練習を行う。また、全員に授業期間のどこかで1分程度のショートスピーチを実施して貰う。	これまでに学んだことを振り返り、それを次のレベルへと発展させることは、今後より高度な英語力を身に付けていく上で重要な土台となります。大学での英語学習の第一歩として、是非積極的に取り組んでください。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業に取り組む中で、高校までに学習した英語の知識・技能を再確認し、確実に定着させる。 2. それらを発展させた知識・技能をリスニング・スピーキングの実践に於いて活用することができる。 3. 英語での口頭の遣り取りによって、他者から情報を得るとともに、自身に関することを相手に伝えることができる。 <p>*下記の進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施内容を含め予定を変更する場合があります。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業概要と学習の進め方、導入	WL1 Unit 1-Aの活動準備
	2	World Link 1 (WL1) Unit 1-A	VSF Chapter 1の活動準備
	3	Viva! San Francisco (VSF) Chapter 1	WL1 Unit 1-Bの活動準備
	4	WL1 Unit 1-B、関連活動	VSF Chapter 2の活動準備
	5	VSF Chapter 2、その他CALL教材	WL1 Unit 2-Aの活動準備
	6	WL1 Unit 2-A、関連活動	VSF Chapter 3の活動準備
	7	VSF Chapter 3、その他CALL教材	WL1 Unit 2-Bの活動準備
	8	WL1 Unit 2-B、関連活動	VSF Chapter 4の活動準備
	9	VSF Chapter 4、その他CALL教材	WL1 Unit 3-Aの活動準備
	10	WL1 Unit 3-A、関連活動	VSF Chapter 5の活動準備
	11	VSF Chapter 5、その他CALL教材	WL1 Unit 3-Bの活動準備
	12	WL1 Unit 3-B、関連活動	VSF Chapters 1-5の復習
	13	発展的・応用的活動	WL1 Units 1-3の復習
	14	WL1 Review: Units 1-3、その他	VSF Chapters 1-5の復習
	15	発展的・応用的活動	WL1 Units 1-3、Reviewの復習
	16	WL1関連活動	VSF Chapter 6の活動準備
	17	VSF Chapter 6、その他CALL教材	WL1 Unit 4-Aの活動準備
	18	WL1 Unit 4-A、関連活動	VSF Chapter 7の活動準備
	19	VSF Chapter 7、その他CALL教材	WL1 Unit 4-Bの活動準備
	20	WL1 Unit 4-B、関連活動	VSF Chapter 8の活動準備
	21	VSF Chapter 8、その他CALL教材	WL1 Unit 5-Aの活動準備
	22	WL1 Unit 5-A、関連活動	VSF Chapter 9の活動準備
	23	VSF Chapter 9、その他CALL教材	WL1 Unit 5-Bの活動準備
	24	WL1 Unit 5-B、関連活動	VSF Chapter 10の活動準備
	25	VSF Chapter 10、その他CALL教材	WL1 Unit 6-Aの活動準備
	26	WL1 Unit 6-A、関連活動	VSF Chapters 6-10の復習
	27	発展的・応用的活動	WL1 Unit 6-Bの活動準備
	28	WL1 Unit 6-B、関連活動	予告に従った活動準備
	29	発展的・応用的活動	WL1 Units 4-6の復習
30	WL1 Review: Units 4-6、その他	総復習と試験準備	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Ohyagi, Hiroto and Timothy Kiggell (1998) Viva! San Francisco, MacMillan. (購入不要) 2. Stempleski, Susan et al. (2011) World Link 1: Developing English Fluency, 2nd Edition, Cengage Learning.
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 辞書は毎回必ず持参すること。語彙力は、聴く・話す技能の向上にも不可欠である。 2. リスニング・スピーキング力の向上には多分に身体的・感覚的な慣れが必要であり、どれだけ聴いた・どれだけ話したかということは重要である。従って、できるだけ欠席しないだけでなく、授業での諸活動に努めて積極的・能動的に取り組むよう求めたい。 3. 参加姿勢に甚だしく問題がある場合は、欠席と見なしたり、退室を求めることもあり得る。 <p>*授業ではMoodleを用いた活動も行うため、初回授業時にコースへの登録を行う。</p>
	<p>評価</p> <p>(1) 期末試験: 30%、(2) 授業内の活動(スピーチ含む): 35%、(3) 提出物・課題: 20%、(4) LMS・Moodleでの解答: 15% の配分で得点を計算し、評価を決定する。但し、活動状況等に特筆すべき点(良い面・悪い面とも)がある場合は、±10%を上限として加点・減点を行う。また、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期開講の英語IIは英語Iと連続した内容を扱っており、原則的に続けて履修すること。また、学習内容への習熟を確認する意味でも、各種の英語資格試験には進んで取り組んで欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉[地域環境]	1年	授業終了後に教室で原則受け付けます	

学びの準備	ねらい スピーキングとリスニング力を中心とした、実生活で使える英語のコミュニケーション力アップを目指します。	メッセージ まずは怖がらずに英語でメッセージを発信して、コミュニケーションをはかる意識をもってほしいと思います。授業では、私自身の海外での様々なエピソードも交えつつ、インタラクティブなアクティビティをできる限り中心としたものにします。授業への積極的な参加が求められます。真摯に楽しく使える英語力の習得に取り組んでいきましょう！
	到達目標 * 自分について・相手について・お互いに興味のあることに関する情報を英語で共有できる * 英語圏に渡航した際に最低限必要なコミュニケーションを図れる * 英語を用いて異文化への理解に積極的に取り組める	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction/	
	2	In My Life (IML) Self-introduction	
	3	[VSF] Chap 1	
	4	[IML] My hobbies...	
	5	[VSF] Chap 2	
	6	[IML] My recent activities	
	7	[VSF] Chap 3	
	8	[IML] My past	
	9	[VSF] Chap 4	
	10	[IML] My family	
	11	[VSF] Chap 5	
	12	[IML] My friends	
	13	[VSF] Chap 6	
	14	VSF review (クイズ1)	
	15	IML review (クイズ2)	
	16	[VSF] Chap 7	
	17	[IML] My weekly schedule	
	18	[VSF] Chap 8	
	19	[IML] My free time	
	20	[VSF] Chap 9	
	21	[IML] My hometown and neighborhood	
	22	[VSF] Chap 10	
	23	[IML] My home	
	24	[IML] My hopes and dreams	
	25	[IML] My upcoming plans	
	26	Group presentation 準備	
	27	Group presentations 1	
	28	Group presentations 2	
	29	Group presentations 3	
30	Group presentations 4		
31	Wrap up, End-semester exam 準備		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>指定教科書: ① In My Life: Strategies for Personal Communication (Macmillan; 学内書店にて購入要) ②Viva! San Francisco (Macmillan; ラボ室ソフト教材のため、購入不要)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> - 講義への出欠は、評価対象となるとともに、毎回確認を行います。妥当かつやむを得ない理由で欠席する際は、事前にメールで連絡してください。 - インタラクティブなアクティビティを多用しますので、毎回積極的な参加姿勢が求められます。Q67
	<p>評価</p> <p>1. 授業への参加姿勢 (出欠、アクティビティなどへの積極的な参加) 10% 2. 中間 review クイズ 20% 3. グループプレゼンテーション20% 3. 期末テスト 35% 4. スクラップブック評価 15%</p> <p>詳細については、第1回の講義にてお知らせします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本教科で学んだことを踏まえ、英語IIを履修し応用しましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉[社文・人福]	1年	授業終了後または研究室（研究室の場合は事前にメールにてアポをとってください。）	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅰの発展教科であるこの授業では、実社会で使える英語力の養成を目指します。海外での諸場面で必要なコミュニケーション能力を伸ばすとともに、英語ネイティブスピーカーなどと沖縄・日本の文化・慣習について話せる異文化コミュニケーション力を養成します。	英語でメッセージを発信して、コミュニケーションをはかるうえで必要な知識と自信を培ってみたいと思います。授業では、インタラクティブなアクティビティを中心としたものになりますので、授業への積極的な参加が求められます。英語・日本語両文化をさらに掘り下げて学んでいきましょう！
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> * 英語圏における日常・留学生活などの諸場面で英語を用いて意思の疎通ができる * 英語コミュニケーションに必要なルール（文法、語用など）を理解し、使うことができる * 英語を用いて異文化理解を深められる * 沖縄を含む日本の文化慣習について英語で説明できる 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction to the unit	
	2	Viva San Francisco (VSF) Chap 11	
	3	This is Japan (JP) Knowing me	
	4	[VSF] Chap 12	
	5	[JP] My hometown	
	6	[VSF] Chap 13	
	7	[JP] Japanese food	
	8	[VSF] Chap 14	
	9	[JP] Mind your manners	
	10	[VSF] Chap 15	
	11	[JP] Explaining Japanese things	
	12	[VSF] 中間 review	
	13	[JP] The Japanese Language	
	14	[VSF] 中間点検	
	15	[JP] 中間 review	
	16	[VSF] Chap 16	
	17	[JP] 中間点検	
	18	[VSF] Chap 17	
	19	[JP] Visiting temples and shrines	
	20	[VSF] Chap 18	
	21	[JP] Traditional house	
	22	[VSF] Chap 19	
	23	[JP] Special days and events	
	24	[VSF] Chap 20	
	25	[JP] School and college life	
	26	[JP] Famous Japanese people	
	27	[JP] Japanese movies & TV	
	28	Group presentations 1	
	29	Group presentations 2	
30	Group presentations 3		
31	Group presentations 4, wrap up		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 指定教科書:① This is Japan: Your culture, your life (Macmillan Language House - 学内書店にて購入要) ② Viva! San Francisco (Macmillan Language House; ラボ室ソフト教材のため、購入不要)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て - 講義への出欠は、評価対象となる(三分の一以上の欠席は、自動的に不可となります)とともに、毎回確認を行います。妥当かつやむを得ない理由で欠席する際は、事前にメールで連絡してください。 - インタラクティブなアクティビティを多用しますので、毎回積極的な参加姿勢が求められます。 - 英語力アップに予習・復習は必要不可欠なものです。予習・復習を行った前提で授業をすすめます。</p>
	<p>評価 1. 授業への参加姿勢(出欠、アクティビティなどへの積極的な参加) 10% 2. 中間点検 30% 3. Group presentation 20% 4. 期末テスト 40% 詳細は第1回講義にて通知します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 本教科で学んだことを基に、英語III, IVに応用・活用しましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉[地域環境]	1年	授業終了後または研究室（研究室の場合は事前にメールにてアポをとってください。）	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>英語Iの発展教科であるこの授業では、実社会で使える英語力の養成を目指します。海外での諸場面で必要なコミュニケーション能力を伸ばすとともに、英語ネイティブスピーカーなどと沖縄・日本の文化・慣習について話せる異文化コミュニケーション力を養成します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> * 英語圏における日常・留学生活などの諸場面で英語を用いて意思の疎通ができる * 英語コミュニケーションに必要なルール（文法、語用など）を理解し、使うことができる * 英語を用いて異文化理解を深められる * 沖縄を含む日本の文化慣習について英語で説明できる 	<p>英語でメッセージを発信して、コミュニケーションをはかるうえで必要な知識と自信を培ってみたいと思います。授業では、インタラクティブなアクティビティを中心としたものになりますので、授業への積極的な参加が求められます。英語・日本語両文化をさらに掘り下げて学んでいきましょう！</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction to the unit	
	2	Viva San Francisco (VSF) Chap 11	
	3	This is Japan (JP) Knowing me	
	4	[VSF] Chap 12	
	5	[JP] My hometown	
	6	[VSF] Chap 13	
	7	[JP] Japanese food	
	8	[VSF] Chap 14	
	9	[JP] Mind your manners	
	10	[VSF] Chap 15	
	11	[JP] Explaining Japanese things	
	12	[VSF] 中間 review	
	13	[JP] The Japanese Language	
	14	[VSF] 中間点検	
	15	[JP] 中間 review	
	16	[VSF] Chap 16	
	17	[JP] 中間点検	
	18	[VSF] Chap 17	
	19	[JP] Visiting temples and shrines	
	20	[VSF] Chap 18	
	21	[JP] Traditional house	
	22	[VSF] Chap 19	
	23	[JP] Special days and events	
	24	[VSF] Chap 20	
	25	[JP] School and college life	
	26	[JP] Famous Japanese people	
	27	[JP] Japanese movies & TV	
	28	Group presentations 1	
	29	Group presentations 2	
30	Group presentations 3		
31	Group presentations 4, wrap up		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 指定教科書:① This is Japan: Your culture, your life (Macmillan Language House - 学内書店にて購入要) ② Viva! San Francisco (Macmillan Language House; ラボ室ソフト教材のため、購入不要)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て - 講義への出欠は、評価対象となる(三分の一以上の欠席は、自動的に不可となります)とともに、毎回確認を行います。妥当かつやむを得ない理由で欠席する際は、事前にメールで連絡してください。 - インタラクティブなアクティビティを多用しますので、毎回積極的な参加姿勢が求められます。 - 英語力アップに予習・復習は必要不可欠なものです。予習・復習を行った前提で授業をすすめます。</p>
	<p>評価 1. 授業への参加姿勢(出欠、アクティビティなどへの積極的な参加) 10% 2. 中間点検 30% 3. Group presentation 20% 4. 期末テスト 40% 詳細は第1回講義にて通知します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 本教科で学んだことを基に、英語III, IVに応用・活用しましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子 [法律・地行]	1年	akooshiro@oku.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰをさらに発展させて、英語コミュニケーションの力を日常で使用できるようにさまざまな活動を通して培う。	メッセージ 英語Ⅱ学習を通して、言葉と考える力を一緒に磨いていきましょう！
	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる	

学びの準備	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	
	2	英語Ⅰ履修内容の総復習、他	
	3	英語基礎力養成 他	
	4	ラボ室学習	
	5	英語基礎力養成 他	
	6	ラボ室学習	
	7	英語基礎力養成 他	
	8	ラボ室学習	
	9	英語基礎力養成 他	
	10	ラボ室学習	
	11	英語基礎力養成 他	
	12	ラボ室学習	
	13	英語基礎力養成 他	
	14	ラボ室学習	
	15	英語基礎力養成 他	
	16	ラボ室学習	
	17	中間試験	
	18	ラボ室学習前半しあげ	
	19	英語基礎力養成 他	
	20	ラボ室学習	
	21	英語基礎力養成 他	
	22	ラボ室学習	
	23	英語基礎力養成 他	
	24	ラボ室学習	
	25	英語基礎力養成 他	
	26	ラボ室学習	
	27	英語基礎力養成 他	
	28	ラボ室学習	
	29	期末試験 他	
30	ラボ室学習後半しあげ		
31	振り返り 他		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>1. 全学共通のe-learning(購入の必要はない) 2. 英語 I で用いた教科書、 3. 講師作成配布のStudyGuideなど</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>英語 II は講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>授業への参加、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次へのステップは英語 III と IV です。そして、英語を現実社会で使うことです。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 ゆかり [経済・環境・企業・産情(2年以上)]	2年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい (1) 感情や事実、考えや意図等を伝える活動（ペアワークやグループワーク）を通して、スピーキングおよびリスニングスキルを高める。 (2) 他者を受容し多様な価値観を受容するコミュニケーション能力を高める。	メッセージ 互いを尊重し、共に学びあう学習環境を作り上げるコミュニティの一員であるという自覚をもち、主体性を持って授業に参加しよう。出席重視はもちろんですが、積極的に授業へ参加（発言や会話の練習）ができることが最も重要です。課題と事前学習（音読・暗唱の練習）ができる学生の受講を期待します。
	到達目標 (1) 日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができる。 (2) 日常生活での情報・説明を聞きとったり、まとまりのある内容を理解することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	イントロダクション（授業の進め方の説明と小テスト）	シラバスの確認
	2	イントロダクション（前期の復習） English As International Language	音読
	3	Summer Vacation (Travel, Event, Meeting, Work and etc.,)	Summer Vacation 予習
	4	”	”
	5	Giving Advice	Gving Advve 予習
	6	”	”
	7	Getting Information	Getting Infromation予習
	8	”	”
	9	”	”
	10	”	”
	11	Comparing & Contrasting	Comparin&COntrasting 予習
	12	”	”
	13	”	”
	14	”	”
	15	Speakingテスト	テスト勉強&映画
	16	Speaking テスト	テスト勉強&映画
	17	Speaking テスト	テスト勉強&映画
	18	Talking about Experiences	Experience 予習
	19	”	”
	20	”	”
	21	”	”
	22	Orientation for Group Project	発表に向けて準備
	23	Orientation for Group Project	音読練習
	24	Presentation	発表練習
	25	Presentation	発表練習
	26	Interviewing	Interviewing 予習
	27	Interviewing	”
	28	Interviewing	”
	29	Interviewing	”
30	テスト対策	テスト勉強	
31	期末テスト(後期の範囲全て)		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 学習記録（ポートフォリオ）、適宜ハンドアウトを配布 参考書・参考資料等については授業で紹介します。</p>
	<p>学びの手立て ★履修の心構え：ペアワークやグループワーク等が毎回ある為、共同学習に協力的であること。 ★学びを深めるために：授業内容で理解が難しい場合は、直ぐに講師に質問もしくは相談してください。</p>
	<p>評価 ・期末テスト(リスニング含む) 50% ・ポートフォリオ(ワークへの参加、学びのプロセス記録) 15% ・ペアワークおよびグループワークへの貢献(発言、積極性、リーダーシップ) 15% ・課題(20回) 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 (1) (できれば) 英語Ⅲ・Ⅳ (2) 文献購読やプレゼンテーションなどを学んでほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子 [地域環境]	1年	学内のE-mailや、授業の前後に教室にて受けつける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き後期も、大学生にとっての日常生活における身近な場面に焦点をあて、英語の4技能をバランスよく学習する。実用性の高い教材を用いて、臨場感あふれる、生き生きとした表現を習得することを目指す。中学・高校を通して学んだ英語のスキルを整理し、実生活（日常・職場）において活用できるようにすることを目標とする。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 日常生活のあらゆる場で使われる英語の①語彙、②表現、③文法、④音声、⑤文化的側面を習得する。 2) 英語を使って自分の考えなどを表現できる。 3) 英語で表現された資料や告知文などを理解できる。 4) 他の人の意見を聞き、時にはアドバイスをしたり、自分の考えを示したりして、協力・共存できるような英語のコミュニケーション能力を高める。</p>	<p>クラスにおいては、ペアを組んで練習をする等の積極的な参加が期待されることを心してほしい。語学（英語）の学習の場であることを常に念頭に置いて、他の受講者との語らいを楽しんでほしい。すなわち、無気力・無関心・しらけた態度を謹んでクラスに臨むことが期待される。英語が得意な学生も、苦手な学生もいるだろうが、どちらにしても、更なる一歩前進を目指してほしい。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション&テーマに沿ってはがきを書く：『夏休みはどう過ごしましたか』	シラバスの読み合わせ
	2	『夏休みはどう過ごしましたか』	ハンドアウト
	3	Unit 13：機内で	アドバイスを求める・提案する
	4	Unit 13	『学び方』を学ぶ
	5	Unit 14：空港で	就職活動について
	6	Unit 14	〃
	7	Unit 15：ホテル	就職面接をうける
	8	Unit 15	〃
	9	Unit 16：レストランで	学園祭について
	10	Unit 16	〃
	11	Unit 17：ショッピング	学食で食事をする（料理について）
	12	Unit 17	〃
	13	Unit 18：ベースボール	祝日について
	14	Unit 18	〃
	15	中間試験	
	16	Unit 13～Unit 18のまとめ	試験の解答
	17	Unit 19：ミュージカル鑑賞	携帯電話・メールについて
	18	Unit 19	〃
	19	Unit 20：旅行案内	調べて、クラスで発表する
	20	Unit 20	〃
	21	Unit 21：トラブル・シューティング	クリスマス・カードを書く
	22	Unit 21	〃
	23	Unit 22：体調不良	冬休みの過ごし方
	24	Unit 22	〃
	25	Unit 23：電話での申込	今年の目標を語る
	26	Unit 23	〃
	27	Unit 24：さよなら、アメリカ！	お別れ会の計画
	28	Unit 24	〃
	29	Video：Monster Maker	映画のあらすじをまとめる
30	期末試験		
31	Unit 19～Unit 24のまとめ	試験の解答 & 後期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>参考文献：英語便利辞典（小学館外国語辞典編集部） テキスト：Forerunner to Power-Up English その他：ハンドアウト資料・教材</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 3分の1以上欠席すると、単位を取得することはできない。遅刻3回で、欠席1回とみなす。②授業中は他の学生の学習を妨げるような行為を慎む。③ペア・グループを組んでの活動では、積極的に取りくむよう心がける。④授業中、スマホや携帯電話などを使用することを禁じる。⑤辞書を活用する習慣を身につける。⑥質問はおおきに歓迎します。</p>
	<p>評価</p> <p>1) Unitごとの、ミニ・クイズ（①語彙 ②表現 ③聴き取りなど）・課題：30% 2) 中間・期末テスト：60% 3) クラス・ラボ室での活動：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 Iを通して学んだ知識や、辞書を活用するなどのような、語学を学習するために役立つ習慣等を日常生活で実践するよう心がける。</p>

※ポリシーとの関連性 英語I・IIの到達目標である「会話を聞いて、情報を理解し、的確に答え、用件を伝えることができる。」に沿った学習を進める。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語II	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 広美 [法律・地行]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 英語IIに引き続きスピーキング・リスニングを中心に英語によるコミュニケーションの基礎と応用を学ぶ。また、英語Iと同様に情報の受信や発信という技術的な学習と、その背景にある異文化理解も含めていく。グローバル化が進む今日、英語コミュニケーションと異文化理解は卒業後の日常生活に於いても必要とされるはずである。	メッセージ 将来、どのような職業に就くにしても、英語の必要性は高くなることが予想されます。また、高い英語力があれば職業の選択の幅も広がります。また、このクラスで学んだ英語によるコミュニケーション力は母国語においても発揮されるはずで、企業はコミュニケーション能力の高い社員を求めています。積極的に授業に参加して英語の基礎力・コミュニケーション力を身に付けて下さい。
	到達目標 1. 平易な英語を聞いて理解できる。 2. 日常生活において必要なことを英語で伝えることができる。 3. 平易な英文を読んで理解できる。 4. クラスメートと協力してペアワークやグループ学習ができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラスオリエンテーション	
	2	In the City	Good Morning U. 7
	3	Reading a short story	Time to Read U11
	4	In the City	Good Morning U. 7
	5	Reading a short story	Time to Read U12
	6	All about You	Good Morning U. 8
	7	Reading a short story	Time to Read U13
	8	All about You	Good Morning U. 8
	9	Reading a short story	Time to Read U14
	10	Change	Good Morning U. 9
	11	Reading a short story	Time to Read U15
	12	Change	Good Morning U. 9
	13	Good Morning World Unit 7-9	Review U. 7-9
	14	Oral Activity 1	Practice U. 7-9
	15	Midterm Exam	Review U. 7-9
	16	Your Health	Good Morning U. 10
	17	Reading a short story	Time to Read U16
	18	Your Health	Good Morning U. 10
	19	Reading a short story	Time to Read U17
	20	Your Health	Good Morning U. 10
	21	Reading a short story	Time to Read U18
	22	That's Amazing!	Good Morning U. 11
	23	Reading a short story	Time to Read U19
	24	That's Amazing!	Good Morning U. 11
	25	Reading a short story	Time to Read U20
	26	At the Movies	Good Morning U. 12
	27	At the Movies	Good Morning U. 12
	28	At the Movies	Good Morning U. 12
	29	Good Morning World Unit 10-12	Review U. 10-12
30	Oral Activity 2	Practice U. 10-12	
31	Final Exam	Review U. 10-12	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Good Morning World! センゲージラーニング (株) 2. It's Time to Read! 南雲堂 3. Viva! San Francisco. MACMILAN (インストールされているので購入する必要はありません) <p>*前期と同じテキストを使用します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>地域行政・法律の両学科合同のプレースメントテストによりクラス分けをしているので、無断でクラスを変更しない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスに出席する。遅刻として認めるのは開始20分まで、それ以上の遅刻は欠席とみなす。3回の遅刻は1回の欠席とみなす。3分の1以上の欠席者には単位は与えない。 2. 授業に積極的に参加する。教員の質問に答えるのは勿論のこと、わからないところは遠慮なく質問する。また、授業中の演習には真剣に取り組む。(Class Participation) 3. 前もってテキストの単語を調べる等の予習をする。宿題は必ず済ませておく。 4. クイズ・定期テストは必ず受ける。
	<p>評価</p> <p>Class Participation 10% (上記の到達目標の1～4を評価)</p> <p>Viva! Quiz 10% (上記の到達目標の1,2を評価)</p> <p>Reading Quiz 10% (上記の到達目標の3を評価)</p> <p>Oral Activities 20% (上記の到達目標2,3,4を評価)</p> <p>Exams 50% (上記の到達目標の2,3,4を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語III及びVIは学科によっては必須科目ではないが、英語に常に触れておくことは英語学習に於いて最も重要な事の一つである。よって、できるだけ英語III及びVIに進んで欲しい。また、インターネット・洋画等を利用した幅広い英語の学習も続けて欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [法律・地行]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期と同様、テキストに登場する様々なトピックを通して英語の4つのスキル(Listening, Reading, Writing, Speaking)、語彙力、そして文法をバランスよく学習する。クラスメートと楽しく学ぶ環境の中、より英語学習に積極的に取り組み、英語力の向上を実感することを目指す。</p>	<p>英語Iで学んだことを活かし、更に英語を活用して様々な活動をして行きたいと思っています。英語は活用してこそ楽しいのです！ See you in class!</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 英語で沖縄について、基礎的な単語や表現を用いて話すことができる。 英語でクラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。 タスクを行うための情報収集・問題解方法を自ら考え、実行できる。 授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。 英語の必要性を自分なりに考え、それに沿った行動ができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション& 英語I 復習	英語Iの復習&Unit 8 の予習
	2	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	3	Viva! San Francisco Ch. 11	Unit 8復習& Viva SF Ch.11復習
	4	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	5	Viva! San Francisco Ch. 12	Unit 9予習& Viva SF Ch.12復習
	6	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	7	Viva! San Francisco Ch. 13	Unit 9復習& Viva SF Ch.13復習
	8	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	9	Viva! San Francisco Ch. 14	Unit 10予習& Viva SF Ch.14復
	10	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習
	11	Viva! San Francisco Ch. 15	Unit 10復習 Viva SF Ch.15復習
	12	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習 Viva SF11-15復習
	13	Viva! San Francisco Review Ch. 11-15	Unit 11予習
	14	Unit 11: I can do that!	Unit 11復習
	15	Viva! San Francisco Ch. 16	Unit 11の復習& Viva SF Ch.16復習
	16	Unit 11: I can do that!	Unit 11-14& Viva SF Ch.16復習
	17	Viva! San Francisco Ch. 17	Unit 5予習& Viva SF Ch. 8復習
	18	中間試験 Unit 8-11	「英語を使う職業について」課題
	19	Viva! San Francisco Ch. 18	Unit 12予習& Viva SF Ch.18復習
	20	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習
	21	Viva! San Francisco Ch. 19	Unit 12復習& Viva SF Ch.19復習
	22	Unit 12: Please and thank you	Unit12 復習
	23	Viva! San Francisco Ch. 20	Unit 13予習& Viva SF Ch. 20復習
	24	Unit 13: Here and now	Unit 13& Viva SF Ch.16-20復習
	25	Viva! San Francisco Review Ch. 16-20	Unit 13復習
	26	Unit 13: Here and now	Unit 14予習 Viva SFプレゼン準備
	27	Viva! San Francisco Presentations	Unit 14復習 Viva SFプレゼン準備
	28	Unit 14: It's time to go!	Unit 14復習 Viva SFプレゼン準備
	29	Viva! San Francisco Presentations	Unit 14復習
30	Unit 14: It's time to go!	Unit 8-14復習	
31	期末試験		

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Starter (Student Book , Second Edition), Oxford University Press 参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介する。</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・ 私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ ほぼ毎回クイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。 ・ スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性（20%）②中間試験（20%）③期末試験（20%）④ 課題（20%） ⑤クイズ・Self Reflection（20%）を総合的に判断して評価する。</p> <p>また、授業以外に積極的に英語活動を行ったもの、ゲーム等の勝者にはボーナスポイントを与える場合があるのでそれらも考慮する。</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語IIIやIVなどの上のレベルを受講することを含め、自分なりにどういった形で英語学習を継続できるかを考えてほしい。特に英検やTOEICなどは、資格取得と同時にモチベーション維持にもなるので是非チャレンジしてほしい。</p>

※ポリシーとの関連性 英語I・IIの到達目標である「会話を聞いて、情報を理解し、的確に答え、用件を伝えることができる。」に沿った学習を進める。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 広美	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅱに引き続きスピーキング・リスニングを中心に英語によるコミュニケーションの基礎と応用を学ぶ。また、英語Ⅰと同様に情報の受信や発信という技術的な学習と、その背景にある異文化理解も含めていく。グローバル化が進む今日、英語コミュニケーションと異文化理解は卒業後の日常生活に於いても必要とされるはずである。	将来、どのような職業に就くにしても、英語の必要性は高くなることが予想されます。また、高い英語力があれば職業の選択の幅も広がります。また、このクラスで学んだ英語によるコミュニケーション力は母国語においても発揮されるはずで、企業はコミュニケーション能力の高い社員を求めています。積極的に授業に参加して英語の基礎力・コミュニケーション力を身に付けて下さい。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平易な英語を聞いて理解できる。 2. 日常生活において必要なことを英語で伝えることができる。 3. 平易な英文を読んで理解できる。 4. クラスメートと協力してペアワークやグループ学習ができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラスオリエンテーション	シラバスをよく読むこと
	2	In the City	Good Morning U. 7
	3	Reading a short story	Time to Read U11
	4	In the City	Good Morning U. 7
	5	Reading a short story	Time to Read U12
	6	All about You	Good Morning U. 8
	7	Reading a short story	Time to Read U13
	8	All about You	Good Morning U. 8
	9	Reading a short story	Time to Read U14
	10	Change	Good Morning U. 9
	11	Reading a short story	Time to Read U15
	12	Change	Good Morning U. 9
	13	Good Morning World Unit 7-9	Review U. 7-9
	14	Oral Activity 1	Practice U. 7-9
	15	Midterm Exam	Review U. 7-9
	16	Your Health	Good Morning U10
	17	Reading a short story	Time to Read U16
	18	Your Health	Good Morning U10
	19	Reading a short story	Time to Read U17
	20	Your Health	Good Morning U10
	21	Reading a short story	Time to Read U18
	22	That's Amazing!	Good Morning U11
	23	Reading a short story	Time to Read U19
	24	That's Amazing!	Good Morning U11
	25	Reading a short story	Time to Read U20
	26	At the Movies	Good Morning U12
	27	At the Movies	Good Morning U12
	28	At the Movies	Good Morning U12
	29	Good Morning World Unit 10-12	Review U. 10-12
	30	Oral Activity 2	Practice U. 10-12
31	Final Exam	Review U. 10-12	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Good Morning World! センゲージラーニング (株) 2. It's Time to Read! 南雲堂 3. Viva! San Francisco. MACMILAN (インストールされているので購入する必要はありません) <p>*前期と同じテキストを使用します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>地域行政・法律の両学科合同のプレースメントテストによりクラス分けをしているので、無断でクラスを変更しない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスに出席する。遅刻として認めるのは開始20分まで、それ以上の遅刻は欠席とみなす。3回の遅刻は1回の欠席とみなす。3分の1以上の欠席者には単位は与えない。 2. 授業に積極的に参加する。教員の質問に答えるのは勿論のこと、わからないところは遠慮なく質問する。また、授業中の演習には真剣に取り組む。(Class Participation) 3. 前もってテキストの単語を調べる等の予習をする。宿題は必ず済ませておく。 4. クイズ・定期テストは必ず受ける。
	<p>評価</p> <p>Class Participation 10% (上記の到達目標の1～4を評価)</p> <p>Viva! Quiz 10% (上記の到達目標の1,2を評価)</p> <p>Reading Quiz 10% (上記の到達目標の3を評価)</p> <p>Oral Activities 20% (上記の到達目標2,3,4を評価)</p> <p>Exams 50% (上記の到達目標の2,3,4を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語III及びVIは学科によっては必須科目ではないが、英語に常に触れておくことは英語学習に於いて最も重要な事の一つである。よって、できるだけ英語III及びVIに進んで欲しい。また、インターネット・洋画等を利用した幅広い英語の学習も続けて欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [産業情報]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	前期と同様、テキストに登場する様々なトピックを通して英語の4つのスキル(Listening, Reading, Writing, Speaking)、語彙力、そして文法をバランスよく学習する。クラスメートと楽しく学ぶ環境の中、より英語学習に積極的に取り組み、英語力の向上を実感することを目指す。	英語Iで学んだことを活かし、更に英語を活用して様々な活動をして行きたいと思っています。英語は活用してこそ楽しいのです！ See you in class!

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> 英語で沖縄について、基礎的な単語や表現を用いて話すことができる。 英語でクラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。 タスクを行うための情報収集・問題解法を自ら考え、実行できる。 授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。 「英語の壁」に遭遇した場合、自分なりに解決方法を考え、それに沿った行動ができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション& 英語I 復習	英語Iの復習& Unit 8 予習
	2	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	3	Viva! San Francisco Ch. 11	Unit 8復習& Viva SF Ch.11復習
	4	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	5	Viva! San Fransisco Ch. 12	Unit 9予習& Viva SF Ch.12復習
	6	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	7	Viva! San Francisco Ch. 13	Unit 9復習& Viva SF Ch.13復習
	8	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	9	Viva! San Francisco Ch. 14	Unit 10予習& Viva SF Ch.14復
	10	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習
	11	Viva! San Francisco Ch. 15	Unit 10復習 Viva SF Ch.15復習
	12	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習 Viva SF 11-15復習
	13	Viva! San Francisco Review Ch. 11-15	Unit 11予習
	14	Unit 11: I can do that!	Unit 11復習
	15	Viva! San Francisco Ch. 16	Unit 11復習& Viva SF Ch.16復習
	16	Unit 11: I can do that!	Unit 11復習
	17	Viva! San Francisco Ch. 17	Unit8-11予習& Viva SF Ch.17復習
	18	中間試験 Unit 8-11	「英語を使う職業について」課題
	19	Viva! San Francisco Ch. 18	Unit 12予習& Viva SF Ch.18復習
	20	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習
	21	Viva! San Francisco Ch. 19	Unit 12復習& Viva SF Ch.19復習
	22	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習
	23	Viva! San Francisco Review Ch. 20	Unit 13予習& Viva SF Ch. 20復習
	24	Unit 13: Here and now	Unit 13復習&Viva SF Ch.16-20復習
	25	Viva! San Francisco Review Ch. 16-20	Unit 13復習
	26	Unit 13: Here and now	Unit 13復習 Viva SFプレゼン準備
	27	Viva! San Francisco Presentations	Unit 14予習 Viva SFプレゼン準備
	28	Unit 14: It's time to go!	Unit 14復習 Viva SFプレゼン準備
	29	Viva! San Francisco Presentations	Unit 14復習
30	Unit 14: It's time to go!	Unit 1-14復習	
31	学期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Starter (Student Book, Second Edition), Oxford University Press 参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ほぼ毎回クイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性（20%）②中間試験（20%）③期末試験（20%）④ 課題（20%） ⑤クイズ・Self Reflection（20%）を総合的に判断して評価する。</p> <p>また、授業以外に積極的に英語活動を行ったもの、ゲーム等の勝者にはボーナスポイントを与える場合があるのでそれらも考慮する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語IIIやIVなどの上のレベルを受講することを含め、自分なりにどういった形で英語学習を継続できるかを考えてほしい。特に英検やTOEICなどは、資格取得と同時にモチベーション維持にもなるので是非チャレンジしてほしい。また産業情報学科で開講されている「ビジネス英語」の受講も期待する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [日文]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、家庭学習にはサブテキストを使用して、英語のリスニング・ヒアリング・リーディングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。提出物は、指定がない限り、B5サイズのルーズリーフを使用すること。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 7~12)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	Subtext:Lesson 8
	3	Unit 7	"
	4	Chapter 11, Viva! San Francisco	"
	5	Unit 7	Lesson 9
	6	Chapter 12, Viva! San Francisco	"
	7	Unit 7	"
	8	Chapter 13, Viva! San Francisco	Lesson 10
	9	Unit 8	"
	10	Chapter 14, Viva! San Francisco	"
	11	Unit 8	Lesson 11
	12	Chapter 15, Viva! San Francisco	"
	13	Unit 9	"
	14	Unit 9	Mid-term exam 準備
	15	Review Unit 7~9	"
	16	Mid-term Examination	
	17	Review Mid-term exam & Unit 10	Lesson 12
	18	Chapter 16, Viva! San Francisco	"
	19	Unit 10	"
	20	Chapter 17, Viva! San Francisco	Lesson 13
	21	Unit 10	"
	22	Chapter 18, Viva! San Francisco	"
	23	Unit 11	Lesson 14
	24	Chapter 19, Viva! San Francisco	"
	25	Unit 11	"
	26	Chapter 20, Viva! San Francisco	Lesson 15
	27	Unit 11 & 12	"
	28	Unit 12	"
	29	Unit 12	Final exam 準備
30	Review Unit 10~12 and Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 下記テキスト・サブテキストは、前期英語 I に使用したものと同一。</p>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。それ以降の遅刻は、欠席とみなす。 2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。
	<p>評価</p> <p>中間テスト：20% 期末テスト：20% クイズ：30% 提出物：10% 出席：10% 講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語 III & 英語 IV 「上位科目」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	前澤 大樹 [英米]	1年	h.maezawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅰに引き続き、特にリスニングとスピーキングに焦点を合わせ、大学での英語学習の基礎となる口頭運用能力を養う。CALL教室の回では、実践的な状況で活かせる口語表現を学び、反復的な練習機会もできるだけ確保する。普通教室では聴き取りに加え、より能動的な会話練習を行う。また、全員に授業期間のどこかで1分程度の発表を実施して貰う。	既習の知識・技能を固めつつ、それを次のレベルへと発展させることは、今後より高度な英語力を身に付けていく上で重要な土台となります。大学での英語学習の第一歩として、是非積極的に取り組んでください。
到達目標	1. 授業に取り組む中で、高校までに学習した英語の知識・技能を再確認し、確実に定着させる。 2. それらを発展させた知識・技能をリスニング・スピーキングの実践に於いて活用することができる。 3. 英語での口頭の遣り取りによって、他者から情報を得るとともに、自身に関することを相手に伝えることができる。 *下記の進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施内容を含め予定を変更する場合があります。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業概要と学習の進め方、英語Ⅰの復習	WL1 Unit 7-Aの活動準備
	2	World Link (WL1) Unit 7-A	VSF Chapter 11の活動準備
	3	Viva! San Francisco (VSF) Chapter 11	WL1 Unit 7-Bの活動準備
	4	WL1 Unit 7-B、関連活動	VSF Chapter 12の活動準備
	5	VSF Chapter 12、その他CALL教材	WL1 Unit 8-Aの活動準備
	6	WL1 Unit 8-A、関連活動	VSF Chapter 13の活動準備
	7	VSF Chapter 13、その他CALL教材	WL1 Unit 8-Bの活動準備
	8	WL1 Unit 8-B、関連活動	VSF Chapter 14の活動準備
	9	VSF Chapter 14、その他CALL教材	WL1 Unit 9-Aの活動準備
	10	WL1 Unit 9-A、関連活動	VSF Chapter 15の活動準備
	11	VSF Chapter 15、その他CALL教材	WL1 Unit 9-Bの活動準備
	12	WL1 Unit 9-B、関連活動	VSF Chapters 11-15の復習
	13	発展的・応用的活動	WL1 Units 7-9、Reviewの復習
	14	WL1 Review: Units 7-9、その他	VSF Chapters 11-15の復習
	15	発展的・応用的活動	WL1 Units 7-9の復習
	16	WL1関連活動	VSF Chapter 16の活動準備
	17	VSF Chapter 16、その他CALL教材	WL1 Unit 10-Aの活動準備
	18	WL1 Unit 10-A、関連活動	VSF Chapter 17の活動準備
	19	VSF Chapter 17、その他CALL教材	WL1 Unit 10-Bの活動準備
	20	WL1 Unit 10-B、関連活動	VSF Chapter 18の活動準備
	21	VSF Chapter 18、その他CALL教材	WL1 Unit 11-Aの活動準備
	22	WL1 Unit 11-A、関連活動	VSF Chapter 19の活動準備
	23	VSF Chapter 19、その他CALL教材	WL1 Unit 11-Bの活動準備
	24	WL1 Unit 11-B、関連活動	VSF Chapter 20の活動準備
	25	VSF Chapter 20、その他CALL教材	WL1 Unit 12-Aの活動準備
	26	WL1 Unit 12-A、関連活動	VSF Chapters 16-20の復習
	27	発展的・応用的活動	WL1 Unit 12-Bの活動準備
	28	WL1 Unit 12-B、関連活動	予告に従った活動準備
	29	発展的・応用的活動	WL1 Units 10-12の復習
30	WL1 Review: Units 10-12、その他	総復習と試験準備	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Ohyagi, Hiroto and Timothy Kiggell (1998) Viva! San Francisco, MacMillan. (購入不要) 2. Stempleski, Susan et al. (2011) World Link 1: Developing English Fluency, 2nd Edition, Cengage Learning.
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 辞書は毎回必ず持参すること。語彙力は、聴く・話す技能の向上にも不可欠である。 2. リスニング・スピーキング力の向上には多分に身体的・感覚的な慣れが必要であり、どれだけ聴いた・どれだけ話したかということは重要である。従って、できるだけ欠席しないだけでなく、授業での諸活動に努めて積極的・能動的に取り組むよう求めたい。 3. 参加姿勢に甚だしく問題がある場合は、欠席と見なしたり、退室を求めることもあり得る。 <p>*授業ではMoodleを用いた活動も行うため、未登録者については初回授業時にコースへの登録を行う。</p>
	<p>評価</p> <p>(1) 期末試験: 30%、(2) 授業内の活動(発表含む): 35%、(3) 提出物・課題: 20%、(4) LMS・Moodleでの解答: 15% の配分で得点を計算し、評価を決定する。但し、活動状況等に特筆すべき点(良い面・悪い面とも)がある場合は、±10%を上限として加点・減点を行う。また、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>総合的な英語力向上の次のステップとして、英語III・英語IVを始め他の英語共通科目の積極的な受講を勧める。また、学習内容への習熟を確認する意味でも、各種の英語資格試験には進んで取り組んで欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真喜志 満 [社文・人福]	1年	ptt040@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>普通教室では、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、さらに日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで記憶の確認を行う。CALL教室でもさらに、既存の教材「Viva! San Francisco」と洋楽にITを導入・活用して、4技能を総合的に高めるよう演習する。</p>	<p>英語Ⅰに比べて、全体的に文章が少し長くなる。やり方は前期同様。Learning Management System (LMS)にアクセスして予習・復習を行う。欠席したり教材プリントを紛失したりした場合も、そこから自分でプリントアウトしてテストなどに備える。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・英検2級程度までの英語力を身につけることができる。 ・海外のホームステイなど、いろいろな場面で困らない英語表現が身につく。 ・日本人の苦手な発音を克服する。 ・英語4技能(とくにヒアリング)がさらに向上する。 ・e-learning systemやITを活用した英語学習ができるようになる。 ・英語への苦手意識や抵抗が減り英語の勉強が楽しくなる 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	コースガイダンスⅠ_普通教室での講義について	シラバスをよく読むこと
	2	コースガイダンスⅡ_ CALL教室での講義について	CALLやLMSの活用
	3	つぶやきS1を演習。座席確認。ペア練習の心得。洋楽合唱。	LMSを使って学習する
	4	Viva Ch. 11 & 洋楽#01を演習。洋楽合唱。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	5	つぶやきS9を演習。S1を小テスト。	LMSを使って学習する
	6	Viva Ch. 12 & 洋楽#02を演習。洋楽#01を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	7	つぶやきS16を演習。S9を小テスト。	LMSを使って学習する
	8	Viva Ch. 13、洋楽#03を演習。洋楽#02を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	9	つぶやきS23を演習。S16を小テスト。	LMSを使って学習する
	10	Viva Ch. 14、洋楽#04を演習。洋楽#03を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	11	つぶやきS24を演習。S23を小テスト。	LMSを使って学習する
	12	Viva Ch. 15、洋楽#05を演習。洋楽#04を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	13	特別講義Ⅰ@普通教室 S24を小テスト。	LMSを使って学習する
	14	特別講義Ⅰ@CALL教室	Vivaの練習問題をLMSで解く
	15	追試セッションⅠ：前半つぶやきテスト5回分・・・S1, S9, S16, S23, S24	LMSを使って学習する
	16	追試セッションⅠ：前半洋楽テスト5回分・・・洋楽#01～#05	Vivaの練習問題をLMSで解く
	17	つぶやきS29を演習	LMSを使って学習する
	18	Viva Ch. 16、洋楽#06を演習。中間成績発表。洋楽合唱。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	19	つぶやきS32を演習。S29を小テスト。	LMSを使って学習する
	20	Viva Ch. 17、洋楽#07を演習。洋楽#06を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	21	つぶやきS37を演習。S32を小テスト。	LMSを使って学習する
	22	Viva Ch. 18、洋楽#08を演習。洋楽#07を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	23	つぶやきS43を演習。S37を小テスト。	LMSを使って学習する
	24	Viva Ch. 19、洋楽#09を演習。洋楽#08を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	25	特別講義Ⅱ@普通教室。S43を小テスト。採点済返却。成績集計・確認。	LMSを使って学習する
	26	Viva Ch. 20、洋楽#10を演習。洋楽#09を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	27	追試セッションⅡ：後半つぶやきテスト5回分・S26, S29, S32, S37, S43	LMSを使って学習する
	28	特別講義Ⅱ@CALL教室：実力テスト、授業評価アンケートの実施	Vivaの練習問題をLMSで解く
	29	特別講義Ⅲ：総合演習 + 洋楽合唱 + 最終成績発表	LMSを使って学習する
30	追試セッションⅡ：後半洋楽テスト5回分・・・洋楽#06～#09	Vivaの練習問題をLMSで解く	
31	特別講義Ⅲ：総合演習 + 追試調整 + 最終成績調整 / 補講	LMSを使って学習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>毎回教材プリントを配布する。さらにそれらの教材すべてをLearning Management System (LMS)にアップロードする。英和・和英・英英辞典、あるいは電子辞書、英文法書、インターネット上の文献・ホームページなど。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>e-learning教材を学習する際には、必ず“microsoft internet explorer”からLMSに入ること。間違ってほかのブラウザから入って学習すると、成績記録が残らないので注意する。“Viva Sanfrancisco”は、各章2部ごとに分かれているが、後半の“Face The Camera”の練習問題も解くこと。間違った場合は何度もチャレンジし、各設問で満点が取れるまで問題を解くこと。なお、欠席する場合は所定の欠席届けを事前に、無理な場合は後日できるだけ早い時期に提出すること。</p>
	<p>評価</p> <p>出席10%、小テスト(つぶやき英語)25%、小テスト(洋楽)35%、宿題(Viva SFの自主学习)20%、実力テスト10%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>このコースの履修後は、本学のカリキュラムに組まれた英語講読系やその他上級のコース「英語IV・VI・VIII」などを履修し、さらに発展させることを希望する。また扱った洋楽はラジオなどでよく流れる曲なので、曲が流れるたびに英語の復習が一生涯できる。是非その機会を生かし、またカラオケなどでくりかえし歌って曲の中の英語をすべて自分のものにして、一生涯楽しく英語を学んでほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [企業システム]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、家庭学習にはサブテキストを使用して、英語のリスニング・ヒアリング・リーディングの技能を向上させる。</p> <p>到達目標</p> <p>基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。</p>	<p>語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。 講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。 提出物は、指定がない限り、B5サイズのルーズリーフを使用すること。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 7~12)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	Sub text, Unit 7
	3	Unit 7	" "
	4	Chapter 11, Viva! San Francisco	" "
	5	Unit 7	" "
	6	Chapter 12, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 8
	7	Unit 7	" "
	8	Chapter 13, Viva! San Francisco	" "
	9	Unit 8	" "
	10	Chapter 14, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 9
	11	Unit 8	" "
	12	Chapter 15, Viva! San Francisco	" "
	13	Unit 9	" "
	14	Unit 9	Mid-term exam 準備
	15	Unit 9	" "
	16	Mid-term Examination	
	17	Unit 10	Sub text, Unit 10
	18	Chapter 16, Viva! San Francisco	" "
	19	Unit 10	" "
	20	Chapter 17, Viva! San Francisco	" "
	21	Unit 10	Sub text, Unit 11
	22	Chapter 18, Viva! San Francisco	" "
	23	Unit 11	" "
	24	Chapter 19, Viva! San Francisco	" "
	25	Unit 11	Sub text, Unit 12
	26	Chapter 20, Viva! San Francisco	" "
	27	Unit 12	" "
	28	Unit 12	" "
	29	Unit 12	Final exam 準備
30	Review Unit 10-12 and Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 下記テキストとサブテキストは、前期英語 I に使用したものと同一。</p> <p>サブテキスト： It's time to Read! (Unit 7~12) 出版社：南雲堂 ¥1,300 + 税</p>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。それ以降の遅刻は、欠席とみなす。 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。
	<p>評価</p> <p>中間テスト：20% 期末テスト：20% クイズ：30% 提出物：10% 出席：10% 講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語 III, 英語 IV「上位科目」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ジヨン ターバート [英米]	1年	ptt500@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい The purpose of this class is to help students develop conversational skills while working on improving their reading and writing skills.	メッセージ As a native speaker of English, I will teach you English as it is used in real life. This class will give you many chances to speak English.
	到達目標 <ul style="list-style-type: none"> You will be able to have basic English conversations more smoothly and naturally. You will be able to write basic English sentences more accurately and clearly. You will be able to give a short presentation in English. 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Summer vacation activity	Buy file
	2	Unit 8 (Review)	Study for quiz
	3	Correct common mistakes	Finish correcting mistakes
	4	Unit 9 (Time)	Review time
	5	Unit 9 (Time)	Study for quiz
	6	Unit 10 (Numbers)	Review numbers
	7	Unit 10 (Numbers)	Study for quiz
	8	Unit 10 (Numbers)	Population questions
	9	Numbers	Study for quiz
	10	Unit 11 (Comparative)	Unit 11 vocabulary
	11	Unit 11 (Comparative)	Study for quiz
	12	Unit 11 (Comparative)	Comparative handout
	13	Unit 12 (Superlative)	Wh-questions
	14	How often	Prepare for interview
	15	How often	Write sentences
	16	Unit 13 (Present perfect)	Study for quiz
	17	Unit 13 (Present perfect)	Study for quiz
	18	Unit 14 (Future)	Prepare for interview
	19	Unit 14 (Future)	Future tense handout
	20	Unit 14 (Future)	Preview eating out
	21	Eating out	Think of resolutions
	22	New Year's resolutions	Resolutions handout
	23	Christmas/New Year	Write sentences
	24	Winter vacation activity	Choose topic
	25	Work on speech/interview	Prepare for speech
	26	Work on speech/interview	Prepare for speech/interview
	27	Review	Prepare for speech
	28	Speech	Prepare for interview
	29	Interview test	Review
30	Final exam	Review	
31	Interview test		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as handouts. Students should bring dictionaries (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> • More than 30 minutes late to class= 1 absence • Being late twice= 1 absence • Less than 66% attendance= 不可 • Homework must be done on time. Late homework=0 • Students should use English in class as much as possible. • Syllabus is subject to change.
	<p>評価</p> <p>Final exam/listening test/quizzes (50%) Interview test (20%) Homework (10%) Attendance/participation (10%) Presentation (10%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Students should continue working to improve their communication skills in classes such as Oral Communication III.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	前澤 大樹 [地域環境]	1年	h.maezawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅱに引き続き、特にリスニングとスピーキングに焦点を合わせ、大学での英語学習の基礎となる口頭運用能力を養う。CALL教室の回では、実践的な状況で活かせる口語表現を学び、反復的な練習機会もできるだけ確保する。普通教室では聴き取りに加え、より能動的な会話練習を行う。また、全員に授業期間のどこかで1分程度の発表を実施して貰う。	既習の知識・技能を固めつつ、それを次のレベルへと発展させることは、今後より高度な英語力を身に付けていく上で重要な土台となります。大学での英語学習の第一歩として、是非積極的に取り組んでください。
到達目標	1. 授業に取り組む中で、高校までに学習した英語の知識・技能を再確認し、確実に定着させる。 2. それらを発展させた知識・技能をリスニング・スピーキングの実践に於いて活用することができる。 3. 英語での口頭の遣り取りによって、他者から情報を得るとともに、自身に関することを相手に伝えることができる。 *下記の進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施内容を含め予定を変更する場合があります。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業概要と学習の進め方	WL1 Unit 7-Aの活動準備
	2	World Link 1 (WL1) Unit 7-A	VSF Chapter 11の活動準備
	3	Viva! San Francisco (VSF) Chapter 11	WL1 Unit 7-Bの活動準備
	4	WL1 Unit 7-B、関連活動	VSF Chapter 12の活動準備
	5	VSF Chapter 12、その他CALL教材	WL1 Unit 8-Aの活動準備
	6	WL1 Unit 8-A、関連活動	VSF Chapter 13の活動準備
	7	VSF Chapter 13、その他CALL教材	WL1 Unit 8-Bの活動準備
	8	WL1 Unit 8-B、関連活動	VSF Chapter 14の活動準備
	9	VSF Chapter 14、その他CALL教材	WL1 Unit 9-Aの活動準備
	10	WL1 Unit 9-A、関連活動	VSF Chapter 15の活動準備
	11	VSF Chapter 15、その他CALL教材	WL1 Unit 9-Bの活動準備
	12	WL1 Unit 9-B、関連活動	VSF Chapters 11-15の復習
	13	発展的・応用的活動	WL1 Units 7-9、Reviewの復習
	14	WL1 Review: Units 7-9、その他	VSF Chapters 11-15の復習
	15	発展的・応用的活動	WL1 Units 7-9の復習
	16	WL1関連活動	VSF Chapter 16の活動準備
	17	VSF Chapter 16、その他CALL教材	WL1 Unit 10-Aの活動準備
	18	WL1 Unit 10-A、関連活動	VSF Chapter 17の活動準備
	19	VSF Chapter 17、その他CALL教材	WL1 Unit 10-Bの活動準備
	20	WL1 Unit 10-B、関連活動	VSF Chapter 18の活動準備
	21	VSF Chapter 18、その他CALL教材	WL1 Unit 11-Aの活動準備
	22	WL1 Unit 11-A、関連活動	VSF Chapter 19の活動準備
	23	VSF Chapter 19、その他CALL教材	WL1 Unit 11-Bの活動準備
	24	WL1 Unit 11-B、関連活動	VSF Chapter 20の活動準備
	25	VSF Chapter 20、その他CALL教材	WL1 Unit 12-Aの活動準備
	26	WL1 Unit 12-A、関連活動	VSF Chapters 16-20の復習
	27	発展的・応用的活動	WL1 Unit 12-Bの活動準備
	28	WL1 Unit 12-B、関連活動	予告に従った活動準備
	29	発展的・応用的活動	WL1 Units 10-12の復習
30	WL1 Review: Units 10-12、その他	総復習と試験準備	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Ohyagi, Hiroto and Timothy Kiggell (1998) Viva! San Francisco, MacMillan. (購入不要) 2. Stempleski, Susan et al. (2011) World Link 1: Developing English Fluency, 2nd Edition, Cengage Learning.
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 辞書は毎回必ず持参すること。語彙力は、聴く・話す技能の向上にも不可欠である。 2. リスニング・スピーキング力の向上には多分に身体的・感覚的な慣れが必要であり、どれだけ聴いた・どれだけ話したかということは重要である。従って、できるだけ欠席しないだけでなく、授業での諸活動に努めて積極的・能動的に取り組むよう求めたい。 3. 参加姿勢に甚だしく問題がある場合は、欠席と見なしたり、退室を求めることもあり得る。 <p>*授業ではMoodleを用いた活動も行うため、未登録者については初回授業時にコースへの登録を行う。</p>
	<p>評価</p> <p>(1) 期末試験: 30%、(2) 授業内の活動(発表含む): 35%、(3) 提出物・課題: 20%、(4) LMS・Moodleでの解答: 15% の配分で得点を計算し、評価を決定する。但し、活動状況等に特筆すべき点(良い面・悪い面とも)がある場合は、±10%を上限として加点・減点を行う。また、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>総合的な英語力向上の次のステップとして、英語III・英語IVを始め他の英語共通科目の積極的な受講を勧める。また、学習内容への習熟を確認する意味でも、各種の英語資格試験には進んで取り組んで欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [法律・地行]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 英語Ⅰに引き続き、基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12	役立つ表現(12)の暗唱
	4	英語の基礎力養成 14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ表現(13)の暗唱
	6	英語の基礎力養成 15	語彙力アップ(1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ表現(14)の暗唱
	8	英語の基礎力養成 16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ表現(15)の暗唱
	10	英語の基礎力養成 17	語彙力アップ(2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ表現(16)の暗唱
	12	英語の基礎力養成 18	English Ace Unit 11の復習
	13	Viva! San Francisco Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の復習
	14	英語の基礎力養成 19	語彙力アップ(3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ表現(17)の暗唱
	16	英語の基礎力養成 14～19(中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ表現(18)の暗唱
	18	英語の基礎力養成 20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ表現(19)の暗唱
	20	英語の基礎力養成 21	English Ace Unit139の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ表現(20)の暗唱
	22	英語の基礎力養成 22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現(1)	役立つ表現(21)の暗唱
	24	英語の基礎力養成 23	English Ace Unit 15の復習
	25	映画を通して学ぶ表現(2)	役立つ表現(22)の暗唱
	26	英語の基礎力養成 24	English Ace Unit 15の復習
	27	インタビューテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成 25	同上
	29	インタビューテスト	同上
30	英語の基礎力養成 20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成 20～25(期末点検)	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材e-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出席状況や授業態度、②インタビューテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美[社文・人福・日文(2年以上)]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	リスニング力とスピーキング力の向上を目指し、英語Iで学んだ内容のレベルアップを図り“音”、“音読”を多用し「使える」英語を身につける。英語IIでは、さらに語彙力を養い読解力もつける。ペアやグループワークを通して英語を音読する、話す、使ってみる機会を増やし、ショートプレゼンテーションができるようになる。	英語I同様、授業を大いに活用し、クラスメートと英語を多用する機会を大切にしてください。耳と口を使って英語を訓練する場を増やし、さらなる英語能力のレベルアップを図りましょう。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> 1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。 2. 自分の事を英語で伝えることができる。 3. 身近なことや自分の興味関心のあることを基本的な英語で表現できる。 4. ペアやグループワークで仲間と協力して作業ができる。 5. テーマを決め短めのプレゼンテーションができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	第1週：オリエンテーション	授業内容、進度、約束事等の確認
	2	第2～7週：	
	3	月曜日：リスニングスキルアップのための活動を取り入れたり	前もって配布した教材や教科書の
	4	教科書に従い語彙、基本的事項の養成を行い基礎英語力の	予習を行う
	5	定着を図る	
	6	木曜日：教科書のアクティビティーを中心に作業を行い	教科書の該当ユニットの予習を行い
	7	リーディングやスピーキング課題に取り組む	提出の準備を行う
	8	第8週：中間考査の実施と返却	中間考査に向け復習を行う
	9	第9～15週：第2～7週と同じように、月曜日はリスニング、語彙、基本的	
	10	事項の学習を行い、木曜日はスピーチに向けリーディング	
	11	スピーキング課題に取り組む	
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定教科書あり、授業で連絡します。 2. 適宜配布教材ありますので、ファイルを準備すること
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 遅刻、欠席はしないこと（細かい約束事はオリエンテーションでお知らせします）。 ② 授業には必ず辞書（電子辞書でも良い）を準備すること。 ③ 課題等は期限を守って提出すること。 ④ 授業には前向きな積極的態で臨むこと。 ⑤ ペア、グループワークは協力して行うこと。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間、期末考査（50%） ・ 確認クイズ等（20%） ・ スピーチ発表（20%） ・ 提出物、平常点等（10%）
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで学んだ基礎をもとに、英語検定試験やTOEICなどの資格試験に積極的に挑戦し、自発的に学べる姿勢を身につけ、将来は英語でも自分のやりたい事ができる環境を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [経済]	1年	myamakawa@oiku.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動の育成に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 英語Ⅰに引き続き、基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱのオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12他	役立つ表現 (12) の暗唱
	4	英語の基礎力養成 14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ表現 (13) の暗唱
	6	英語の基礎力養成 15	語彙力アップ (1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ表現 (14) の暗唱
	8	英語の基礎力養成 16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ表現 (15)の暗唱
	10	英語の基礎力養成 17	語彙力アップ (2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ表現 (16) の暗唱
	12	英語の基礎力養成 18	English Ace Unit 10の復習
	13	Viva! Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の総復習
	14	英語の基礎力養成 19	語彙力アップ (3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ表現 (17) の暗唱
	16	英語の基礎力養成 14～19 (中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ表現 (18) の暗唱
	18	英語の基礎力養成 20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ表現 (19) の暗唱
	20	英語の基礎力養成 21	English Ace Unit 13の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ表現 (20) の暗唱
	22	英語の基礎力養成 22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現 (1)	役立つ表現 (21) の暗唱
	24	英語の基礎力養成 23	English Ace Unit 14の復習
	25	映画を通して学ぶ表現 (2)	役立つ表現 (22) の暗唱
	26	英語の基礎力養成 24	English Ace Unit 15の復習
	27	インタビューテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成 25	同上
	29	インタビューテスト	同上
30	英語の基礎力養成 20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成 20～25 (期末点検)	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合には、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出席状況や授業態度、②インタビューテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 博 [産業情報]	1年	メールアドレス: nagamine@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい このクラスを受講する事により得た情報・知識が、英語での意思の疎通を図る場面で生かされる様にする。	メッセージ 使用テキスト1冊・CALL教室コンピュータ内教材・その他のプリント教材等を使用し、学期を通して一定のパターンでクラスを進行するので、受講学生も対応が容易になるのでは。
-------	---	--

到達目標	(1)英語独特の音の繋がりに伴う発音の変化が認識出来る。(2)英語発音の変化を自らも発音出来る。(3)英語で話されたり書かれた内容がより理解出来る。(4)英作文能力を向上させる。(5)英語コミュニケーション能力全般を向上させる。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス概要説明等	
	2	Discovering Japan : Lesson 10	テキストの該当箇所を予習
	3	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 6	CALL教室で該当箇所を予習
	4	プリント教材 No. 7	CALL教室で事前リスニング
	5	Discovering Japan : Lesson 11	テキストの該当箇所を予習
	6	Quiz 1	試験に備え全教材の復習
	7	Discovering Japan : Lesson 12	テキストの該当箇所を予習
	8	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 7	CALL教室で該当箇所を予習
	9	プリント教材 No. 8	CALL教室で事前リスニング
	10	Discovering Japan : Lesson 13	テキストの該当箇所を予習
	11	Quiz 2	試験に備え全教材の復習
	12	Discovering Japan : Lesson 14	テキストの該当箇所を予習
	13	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 8	CALL教室で該当箇所を予習
	14	プリント教材 No. 9	CALL教室で事前リスニング
	15	Discovering Japan : Lesson 15	テキストの該当箇所を予習
	16	Quiz 3	試験に備え全教材の復習
	17	Discovering Japan : Lesson 16	テキストの該当箇所を予習
	18	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 9	CALL教室で該当箇所を予習
	19	プリント教材 No. 10	CALL教室で事前リスニング
	20	Discovering Japan : Lesson 17	テキストの該当箇所を予習
	21	Quiz 4	試験に備え全教材の復習
	22	ABCDJ	教材を当日配布
	23	Stand by Me	ビデオ教材を当日鑑賞
	24	Discovering Japan : Lesson 18	テキストの該当箇所を予習
	25	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 10	CALL教室で該当箇所を予習
	26	プリント教材 No. 11	CALL教室で事前リスニング
	27	プリント教材 No. 12	CALL教室で事前リスニング
	28	Quiz 5	試験に備え全教材の復習
29	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備	
30	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備	
31	課題提出・追試等		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH「観光英語で日本発見」（英宝社）</p>
学びの実践	<p>学びの手立て 毎回出席確認を行うので、欠席する場合は事前或いは事後に欠席届を提出すること。 毎学期遅刻する受講生が見受けられるが、遅刻3回で欠席1回と計算するので注意すること。 毎回講義の中で多くの受講生を指名し、ロールプレイでの発音練習、講義内容理解度確認の質問、短い英語センテンスの作文等のクラス活動を行って貰うが、積極的に参加すること。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況/クラス活動参加度 10% 到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価 ・筆記テスト 75% 到達目標(1)(3)(4)(5)を評価 ・会話テスト 15% 到達目標(1)(2)(3)(5)を評価
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語学習継続を考える受講生は、クラスへの出席・宿題・テスト・単位取得等を心配すること無く、自己流・自分のペース及び自分の好きな手段、特にインターネット等を利用して英語を学び続けることが出来るのでは。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [社文・人福]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動の育成に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 英語Ⅰに引き続き、基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12	役立つ英語表現 (12) の暗唱
	4	英語の基礎力養成 14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ英語表現 (13) の暗唱
	6	英語の基礎力養成 15	語彙力アップ (1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ英語表現 (14) の暗唱
	8	英語の基礎力養成 16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ英語表現 (15) の暗唱
	10	英語の基礎力養成 17	語彙力アップ (2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ英語表現 (16) の暗唱
	12	英語の基礎力養成 18	English Ace Unit 11の復習
	13	Viva! Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の復習
	14	英語の基礎力養成 19	語彙力アップ (3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ英語表現 (17) の暗唱
	16	英語の基礎力養成 14～19 (中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ英語表現 (18) の暗唱
	18	英語の基礎力養成 20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ英語表現 (19) の暗唱
	20	英語の基礎力養成 21	English Ace Unit 13の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ英語表現 (20) の暗唱
	22	英語の基礎力養成 22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現 (1)	役立つ英語表現 (21) の暗唱
	24	英語の基礎力養成 23	English Ace Unit 14の復習
	25	映画を通して学ぶ表現 (2)	役立つ英語表現 (22) の暗唱
	26	英語の基礎力養成 24	English Ace Unit 15の復習
	27	インタビューテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成 25	同上
	29	インタビューテスト	同上
30	英語の基礎 20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成 20～25 (期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①出席状況や授業態度、②インタビューテスト、③中間・期末テスト、④提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 博 [日文]	1年	メールアドレス: nagamine@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい このクラスを受講する事により得た情報・知識が、英語での意思の疎通を図る場面で生かされる様にする。	メッセージ 使用テキスト1冊・CALL教室コンピュータ内教材・その他のプリント教材等を使用し、学期を通して一定のパターンでクラスを進行するので、受講学生も対応が容易になるのでは。
	到達目標 (1)英語独特の音の繋がりに伴う発音の変化が認識出来る。(2)英語発音の変化を自らも発音出来る。(3)英語で話されたり書かれた内容がより理解出来る。(4)英作文能力を向上させる。(5)英語コミュニケーション能力全般を向上させる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス概要説明等	
	2	Discovering Japan : Lesson 10	テキストの該当箇所を予習
	3	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 6	CALL教室で該当箇所を予習
	4	プリント教材 No. 7	CALL教室で事前リスニング
	5	Discovering Japan : Lesson 11	テキストの該当箇所を予習
	6	Quiz 1	試験に備え全教材の復習
	7	Discovering Japan : Lesson 12	テキストの該当箇所を予習
	8	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 7	CALL教室で該当箇所を予習
	9	プリント教材 No. 8	CALL教室で事前リスニング
	10	Discovering Japan : Lesson 13	テキストの該当箇所を予習
	11	Quiz 2	試験に備え全教材の復習
	12	Discovering Japan : Lesson 14	テキストの該当箇所を予習
	13	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 8	CALL教室で該当箇所を予習
	14	プリント教材 No. 9	CALL教室で事前リスニング
	15	Discovering Japan : Lesson 15	テキストの該当箇所を予習
	16	Quiz 3	試験に備え全教材の復習
	17	Discovering Japan : Lesson 16	テキストの該当箇所を予習
	18	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 9	CALL教室で該当箇所を予習
	19	プリント教材 No. 10	CALL教室で事前リスニング
	20	Discovering Japan : Lesson 17	テキストの該当箇所を予習
	21	Quiz 4	試験に備え全教材の復習
	22	ABCDJ	教材を当日配布
	23	Stand by Me	ビデオ教材を当日鑑賞
	24	Discovering Japan : Lesson 18	テキストの該当箇所を予習
	25	Viva! San Francisco (CALL教室コンピュータ内教材) No. 10	CALL教室で該当箇所を予習
	26	プリント教材 No. 11	CALL教室で事前リスニング
	27	プリント教材 No. 12	CALL教室で事前リスニング
	28	Quiz 5	試験に備え全教材の復習
29	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備	
30	会話テスト(クラス 1/2)	事前配布資料で試験準備	
31	課題提出・追試等		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH「観光英語で日本発見」（英宝社）</p>								
	<p>学びの手立て 毎回出席確認を行うので、欠席する場合は事前或いは事後に欠席届を提出すること。 毎学期遅刻する受講生が見受けられるが、遅刻3回で欠席1回と計算するので注意すること。 毎回講義の中で多くの受講生を指名し、ロールプレイでの発音練習、講義内容理解度確認の質問、短い英語セン テンスの作文等のクラス活動を行って貰うが、積極的に参加すること。</p>								
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>・出席状況/クラス活動参加度</td> <td>10%</td> <td>到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価</td> </tr> <tr> <td>・筆記テスト</td> <td>75%</td> <td>到達目標(1)(3)(4)(5)を評価</td> </tr> <tr> <td>・会話テスト</td> <td>15%</td> <td>到達目標(1)(2)(3)(5)を評価</td> </tr> </table>	・出席状況/クラス活動参加度	10%	到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価	・筆記テスト	75%	到達目標(1)(3)(4)(5)を評価	・会話テスト	15%
・出席状況/クラス活動参加度	10%	到達目標(1)(2)(3)(4)(5)を評価							
・筆記テスト	75%	到達目標(1)(3)(4)(5)を評価							
・会話テスト	15%	到達目標(1)(2)(3)(5)を評価							
学 び の 継 続	次のステージ・関連科目								

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子 [社文・人福]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展を前提に、大学レベルの英語力の養成と基本的な発信型コミュニケーション力の習得を目指す。週一回のラボ室では、全学教材のViva!SanFranciscoのCh11-20をCALLソフトを用いて学習し、他のメディア教材との併用で、多種多様な英語のインプットをはかる。また普通教室では、英語Ⅰで用いた教材を引き続き用いて基礎英語力を向上させて、それを生かして、英語で自ら表現し伝えて	メッセージ 英語Ⅱ学習を通して、言葉と考える力を一緒に磨いていきましょう！
	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	
	2	英語Ⅰ履修内容の総復習、他	
	3	ラボ室学習Viva!1回目 他	
	4	英語基礎力養成12 他	
	5	ラボ室学習Viva!2回目 他	
	6	英語基礎力養成13 他	
	7	ラボ室学習Viva!3回目 他	
	8	英語基礎力養成14 他	
	9	ラボ室学習Viva!4回目 他	
	10	英語基礎力養成15 他	
	11	ラボ室学習Viva!5回目 他	
	12	英語基礎力養成16 他	
	13	Viva! 中間点検 他	
	14	英語基礎力養成17 他	
	15	ラボ室学習Viva!6回目 他	
	16	英語基礎力養成12-17点検 (テストを含む)	
	17	ラボ室学習Viva!7回目 他	
	18	英語基礎力養成18 他	
	19	ラボ室学習Viva!8回目 他	
	20	英語基礎力養成19 他	
	21	ラボ室学習Viva!9回目 他	
	22	英語基礎力養成20 他	
	23	ラボ室学習Viva!10回目 他	
	24	英語基礎力養成21 他	
	25	Viva!期末点検 (テストを含む)	
	26	英語基礎力養成22 他	
	27	スピーキングテスト準備	
	28	英語基礎力養成18-22点検 (テストを含む)	
	29	スピーキングテスト関連	
30	スピーキングテスト関連		
31	スピーキングテスト関連		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>1. Viva! San Francisco大八木廣人他マカミランゲージハウス(購入必要なし) 2. 英語 I で用いた教科書 3. 講師作成配布のStudy Guide</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>英語 II は講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください</p>
	<p>評価</p> <p>授業への参加、試験、Speech, 発表, 出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次へのステップは英語 III と④です。そして、英語を現実社会で使うことです。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	野口 正樹 [英米]	1年	noguchi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は, warm-up 終了後, 課題である暗唱例文の practice を pair で行います。続いて, quick response に移ります。それから, 語法・文法に関する質疑応答を英語または日本語で実践します。後半は, group に分かれ, 暗唱英文に基づいた skit 作成に取り組みます。homework assignment の活用を奨励します。その後 group 毎に英語による acting out を行います。	メッセージ 自分の英語を駆使して, 表現する楽しさを味わおう。
	到達目標 sentence-level の英文を即座に reproduce できる。 日常生活に関わる事柄を discourse-level で表現できる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画 (テーマ・時間外学習の内容含む)
	テキスト・参考文献・資料など 別途連絡します。 別途連絡します。
	学びの手立て 複数の辞書を活用して答えを導きだそう。 English-English dictionary を役立てる。
	評価 ① 授業出席度 (原則皆勤) ② quick response / debate ③ 英語の理解と運用 ④ 質疑応答 ⑤ 課題テストおよび中間・期末試験 ⑥ 受講姿勢

学びの継続	次のステージ・関連科目 Oral Communication II と関連づける。 English III につなげる。
-------	--

※ポリシーとの関連性

英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。
また、BBCの映像教材を使用して世界各地の地域事情を学ぶ。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [産業情報]	1年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、英語学習の基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。3分間スピーチではパブリックスピーチの基礎を習得する。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。4. 大勢の人の前で英語で自己表現できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	リハスをきちんと確認する
	2	BBC WPD : Unit 10 Bali's Temples	単語予習 10課
	3	BBC WPD : Unit 10 Bali's Temples	10課の復習・単語テスト準備
	4	Special Program:Film	関連事項のリサーチ
	5	Special Program:Film	コメントのまとめ
	6	Test: Unit 10, Comments on the Film	10課テストの準備
	7	BBC WPD : Unit 11 Car Recycling	単語予習 11課
	8	BBC WPD : Unit 11 Car Recycling	11課の復習・単語テスト準備
	9	BBC WPD : Unit 12 Hi-Tech Farming	単語予習 12課
	10	BBC WPD : Unit 12 Hi-Tech Farming	12課の復習・単語テスト準備
	11	Special Program: Film	関連事項のリサーチ
	12	Special Program: Film	コメントのまとめ
	13	Test: Unit 11, 12 Comments on the Film	11, 12課テストの準備
	14	BBC WPD : Unit 13 Honolulu	単語予習 13課
	15	BBC WPD : Unit 13 Honolulu	13課の復習・単語テストの準備
	16	Special Program: Film	関連事項のリサーチ
	17	Special Program: Film	コメントのまとめ
	18	Test: Unit 13, Comments on the Film	13課テストの準備
	19	BBC WPD : Unit 14 Life on Volcanoes	単語予習 14課
	20	BBC WPD : Unit 14 Life on Volcanoes	14課の復習・単語テストの準備
	21	Special Program: Film	関連事項のリサーチ
	22	Special Program: Film	コメントのまとめ
	23	Test: Unit 14	14課テストの準備
	24	Group Presentation	プレゼンテーションの準備
	25	Group Presentation	プレゼンテーションの準備
	26	Group Presentation	プレゼンテーションの準備
	27	Memorization	会話暗記の練習
	28	Memorization	会話暗記の練習
29	Memorization	会話暗記の練習	
30	General Review	総復習	
31	Conclusion	総復習	

	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書：「BBC World Profile on DVD」 (南雲堂) 2014年 2500円</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て 語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。単語テストが各課毎にあるので、毎回準備をすること。特別課題の映画に関しては、映画評と関連事項のリサーチ、コメントを必須とする。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価 Tests: 50% Vocabulary Quiz: 20% Group Presentation: 10% Comments on the Films: 20%</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目 英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

※ポリシーとの関連性 need to prepare for upper-level course work , and for participation in the increasingly globalized work places

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ダグラス トライスタット [法律・地行]	2年	https://bee.okiu.ac.jp/mod/page/view.php?id=7062	

学びの準備	ねらい This is a comprehensive four-skills course with emphasis on autonomous learning. Students are encouraged to acquire not only a knowledge of English, but also communication skills and strategies for sustainable autonomous learning.	メッセージ This class focuses on the acquisition of practical, personal, sustainable strategies for language learning suited to a variety of learning styles. In this class, you can assemble a set of learning strategies for your short-term and long-term foreign language learning goals.
	到達目標 1. Build a solid foundation of basic English, with focus on listening and speaking. 2. Clarify short- and medium-term goals and strategies for English learning. 3. Develop the confidence to communicate actively. 4. Prepare for participation in the globalized economy.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画 (テーマ・時間外学習の内容含む) 1/2 eLearning Registration, orientation, Discussion: Practical learning strategies 3/4 Review portfolio, Dream in English warm up Practice greetings. 5 Re-evaluate extensive reading methods Read one book. 6 Dream in English Unit 4, Part 1 Review the text 7 Viva! San Francisco Ch. 11, Homestay Unit 1 Review the text 8 Dream in English Unit 4, Part 2 Online assignment 9 Viva! San Francisco Ch. 12, Homestay Unit 2 Review the text 10 Dream in English Unit 4, Part 3 Online assignment 11 Viva! San Francisco Ch. 13, Homestay Unit 3 Review the text 12 Dream in English Unit 14, Part 4 Online assignment 13 Viva! San Francisco Ch. 4, Homestay Unit 4 Review the text 14 Dream in English Unit 15, Part 1 Online assignment 15 Viva! San Francisco Ch. 15, Homestay Unit 5 Review the text 16 Dream in English Unit 5, Part 2 Online assignment 17/18 Mid-term assessment 19 Viva! San Francisco Ch. 16, Homestay Unit 6 Review the text 20 Dream in English Unit 5, Part 3 Online assignment 21 Viva! San Francisco Ch. 17, Homestay Unit 7 Review the text 22 Dream in English Unit 5, Part 4 Online assignment 23 Viva! San Francisco Ch. 18, Homestay Unit 8 Review the text 24 Dream in English Unit 6, Part 1 Online assignment 25 Viva! San Francisco Ch. 19, Homestay Unit 9 Review the text 26 Dream in English Unit 6, Part 2 Online assignment 27 Viva! San Francisco Ch. 20, Homestay Unit 10 Review the text 28 Dream in English Unit 6, Part 3 Prepare presentation 29/30/31Final assessment
	テキスト・参考文献・資料など 必須 1. XReading subscription 2. Dream in English (オンライン教科書) 3. Viva! San Francisco (オンライン教材) 4. Homestay Adventures (オンライン教材) 5. 英和・和英辞典
	学びの手立て Students are expected to be prepared for each class. Active collaboration during group work and pair work is essential for a good grade. Enthusiastic class participation is highly evaluated. Utilization of the eLearning system and active engagement with classmates online is also part of the final evaluation.
	評価 Attendance 5%, Class participation 25%, Quizzes 10%, Presentation 20%, Mid-term 20%, Final exam 20%

学びの継続	次のステージ・関連科目 英語Ⅲ, 英語Ⅳ, 外国語資料購読演習。英語合宿、英検・TOEICに挑戦する, 留学。
-------	--

※ポリシーとの関連性 英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。
また、サブテキストを用いて法律に関連のある用語をまなぶ。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [法律・地行]	1年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい 英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、サバイングリッシュの基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。グループ・プレゼンテーションでは英語でのプレゼンを経験し、慣れる。	メッセージ 授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。
	到達目標 1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 法律関連の基礎的な用語を英語で認知できる。3. 英語を用いて情報収集することに慣れる。4. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	リハスをきちんと確認する
	2	Funny Laws:Chapter 7	予習テストの準備 7課
	3	Viva! SF:Chapter 11	11課の復習
	4	Funny Laws:Chapter 7	ディスカッションの準備
	5	Viva! SF:Chapter 12	12課の復習
	6	Funny Laws:Chapter 8	予習テストの準備 8課
	7	Viva! SF:Chapter 13	13課の復習
	8	Funny Laws:Chapter 8	ディスカッションの準備
	9	Viva! SF:Chapter 14	14課の復習
	10	Funny Laws:Chapter 9	予習テストの準備 9課
	11	Viva! SF:Chapter 15	15課の復習
	12	Funny Laws:Chapter 9	ディスカッションの準備
	13	Viva! SF:Review Chapter 11-15	11-15課の復習
	14	Mid-term Examination: Viva SF Chapter 11-15	中間試験の準備
	15	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	16	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	17	Funny Laws:Chapter 10	予習テストの準備 10
	18	Viva! SF:Chapter 16	16課の復習
	19	Funny Laws:Chapter 10	ディスカッションの準備
	20	Viva! SF:Chapter 17	17課の復習
	21	Funny Laws:Chapter 11	予習テストの準備 11
	22	Viva! SF:Chapter 18	18課の復習
	23	Funny Laws:Chapter 11	ディスカッションの準備
	24	Viva! SF:Chapter 19	19課の復習
	25	Funny Laws:Chapter 12	予習テストの準備 12
	26	Viva! SF:Chapter 19	19課の復習
	27	Funny Laws:Chapter 12	ディスカッションの準備
	28	Viva! SF:Chapter 20	20課の復習
	29	Funny Laws:Review	7-12課の重要事項確認
30	Viva!SF:Review	11-16課のまとめ	
31	Final Examination:Viva!Chapter 6-10	期末試験の準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>副教材用教科書：Funny Laws in the World（南雲堂）2015 1700円 主教材のViva! San Franciscoについては、教科書の購入は必要ない。LMSなどを通じての自宅での予習・復習が可能なので、活用してください。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。Funny Lawsの予習テストは各チャプター毎に行うので、準備をすること。Vivaについては学外からのアクセスも可能なので、毎回復習を欠かさないこと。授業の進行状況によっては、シラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価</p> <p>Mid-term and Final Examination: 25% × 2 = 50% Group Presentation: 20% Prep Quiz: 30%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュエヨール デビット [社文・人福]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations.	メッセージ Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English
	到達目標 Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"	
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr. Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュニオール デビッド [経済]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations.	メッセージ Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English
	到達目標 Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"	
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr. Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

※ポリシーとの関連性 読む・書く・聞く・話すの4技能のうち、主に「聞く」「話す」を中心に、簡単な日常会話で聞き手と話し手が双方向に理解できる。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・土1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美 [法律・地行]	1年	ptt016@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>日常的に話されている自然な英語をたくさん聞き、英語表現の特徴を掴み、ペアレッスン等を通して学習する。そして相手の英語を理解し、自分の言いたいことを的確に英語で表現できるようにする。「聞き」「話す」に重点を置くが、英語を発信するoutputの力を養うために、英語によるtwo minutes speechとwritingの課題を課す。教科書は前期の続編を使用。</p>	<p>このテキストは、日常会話のトピックが題材となっており、会話の練習にとってもよい。またlistening内容もバラエティーに富んでおり、生の英語に触れることができるよう構成されている。ペアレッスンのときは、恥ずかしがらずに真剣に取り組んでほしい。他の課題も同様で、提出日を守る。毎日少しずつ学習することが、英語能力を高める秘訣である。</p>
到達目標	<p>① Listeningの内容が理解できる。 ② 英語で2分間スピーチすることができる (two minutes speech)。 ③ 言いたいことを英語で正しく書くことができる (two writing assignments)。 ④ 教科書で学ぶ文法や単語を習得する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをよく読むこと
	2	Long time no see	U. 1 (pp. 7-11)
	3	My place 1	U. 2 (pp. 15-16)
	4	My place 2	U. 2 (pp. 17-19)
	5	My place 3 listening quiz	U. 2 (p. 20)
	6	Money 1 two minutes speech starts	U. 3 (pp. 23-24)
	7	Money 2	p25-27 writing課題
	8	Money 3 listening quiz	U. 3 (p. 28)
	9	Going out 1	U. 4 (pp. 31-32)
	10	Going out 2	U. 4 (pp. 33-35)
	11	Going out 3 listening quiz	U. 4 (p. 36)
	12	Fashion 1	U. 5 (pp. 39-40)
	13	Fashion 2	U. 5 (pp. 41-43)
	14	Fashion 3 listening quiz	U. 5 (p. 44)
	15	Experience abroad 1	U. 7 (pp. 59-60)
	16	Experience abroad 2	p61-63 writing課題
	17	Experience abroad 3 listening quiz	U. 7 (p. 64)
	18	Health 1	U. 8 (pp. 67-68)
	19	Health 2	U. 8 (pp. 69-71)
	20	Health 3 listening quiz	U. 8 (p. 72)
	21	Careers 1	U. 10 (pp. 83-84)
	22	Careers 2	U. 10 (pp. 85-87)
	23	Careers 3 listening quiz	U. 10 (p. 88)
	24	Personal entertainment 1	U. 11 (pp. 91-92)
	25	Personal entertainment 2	U. 11 (pp. 93-95)
	26	Personal entertainment 3 listening quiz	U. 11 (p. 96)
	27	Something special 1	U. 12 (pp. 99-100)
	28	Something special 2	U. 12 (pp. 101-103)
	29	Something special 3 listening quiz	U. 12 (p. 104)
30	Achievement test	総合的な復習	
31	Final Examination	Unit 1, 6, 9以外	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Nice Talking with You 2 (Cambridge University Press) 特になし</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p>
	<p>評価 出席（5点）、Listening Quiz（50点）、1分間スピーチ（25点）、Writing (essay)（20点）、期末試験（50点）--> 合計150点 80%以上は優、70~79%は良、60~69%は可、59%以下は不可。欠課が10回以上の場合も不可。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [経済]	1年	ptt899@okiu.ac.jp 又は、授業後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	「外国に行ってみたい」、「留学したい」、「英語を話したい」と思っている学生は多いようですが、「自分は英語が出来ない」と思っている学生も多いようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイディアを一度忘れて授業に参加して下さい。
到達目標	①短いニュースを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	
	2	スモールスピーチ	
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	スピーチの練習
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	9	スモールスピーチ	
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	16	スモールスピーチ	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①「履修の心構え」・出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後20分以内を遅刻とみなし、チャイム後20分以上は、どんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。・欠席した日の授業内容は、必ず次の授業までにクラスメイトに確認、又は担当教員にメールで確認し、「休んでいたから分からなかった」というような事がないようにして下さい。・授業中に携帯をいじる、コンピューター上で授業と無関係な事をしている等を見つけた場合、欠席扱いとします。</p> <p>②「学びを深めるために」・授業の最初に行うクイズの問題は、前回の授業の内容から出題します。しっかりと授業を聞いていれば、確実に点数が取れる内容になっています。・授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないようにして下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>出欠状況と授業態度・・・5％ 課題・・・20％ クイズ・・・25％ 中間テスト・・・25％（ショートスピーチ） 期末テスト・・・25％（パワーポイントを使用しての簡単なプレゼンテーション）</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 関連科目：英語II、英語III～IV (2) 次のステージ：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [企業システム]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。 ブローケンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 前期の英語Ⅰよりもレベルアップします。後期は例年前期に比べて、遅刻、欠席が多くなる傾向があります。 今年はそのジंकスを打破しましょう。
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	Unit7(1): Food & drink(可算、不可算名詞)	U7 Grammar Ref.
	3	DVD教材1: Travel(1)	DVD Vocabulary
	4	Unit7(2): Food & drink	U7 Digibook
	5	DVD1 : Travel(2)	DVD Vocabulary
	6	U9(1): Adventures (Present Perfect)	U9 Grammar Ref.
	7	DVD1 : Travel(3)	DVD Vocabulary
	8	U9(1): Adventures	U9 Digibook
	9	DVD2 : Music(1)	DVD Vocabulary
	10	U12(1): The modern world (Present Perfect)	U12 Grammar Ref.
	11	DVD2 : Music(2)	DVD Vocabulary
	12	U12(2): The modern world	U12 Digibook
	13	DVD2 : Music(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Clones(1)	DVD Vocabulary
	16	U10(1): Health (Advice & Suggestions)	U10 Grammar Ref.
	17	DVD3 : Clones(2)	DVD Vocabulary
	18	U10(2): Health	U10 Digibook
	19	DVD3 : Clones(3)	DVD Vocabulary
	20	U11(1): Comparisons (比較級/最上級)	U11 Grammar Ref.
	21	DVD3 : Clones(4)	DVD Vocabulary
	22	U11(2): Comparisons	U11 Digibook
	23	DVD4 : Animation(1)	DVD Vocabulary
	24	U6(1): Celebrations (going to / will)	U6 Grammar Ref.
	25	DVD4 : Animation(2)	DVD Vocabulary
	26	U6(2): Celebrations	U6 Digibook
	27	DVD4 : Animation(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
	29	DVD5 : Special English	DVD Vocabulary
30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習	
31	期末テスト	オフ日	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Breakthrough PLUS 2 (Macmillan LanguageHouse, 2012年) ¥2,500(税別)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。 (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語講読に興味のある方は「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」に進んでください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [社文・人福]	1年	ptt899@okiu.ac.jp 又は、授業後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	「外国に行ってみたい」、「留学したい」、「英語を話したい」と思っている学生は多いようですが、「自分は英語が出来ない」と思っている学生も多いようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイディアを一度忘れて授業に参加して下さい。
到達目標	①短いニュースを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	
	2	スモールスピーチ	
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	
	9	スモールスピーチ	
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチの練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	
	16	スモールスピーチ	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①「履修の心構え」・出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後20分以内を遅刻とみなし、チャイム後20分以上は、どんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。・欠席した日の授業内容は、必ず次の授業までにクラスメイトに確認、又は担当教員にメールで確認し、「休んでいたから分からなかった」というような事がないようにして下さい。・授業中に携帯をいじる、コンピューター上で授業と無関係な事を行っている等を見つけた場合、欠席扱いとします。</p> <p>②「学びを深めるために」・授業の最初に行うクイズの問題は、前回の授業の内容から出題します。しっかりと授業を聞いていれば、確実に点数が取れる内容になっています。・授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないようにして下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>出欠状況と授業態度・・・5％ 課題・・・20％ クイズ・・・25％ 中間テスト・・・25％（ショートスピーチ） 期末テスト・・・25％（パワーポイントを使用しての簡単なプレゼンテーション）</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 関連科目：英語II、英語III～IV (2) 次のステージ：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [日文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能をバランスよく伸ばし、観光ガイドに必要な知識を習得する。	メッセージ 前期の英語Ⅰよりもレベルアップします。日本文化について英語で学んでいきます。学園祭のパフォーマンスに没頭しすぎないように、勉学にも励んでください。
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	Lesson1: Tokyo Station	L1 Exercises
	3	DVD教材1: Travel(1)	DVD Vocabulary
	4	L2&3: Exploring Metropolitan... /Restaurant at...	L2&3 Exercises
	5	DVD1 : Travel(2)	DVD Vocabulary
	6	L4: Kakunodate:A Town of Samurai and...	L4 Exercises
	7	DVD1 : Travel(3)	DVD Vocabulary
	8	L5: Old Private Houses in Takayama	L5 Exercises
	9	DVD2 : Music(1)	DVD Vocabulary
	10	L6&7: Hatcho Miso in... /Toyota Automobile...	L6&7 Exercises
	11	DVD2 : Music(2)	DVD Vocabulary
	12	L8: Cormorant Fishing	L8 Exercises
	13	DVD2 : Music(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Clones(1)	DVD Vocabulary
	16	L9: UjiByodoin	L9 Exercises
	17	DVD3 : Clones(2)	DVD Vocabulary
	18	L10&11: Kyoto Studio... /International Phone...	L10&11 Exercises
	19	DVD3 : Clones(3)	DVD Vocabulary
	20	L12&13: Bakery Shops in... /White Heron Castle	L12&13 Exercises
	21	DVD3 : Clones(4)	DVD Vocabulary
	22	L14&15: Ritsurin Park /Charms of Miyazaki	L14&15 Exercises
	23	DVD4 : Animation(1)	DVD Vocabulary
	24	L16&17: At The Nichinan ... /Ishigaki Island	L16&17 Exercises
	25	DVD4 : Animation(2)	DVD Vocabulary
	26	L18: Departure	L18 Exercises
	27	DVD4 : Animation(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
	29	DVD5 : Special English	DVD Vocabulary
	30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習
31	期末テスト	オフ日	

学	テキスト・参考文献・資料など Discovering Japan through Tourism English [観光英語で日本発見!] (英宝社, 2010年) ¥1,890(税別)
び の 実 践	学びの手立て (1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。 (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。
	評価 中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)
学 び の 継 続	次のステージ・関連科目 英語講読に興味のある方は「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」に進んでください。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡久山 幸功 [法律・地行]	2年	Email: realrealgone123@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい 英語購読・英作文のテキストを使用し、基本的な英文法を学習・体得しながら、英語によるリーディングおよびライティングのレベルアップを図る。時事的なトピックを扱ったメディア英語の基礎になれるようにする。	メッセージ 多読的な学習方法で講義を進めていきます。受講生は根気強くテキストMeet the World を読んで授業に臨んでください。積極的に授業に参加することを心がけてください。
	到達目標 文法的に平易な英文（口語的な英文）の長文を読むことができるようになる。アメリカ英語の日常英会話的な表現を理解できるようになる。基礎的な英文法を使用して自分の気持ち・意見を平易な英作文で表現できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス・オリエンテーション	リーディングの課題
	2	Meet the World Chapter 1	ライティングとリーディングの課題
	3	Composition	リーディングの課題
	4	Meet the World Chapter 2	ライティングとリーディングの課題
	5	Composition	リーディングの課題
	6	Meet the World Chapter 3	ライティングとリーディングの課題
	7	Composition	リーディングの課題
	8	Meet the World Chapter 4	ライティングとリーディングの課題
	9	Composition	リーディングの課題
	10	Meet the World Outsiders Chapter 5	ライティングとリーディングの課題
	11	Composition	リーディングの課題
	12	Meet the World Chapter 6	リーディングの課題
	13	Composition	ライティングとリーディングの課題
	14	Meet the World Chapter 7	ライティングとリーディングの課題
	15	Composition	リーディングの課題
	16	Midterm Exam	中間試験の準備学習
	17	Film School of Rock	リーディングの課題
	18	Film School of Rock	ライティングとリーディングの課題
	19	Meet the World Chapter 8	リーディングの課題
	20	Composition	ライティングとリーディングの課題
	21	Meet the World Chapter 9	リーディングの課題
	22	Composition	ライティングとリーディングの課題
	23	Meet the World Chapter 10	リーディングの課題
	24	Composition	ライティングとリーディングの課題
	25	Meet the World Chapter 11	リーディングの課題
	26	Composition	ライティングとリーディングの課題
	27	Meet the World Chapter 12	リーディングの課題
	28	Composition	ライティングの課題
	29	Review	ライティングの課題
30	Review	期末試験の準備学習	
31	期末試験		

	<p>テキスト・参考文献・資料など Meet the World: English through Newspapers 2017 (若原 保彦 編著 成美堂 2017年)</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て ① 履修の心得： 「英語I」と「英語Ii」の単位を取得していることが望ましい。クラスの最初の20分間で、12回のクイズあるいはパラグラフ・ライティングをほぼ毎回実施するので、できるだけ出席をするように心がけてほしい。3分の1以上欠席した場合（このクラスは10回以上）には、大学の規定により単位を与えることはできません。30分以上遅刻した場合には、欠席とみなします。また、講義中の居眠りや授業内容に関係のないおしゃべり、スマートフォンや携帯電話の使用を禁止します。講義には英文辞書を持参してください。② 学びを深めるために： 講義時間外での予習・復習は外国語学習・習得には極めて重要です。毎日教科書を読むようにして、英文を読むことになれるように努力してください。</p>
	<p>評価 中間試験 25% 期末試験 25% 英文レポート（テキスト・映画の感想文）20% クイズとライティングの課題 20% プレゼンテーション（口頭発表）10% *中間試験と期末試験の両方を受験しない場合には単位を取得できません。</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目 (1) 関連科目：英語IV（後期学期提供）を受講を勧めます。(2) 次のステージ：英語の小説、新聞、雑誌などを読む努力をすることが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美 [法律・地行]	2年	ptt016@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 米国で実際に起きた環境問題を扱った裁判を通して、米国社会と法曹界の現実問題を知ること。映画という生きた英語の素材を用いて、英語表現や法律用語、文法等を学習し、教科書のreading読解力を高める。更に、dictationで書く力をつけ、学期末に映画の感想を英語で書いて(English essay)提出。	メッセージ 教科書は、映画の登場人物の表情や文脈の流れを見ながら生きた英語(4技能)が学習できるよう構成されている。少し難易度が高いので、教科書の練習問題と単語チェックは必ず事前にやっておくように。映画「エリン・プロコピッチ」を事前に観ておくことをお勧めする。
	到達目標 ① readingの内容を理解できる ② vocabularyやgrammarの習得 ③ 会話が正しく聞き取れる ④ 英語音声聴いて、英文を正しく書き取ることができる(Dictation) ⑤ 映画の感想を英語でA4用紙1～2枚に書くことができる(English essay)	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	Unit 1
	2	Story 1(1) Reading	Unit 2 pp.8-10
	3	Story 1(2) Reading	Unit 2 pp.11-13
	4	Story 1(3) Audio Visual Learning	Unit 3 pp.14-15
	5	Story 1(4) Audio Visual Learning	Unit 3 pp.16-18
	6	Story 2(1) Reading	Unit 4 pp.20-22
	7	Story 2(2) Reading	Unit 4 pp.23-25
	8	Story 2(3) Audio Visual Learning	Unit 5 pp.26-27
	9	Story 2(4) Audio Visual Learning	Unit 5 pp.28-30
	10	Story 3(1) Reading	Unit 6 pp.32-34
	11	Story 3(2) Reading	Unit 6 pp.35-37
	12	Story 3(3) Audio Visual Learning	Unit 7 pp.38-39
	13	Story 3(4) Audio Visual Learning	Unit 7 pp.40-42
	14	Follow up	Units 1～7復習
	15	Midterm Examination (Units 2-7)	同上
	16	Story 4(1) Reading	Unit 8 pp.44-46
	17	Story 4(2) Reading	Unit 8 pp.47-49
	18	Story 4(3) Audio Visual Learning	Unit 9 pp.50-51
	19	Story 4(4) Audio Visual Learning	Unit 9 pp.52-54
	20	Story 5(1) Reading	Unit 10 pp.56-58
	21	Story 5(2) Reading	Unit 10 pp.59-61
	22	Story 5(3) Audio Visual Learning	Unit 11 pp.62-63
	23	Story 5(4) Audio Visual Learning	Unit 11 pp.64-66
	24	Story 6(1) Reading	Unit 12 pp.68-70
	25	Story 6(2) Reading	Unit 12 pp.71-73
	26	Story 6(3) Audio Visual Learning	Unit 13 pp.74-75
	27	Story 6(4) Audio Visual Learning	Unit 13 pp.76-78
	28	Follow up, English essay の書き方・下書き	Units 8～13復習、USB持参
29	The Real Erin, English essay 下書き・校正	Unit 14 pp.80-82、USB持参	
30	English essay 校正して仕上げる	校正してくる USB持参	
31	Final Examination (Units 8-13), English essay 提出締切	Units 8～13復習、essayの仕上げ	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など English on Screen (金星堂、2015)</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>・履修の心構え> 単語チェックや練習問題は必ず事前にやってくる。練習問題の解答は全て学生にやってもらいます。積極的な態度が望ましい。講義中の私語や携帯/スマホの使用を堅く禁ずる。毎回、出席を取ります。遅刻3回で1回の欠課とみなし、欠席が10回になると単位は与えない。・学びを深めるために> 単語の量が多いので、整理して覚えられるよう自分なりに工夫してノートにまとめるとよいでしょう。</p>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Participation 10% (到達目標①②③④⑤) 2. Midterm Examination 40% (到達目標①②③) 3. Final Examination 40% (到達目標①②③) 4. Dictation 2% (到達目標④) 5. English Essay 8% (到達目標⑤)
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>映画は英語学習のよい教材なので、自分の好きな映画を何度も観て、表現の仕方や顔の表情、文化背景などをじっくり学んで知識を広げ、将来の可能性につなげて欲しいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子[法律・地行]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学教育においては、英語の文献を理解し、外国の学生や研究者との意見交換などができるようになることで、各専門分野の研究や調査の幅が広がる。必要最低限の読解力や文章を書く力を身につけるには、英文独特の構造やスタイルを理解し、様々な読み物を多読、熟読する訓練が有効だと考える。テーマや重要なポイントを読み取り、その要旨を自ら英文でまとめる練習を行い英語力強化を図る。</p>	<p>基本的テキストとして購読用(「星の王子さま」の英語版)、英作文用の2冊購入が必要。各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性化させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speakingに自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>
到達目標	<p>英文の読解力や文章力を養成する事を主目的とする。物語をチャプターごとに購読、分析、そしてディスカッションすることで自然に英語の文章に馴染む。又エッセイの書き方のノウハウを学び毎週英作文の課題を提出する。文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に付け、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	
	2	The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A/ エッセイ演習	単語テスト (V-test)対策
	3	TLP V-quiz, group discussion, presentation	エッセイ課題
	4	The TLP reading, listening, Q&A/エッセイ演習	単語テスト (V-test)対策
	5	TLP V-quiz, group discussion, presentation	エッセイ課題
	6	Test 1/ TLP reading /エッセイ演習	
	7	The TLP reading, listening, Q&A/エッセイ演習	単語テスト (V-test)対策
	8	TLP group discussion, mini-presentation	
	9	The TLP reading, listening, Q&A/エッセイ演習	単語テスト (V-test)対策
	10	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	11	Test 2/ TLP reading/エッセイ演習	
	12	The TLP reading, listening, Q&A/エッセイ演習	単語テスト (V-test)対策
	13	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	14	The TLP reading, listening, Q&A/エッセイ演習	単語テスト (V-test)対策
	15	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	16	Test 3/ TLP reading/エッセイ演習	
	17	The TLP reading, listening, Q&A/エッセイ演習	単語テスト (V-test)対策
	18	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	19	The TLP reading, listening, Q&A/エッセイ演習	単語テスト (V-test)対策
	20	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	21	Test 4/ TLP reading/エッセイ演習	
	22	The TLP reading, listening, Q&A/エッセイ演習	単語テスト (V-test)対策
	23	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	24	The TLP reading, listening, Q&A/エッセイ演習	単語テスト (V-test)対策
	25	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	26	Test 5/ TLP reading/エッセイ演習	
	27	The TLP reading, listening, Q&A/エッセイ演習	単語テスト (V-test)対策
	28	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	29	The TLP final presentation group 1	プレゼン準備
30	The TLP final presentation group 2	プレゼン準備	
31	Evaluation		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>購読用の基本テキスト（“The Little Prince”）及びエッセイ学習用のテキストを各自購入する事（初日に説明）。基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本） 2. 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意してください） 3. 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可） 4. 研究ノートを仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です） 5. 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語） 6. 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意” <p>*授業初日に重要な情報を発表します（初日の参加必須！）</p>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定着を図るために行う定期テスト（4～5回）における成績 2. 毎週提出する英文のエッセイの評価 3. グループ・ディスカッション発表への積極的参加 4. 最終プレゼンテーション 5. 授業態度、出席率
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語エッセイの発展クラスで書く力を更に伸ばすことが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [法律・地行]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	総合的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に「話す」、「読む」、「書く」、「聞く」事に関連した様々な形での学習を行う。「話す」活動では、日常会話の表現を覚え、「読む」活動では300語程度の英文の精読をする。また「書く」事に関しては文法・表現を学ぶ活動をする。さらに「聞く」事に関しては本文のリスニング等により英語の音声に慣れていく。	皆さんの中には、英語が好き、嫌い、どちらでもない。また、英語が得意、苦手な人もいます。英語が好き、得意な方々はそれをどんどん伸ばしていきましょう。苦手意識のある方はその苦手意識をちょっと側に置いてみてください。一緒に英語に触れ、使い、そして少しでも英語を「コミュニケーションの道具」として使うことができることを目指しましょう。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他者との意思疎通ができる。 2. 日常生活レベルの会話ができる。 3. 状況に応じた表現を使用できる。 4. 300語程度の英文を読み、理解できる。 5. 品詞（名詞・動詞・形容詞・副詞など）の概念が理解できる。 6. 英文法が理解できる。 7. 基本表現が使用できる。 8. 簡単な英文の文章が書ける 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Unit 1 A Piece of History in Your Closet	教科書Unit1 を事前に読む
	3	Unit1 & Unit 2 Birth Order among Siblings	教科書Unit2 を事前に読む
	4	Unit 2	同上
	5	Unit3 The Origin of Basketball	教科書Unit3 を事前に読む
	6	Unit 3 & Unit 4 Table Manners	教科書Unit4 を事前に読む
	7	Unit4	同上
	8	Unit4 & Unit5 Music Beats	教科書Unit5 を事前に読む
	9	Unit 5	同上
	10	Unit 6 Amazing Koalas	教科書Unit6 を事前に読む
	11	Unit6 & Unit 7 Coffee and Healthy Life	教科書Unit7 を事前に読む
	12	Unit 7	同上
	13	Preparation for the Mid-term Exam	中間試験対策をする
	14	中間試験 Unit1-7	同上
	15	Unit 8 Pyramids of Egypt	教科書Unit8 を事前に読む
	16	Unit 8 & Unit 9 Days of Showing Your Love	教科書Unit9 を事前に読む
	17	Unit 9	同上
	18	Unit 10 Unique Careers	教科書Unit10 を事前に読む
	19	Unit10 & Unit 11 The Story of Medusa	教科書Unit11 を事前に読む
	20	Unit 11	同上
	21	Unit 12 Genetic Modification	教科書Unit12 を事前に読む
	22	Unit 12 & Unit 13 Earth Day	教科書Unit13 を事前に読む
	23	Unit 13	同上
	24	Unit 14 Technology and Life	教科書Unit14 を事前に読む
	25	Unit 14	同上
	26	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	27	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
30	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする	
31	Final Exam (期末試験) Unit 8-14	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Reading Success 2 (2017年) 佐藤明彦 / Valerie Tidwell 成美堂 2,000円 (税込: 2,160円) 参考文献: プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>履修の心構え</p> <ol style="list-style-type: none"> 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 教室では携帯電話の電源を切ること。 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。
	<p>評価</p> <p>出席点20%、平常点30% (宿題・小テスト・レポート・授業への参加度)、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 また遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で総合的、基本的な英語力 (話す、読む、書く、聞く) の習得を目指し、さらなる英語の運用能力 (特にリーディングとライティング) の向上を目指しましょう。 関連科目としては、「英語IV」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [全学科]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	総合的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に「話す」、「読む」、「書く」、「聞く」事に関連した様々な形での学習を行う。「話す」活動では、日常会話の表現を覚え、「読む」活動では300語程度の英文の精読をする。また「書く」事に関しては文法・表現を学ぶ活動をする。さらに「聞く」事に関しては本文のリスニング等により英語の音声に慣れていく。	皆さんの中には、英語が好き、嫌い、どちらでもない。また、英語が得意、苦手な人もいます。英語が好き、得意な方々はそれをどんどん伸ばしていきましょう。苦手意識のある方はその苦手意識をちょっと側に置いてみてください。一緒に英語に触れ、使い、そして少しでも英語を「コミュニケーションの道具」として使うことができることを目指しましょう。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他者との意思疎通ができる。 2. 日常生活レベルの会話ができる。 3. 状況に応じた表現を使用できる。 4. 300語程度の英文を読み、理解できる。 5. 品詞（名詞・動詞・形容詞・副詞など）の概念が理解できる。 6. 英文法が理解できる。 7. 基本表現が使用できる。 8. 簡単な英文の文章が書ける。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Unit 1 A Piece of History in Your Closet	教科書Unit1 を事前に読む
	3	Unit1 & Unit 2 Birth Order among Siblings	教科書Unit2 を事前に読む
	4	Unit 2	同上
	5	Unit3 The Origin of Basketball	教科書Unit3 を事前に読む
	6	Unit 3 & Unit 4 Table Manners	教科書Unit4 を事前に読む
	7	Unit4	同上
	8	Unit4 & Unit5 Music Beats	教科書Unit5 を事前に読む
	9	Unit 5	同上
	10	Unit 6 Amazing Koalas	教科書Unit6 を事前に読む
	11	Unit6 & Unit 7 Coffee and Healthy Life	教科書Unit7 を事前に読む
	12	Unit 7	同上
	13	Preparation for the Mid-term Exam	中間試験対策をする
	14	中間試験 Unit1-7	同上
	15	Unit 8 Pyramids of Egypt	教科書Unit8 を事前に読む
	16	Unit 8 & Unit 9 Days of Showing Your Love	教科書Unit9 を事前に読む
	17	Unit 9	同上
	18	Unit 10 Unique Careers	教科書Unit10 を事前に読む
	19	Unit10 & Unit 11 The Story of Medusa	教科書Unit11 を事前に読む
	20	Unit 11	同上
	21	Unit 12 Genetic Modification	教科書Unit12 を事前に読む
	22	Unit 12 & Unit 13 Earth Day	教科書Unit13 を事前に読む
	23	Unit 13	同上
	24	Unit 14 Technology and Life	教科書Unit14 を事前に読む
	25	Unit 14	同上
	26	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	27	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
30	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする	
31	Fianl Exam (期末試験) Unit 8-14	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Reading Success 2 (2017年) 佐藤明彦 / Valerie Tidwell 成美堂 2,000円 (税込: 2,160円) 参考文献: プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>履修の心構え</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 4. 教室では携帯電話の電源を切ること。 5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。
	<p>評価</p> <p>出席点20%、平常点30% (宿題・小テスト・レポート・授業への参加度)、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 また遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で総合的、基本的な英語力 (話す、読む、書く、聞く) の習得を目指し、さらなる英語の運用能力 (特にリーディングとライティング) の向上を目指しましょう。 関連科目としては、「英語IV」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-親泊 かおり [法律・地行]	2年	講義終了時に教室で受け付け ; kaori@win. em ail. ne. jp	

学びの準備	ねらい 本講義においては、法律・地域行政を学ぶ学生を対象に、世界各地で起こっている様々な出来事を通じてその問題を考えながら、英語を学んでいくことに焦点を当てます。特に社会問題、歴史、カルチャー等の様々な現代の話題に触れながらリーディングスキルを磨きます。さらに、本文中の重要構文を覚えながら、自分の伝えたいことを英語で表現できるようライティングスキルを学びます。	メッセージ この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。特に英文を左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。
	到達目標 ①英語長文を正しく読み取ることができる。②自分自身の考えていることを平易な英語で伝えることができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	マンガブーム到来！マレーシアの国産漫画家たち	Unit1 予習および復習
	3	安いだけじゃない！ニュージーランドの最新ホステル事情	Unit2 予習および復習
	4	デザイン大国スウェーデンの秘密！	Unit3 予習および復習
	5	シンガポールの新名所はスーパー植物園	Unit4 予習および復習
	6	不況を生き抜くイタリアの若者たち	Unit5 予習および復習
	7	銃をめくり二分するアメリカ	Unit6 予習および復習
	8	オリンピックは町をどう変える！リオデジャネイロの場合	Unit7 予習および復習
	9	高層ビルの街：ドイツ・フランクフルト	Unit8 予習および復習
	10	死の街：インド・バンガラディッシュ	Unit9 予習および復習
	11	映画御・サウンドミュージックの街：オーストラリアザルツブルグ	Unit10 予習および復習
	12	ジンバブエ・ムバレ市場の一日	Unit11 予習および復習
	13	お守り作りで味わうタイの心	Unit12 予習および復習
	14	スウェーデン・イクメン大国の「タテババ」たち	Unit13 予習および復習
	15	文化の交差点・オランダ・マーストリヒト	Unit14 予習および復習
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 初回講義にて提示</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ユニット毎の小テストをする. ②30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす. ③10回以上の欠席は単位を与えない. ④予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事.
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小テスト 40% ②期末テスト 40% ③出席および宿題 20%
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本講義で習得した英語の基本的技能を用いて、さらに様々な分野に関心を持ち世界に目を向け、国際的視野に立って自分の意見を英語でまとめられるようになる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-前原 直子 [法律・地行]	2年	ptt756@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 基礎英語の4技能を身に付けることを目的としながら、特に読み・書きに力を入れる。テキストをとおして、ペアやグループでの練習問題や読解問題、ライティング課題、発表などに取り組む。	メッセージ 中学・高校で学んだはずのところもおさらいしながら、確実な使える基礎英語力を身につけましょう！
	到達目標 ①基礎英語の語彙・文法を習得する。 ②300～700文字程度の簡単な英文を読み、的確に理解することができる。 ③200～600文字程度の簡単な英文が適格に書けることができる。	

学びの準備	到達目標 ①基礎英語の語彙・文法を習得する。 ②300～700文字程度の簡単な英文を読み、的確に理解することができる。 ③200～600文字程度の簡単な英文が適格に書けることができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	Unit 1	予習&復習
	3	Unit 1	〃
	4	Unit 1	〃
	5	Writing Unit 1	〃
	6	Unit 2	〃
	7	Unit 2	〃
	8	Unit 2	〃
	9	Writing Unit 2	〃
	10	Test (Unit 1&2)	〃
	11	Unit 3	〃
	12	Unit 3	〃
	13	Unit 3	〃
	14	Writing Unit 3	〃
	15	Unit 4	〃
	16	Unit 4	〃
	17	Unit 4	〃
	18	Unit 4	〃
	19	Writing Unit 4	〃
	20	Test (Unit 3&4)	〃
	21	Unit 5	〃
	22	Unit 5	〃
	23	Unit 5	〃
	24	Unit 5	〃
	25	Writing Unit 5	〃
	26	Unit 6	〃
	27	Unit 6	〃
	28	Unit 6	〃
	29	Unit 6	〃
30	Writing Unit 6	復習	
31	Test (Unit 5&6)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Liz and John Soars 著 New Headway Elementary A1 - A2 Student's Book A (Unit 1~6, Writing Unit 1~6), Fourth edition (Oxford University Press)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①ほぼ毎回HOMEWORKとして課題を出すので、必ず取り組みましょう。 ②遅刻や無断欠席、私語や居眠り、LINEなどは厳禁です。 ③Unit2つ分ずつのテストが3回あります。</p>
	<p>評価</p> <p>課題&取り組み・・・30% テスト(3回)・・・70% *出席が3分の2に満たない、テストを2回以上を受けない場合、自動的に「不可」となります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>上位科目：英語Ⅳ 英語検定試験（STEP）準2級～2級レベル、TOEIC 380～460点レベルを修得することを目標としています。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮城 和文 [全学科(全学年)]	1年	ptt758@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 4技能のバランスのとれた伸長を最終目標に据えながらも、本講座では基礎的な「読み」「書き」の演習活動に焦点をあてる。	メッセージ 外国語の習得に近道はありません。日々の積み上げが大事です。真剣な中にも、楽しく学んでいける環境作りを心がけますので、みなさんの積極的な授業参加を期待しています。
	到達目標 (1)まとまりのある英文を効率的かつ正確に読めるようになる。そのために有効なskimming, scanningなどのreading skillsを身につけることができる。(2)期間中、Vocab-Notebookとよぶ「単語ノート」を自主作成し、継続的に語彙力増強に努めることができる。(3)読んだ内容について読後感を短文の英文でつづり、それをクラスで共有することができる。(4)毎週実施する語彙クイズでは、8割以上の正答率をめざし努力する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Course Introduction, Reading Skill Exercise 1	・シラバスをよく読んで理解する。
	2	Unit 1: A Piece of History in Your Closet, Quiz 01	
	3	Unit 2: Birth Order among Siblings, Quiz 02	
	4	Unit 3: The Origin of Basketball, Quiz 03	学期を通して以下を自律学習する
	5	Unit 4: Table Manners, Quiz 04	・毎回、単語ノート(10語)を作成する。
	6	Unit 5: Music Beats, Quiz 05	・少なくとも2回音読をすませ
	7	Unit 6: Amazing Koalas, Quiz 06	て毎回の授業にのぞむ。
	8	Review the Quizzes 1, Midterm Examination	・課題問題は、事前に解いて発表に備える。
	9	Unit 7: Coffee and Healthy Life, Quiz 07	・週1回のクイズに備える。
	10	Unit 8: Pyramids of Egypt, Quiz 08	・正答率の低いクイズ問題を復習し、定期テストに備える。
	11	Unit 9: Days of Showing Your Love, Quiz 09	
	12	Unit 10: Unique Careers, Quiz 10	
	13	Unit 11: The Story of Medusa, Quiz 11	
	14	Unit 12: Genetic Modification, Quiz 12	
	15	Unit 13: Earth Day OR Unit 14: Technology and Life, Quiz 13	
	16	Review the Quizzes 2, Final Examination	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Reading Success 2 (リーディング・サクセス2), Akihiko Sato & Valerie Tidwell (成美堂), 2017 ※朝野書房にて販売。全受講生必携。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①「単語ノート」用に学習ノートを1冊準備すること。デザイン・サイズは問わないが、ルーズリーフおよび他教科との併用ノートは不可。②授業日数の3分の1を超えて欠席すると、学則により単位は認められない。なお遅刻3回で、欠席1回とみなす。③やむを得ず講義を休む(休んだ)場合は、すみやかに所定の様式で欠席届を提出すること。なお初回の講義では、大事な確認事項があるので、正当な理由がない限り欠席しないこと。④積極的な辞書利用を奨励する。しかし、辞書機能のついた通信端末機器(スマートフォン等)については誤認を避けるため講義中の使用を認めない。⑤ 定期試験およびクイズ等は、原則として追・再試験は行わない。やむを得ない事情で受験できない場合は、すみやかに講師に申し出て対応を協議すること。⑥ 以下の行為は講義進行の妨げになるので厳に慎む：遅刻、私語、居眠り、ガム嚙および飲食、携帯通信機器の使用、理由不明の離席および退席</p>
実践	<p>評価</p> <p>①Examinations -40%, ②Quizzes -30%, ③Vocab-Notebook -20%, ④In-Class Contributions etc.-10% ※重要！単位取得には、①～④のすべての課題に取り組んでいることが必須。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>扱われているトピックの背景的知識を深めるために、新聞等の報道メディアに日ごろから積極的にふれておきましょう。また、Iネットなどを活用し、題材に関連した情報を収集・整理しておくことより効果的な講読活動につながるでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [全学科]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学教育においては、英語の文献を理解し、外国の学生や研究者との意見交換などができるようになることで、各専門分野の研究や調査の幅が広がる。必要最低限の読解力や文章を書く力を身につけるには、英文独特の構造やスタイルを理解し、様々な読み物を多読、熟読する訓練が有効だと考える。テーマや重要なポイントを読み取り、その要旨を自ら英文でまとめる練習を行い英語力強化を図る。</p>	<p>基本的テキストとして購読用(「星の王子さま」の英語版)、英作文用の2冊購入が必要。各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性化させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speakingに自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>
到達目標	<p>英文の読解力や文章力を養成する事を主目的とする。物語をチャプターごとに購読、分析、そしてディスカッションすることで自然に英語の文章に馴染む。又エッセイの書き方のノウハウを学び毎週英作文の課題を提出する。文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身につけ、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation & skill check	
	2	The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	3	TLP V-quiz, group discussion, presentation	エッセイ課題
	4	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	5	TLP V-quiz, group discussion, presentation	エッセイ課題
	6	Test 1/ TLP reading	
	7	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	8	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	9	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	10	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	11	Test 2/ TLP reading	
	12	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	13	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	14	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	15	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	16	Test 3/ TLP reading	
	17	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	18	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	19	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	20	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	21	Test 4/ TLP reading	
	22	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	23	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	24	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	25	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	26	Test 5/ TLP reading	
	27	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	28	TLP group discussion, mini-presentation	エッセイ課題
	29	The TLP final presentation group 1	プレゼン準備
30	The TLP final presentation group 2	プレゼン準備	
31	Evaluation		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>購読用の基本テキスト（“The Little Prince”）及びエッセイ学習用のテキストを各自購入する事（初日に説明）。基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本） 2. 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意してください） 3. 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可） 4. 研究ノート仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です） 5. 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語） 6. 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意” <p>*授業初日に重要な情報を発表します（初日の参加必須！）</p>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定着を図るために行う定期テスト（4～5回）における成績 2. 毎回の授業後提出する研究ノートの評価 3. グループ・ディスカッション発表への積極的参加 4. 最終プレゼンテーション 5. 授業態度、出席率
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイの発展クラスで更に書く力を伸ばすことが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島村 麗 [全学科(全学年)]	1年	l-shimamura@hotmail.co.jp	

学びの準備	ねらい 沖縄について、英語で書かれたテキストを読み、沖縄の歴史、文化現代社会について英語で表現できる力を養う。	メッセージ 英語を通して、沖縄について様々な事を学習します。毎回復讐のテストを実施しますので、授業以外での学習にも力を入れてほしいです。
	到達目標 ・英文を読み、内容をよく理解する。 ・各Chapterに関する事項に興味を持つ。 ・英作文を通して、自己や意見や考えを表現する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語IIIについてのオリエンテーション(テキスト・授業の進め方・評価方法等)	Chapter0の単語等を予習する
	2	Chapter 0: information (geographical information / historical information / basic data)	Chapter0の復讐
	3	Review Chapter 0: Quize / Chapter 0 に関する英作文	Chapter1の単語等を予習する
	4	Chapter 1: history 1 (The Beginning of the Ryukyu kingdom)	Chapter 1 の復讐
	5	Review Chapter1: Quize / Chapter 1 に関する英作文	Chapter2の単語等を予習する
	6	Chapter 2: culture 1 (The World Heritage Sites)	Chapter2の復讐
	7	Review Chapter 2: Quize / Chapter 2 に関する英作文	Chapter3の単語等を予習する
	8	Chapter 3: culture 2 ("Sannshin"- the Heart of Okinawa)	Chapter3の復讐
	9	Review Chapter 3: Quize / Chapter 3 に関する英作文	Chapter4の単語等を予習する
	10	Chapter 4 : history 2 (Under the Rule of China and Japan)	Chapter4の復讐
	11	Review Chapter4 : Quize / Chapter 4 に関する英作文	Chapter5の単語等を予習する
	12	Chapter 5 : culture 3 (The Folk Arts of Okinawa)	Chapter5の復讐
	13	Review Chapter 5 : Quize / Chapter 5 に関する英作文	Chapter6の単語等を予習する
	14	Chapter 6 : culture 4 (A Folk Tale of Okinawa: The Ear-cutting Monk)	Chapter6の復讐
	15	Review Chapter 6 : Quize / Chapter 6 に関する英作文	Chapter7の単語等を予習する
	16	Chapter 7: history 3 (The End of the Ryukyu Kingdom)	Chapter7の復讐
	17	Review Chapter 7: Quize / Chapter 7 に関する英作文	Chapter8の単語等を予習する
	18	Chapter 8 : history 4 (The Battle of Okinawa)	Chapter8の復讐
	19	Review Chapter 8: Quize /Chapter 8 に関する英作文	Chapter9の単語等を予習する
	20	Chapter 9 : history 5 (The Himeyuri)	Chapter9の復讐
	21	Review Chapter 9 : Quize / Chapter 9 に関する英作文	Chapter10の単語等を予習する
	22	Chapter 10 : history 6 (Under U.S.Rule)	Chapter10の復讐
	23	Review Chapter 10 : Quize / Chapter 10に関する英作文	Chapter11の単語等を予習する
	24	Chapter 11 : peace 1 (One of the stones of Okinawa : The U.S.Bases)	Chapter11の復讐
	25	Review Chapter 11 : Quize / Chapter 11に関する英作文	Chapter12の単語等を予習する
	26	Chapter 12 : peace 2 (other stones in Okinawa: The Cornerstone of Peace Memorial)	Chapter12の復讐
	27	Review Chapter12 : Quize / Chapter 12 に関する英作文	Chapter13の単語等を予習する
	28	Chapter 13 : environment (Two Islands of Yaeyama)	Chapter13の復讐
	29	Review Chapter 13 : Quize / Chapter 13 に関する英作文	Chapter14の単語等を予習する
30	Chapter 14 : life (Foods and Women: The Support of the Islands)	Final Examに向けてのReview	
31	Review Chapter 14 / Final Exam		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 「The History of Okinawa-from past to Present」 エミル出版, その他DVDや他の資料も利用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 沖縄の歴史や文化等に興味を持ち、テキスト以外の資料等も利用して、英語での表現の仕方を学び、また自己の考えなども英語で表現できるように、積極的に学んでほしい。</p>
	<p>評価 出席状況・quizの点数・提出物のプリント・Final Exam の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 レベル上の英語の授業を受け、英検やTOEIC等の資格試験などにも積極的に挑戦し、英語力アップに努力して欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [法律・地行]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>基本的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に特に「読む」事や「書く」事に関連した様々な形での学習を行う。「読む」活動では幅広い話題に関連した300語程度の英文の精読（時には音読も）をし、リーディング力の養成をする。「書く」事に関しては文法、語彙、表現を段階的に学び、ライティング力の養成に努める。又、簡単なリスニングも行う。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎英文法が理解できる。 2. 英語の基本表現が使用できる。 3. 300語程度の英文を読み（音読も含む）、理解できる。 4. 簡単な英文のリスニングができる。 5. 簡単な英文の文章が書ける。 	<p>授業の中でわからないことは、質問して下さい。グループワーク等がありますのでその中でも積極的に活動してください。他者との関わりの中には、自分自身の新たな発見、成長の鍵が隠されています。英語を効果的に習得する鍵は皆さん自身が握っています。「間違いを恐れる」から「間違いから学ぶ」へ発想の転換し、基本的な英語を習得し、自分の世界をもっと広げていきましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Ch1 Fast Food: Nothing New under the Sun!	Ch1を事前に読む
	3	Ch1 & Ch 2 Famous Dogs	Ch2を事前に読む
	4	Ch2	同上
	5	Ch3 When Was it Invented?	Ch3を事前に読む
	6	Ch3 & Ch4 Never Give Up	Ch4を事前に読む
	7	Ch4	同上
	8	Ch5 The Migration of the Monarch ...	Ch5を事前に読む
	9	Ch5 & Ch6 New Foods from the New World	Ch6を事前に読む
	10	Ch6	同上
	11	Ch7 Foreign Language Study ...	Ch7を事前に読む
	12	Ch7 & Preparation for the Mid-term exam	中間試験対策をする
	13	中間試験 Ch1-7	中間試験対策をする
	14	Ch8 Isaac Lufkin: The Armless Football Player	Ch8を事前に読む
	15	Ch8 & Ch9 Atlantis, the Lost Empire	Ch9を事前に読む
	16	Ch9	同上
	17	Ch10 Pope Francis: A New Kind of Pope	Ch10を事前に読む
	18	Ch10 & Ch11 The Power of Meditation	Ch11を事前に読む
	19	Ch11	同上
	20	Ch12 Sedona: Harmony with Nature	Ch12を事前に読む
	21	Ch12 & Ch13 Malala: Champion of Education	Ch13を事前に読む
	22	Ch13	同上
	23	Ch14 Universities: Past, Present and Future	Ch14を事前に読む
	24	Ch14 & Ch15 Lighting up the Future	Ch15を事前に読む
	25	Ch15	同上
	26	Watching a DVD (Writng an essay)	DVDに関連した資料チェック
	27	Watching a DVD (Writng an essay)	DVDに関連した資料チェック
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
30	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする	
31	Final Exam (期末試験) Ch8-15	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Read Well, Write Better (2016年) Joan McConnell, 武田修一、山内圭 成美堂 2,000円 (税別) (教科書を変更する場合があります) 参考文献：プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>履修の心構え</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 4. 教室では携帯電話の電源を切ること。 5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。
	<p>評価</p> <p>出席点20%、平常点30% (宿題・小テスト・レポート・授業への参加度)、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 また遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で学習した基本的な英語運用能力 (特にリーディングとライティング) を実生活や専門科目で応用できることを目指して欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [全学科]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>基本的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に特に「読む」事や「書く」事に関連した様々な形での学習を行う。「読む」活動では幅広い話題に関連した300語程度の英文の精読（時には音読も）をし、リーディング力の養成をする。「書く」事に関しては文法、語彙、表現を段階的に学び、ライティング力の養成に努める。又、簡単なリスニングも行う。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎英文法が理解できる。 2. 英語の基本表現が使用できる。 3. 300語程度の英文を読み（音読も含む）、理解できる。 4. 簡単な英文のリスニングができる。 5. 簡単な英文の文章が書ける。 	<p>授業の中でわからないことは、質問して下さい。グループワーク等がありますのでその中でも積極的に活動してください。他者との関わりの中には、自分自身の新たな発見、成長の鍵が隠されています。英語を効果的に習得する鍵は皆さん自身が握っています。「間違いを恐れる」から「間違いから学ぶ」へ発想の転換し、基本的な英語を習得し、自分の世界をもっと広げていきましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Ch1 Fast Food: Nothing New under the Sun!	Ch1を事前に読む
	3	Ch1 & Ch 2 Famous Dogs	Ch2を事前に読む
	4	Ch2	同上
	5	Ch3 When Was it Invented?	Ch3を事前に読む
	6	Ch3 & Ch4 Never Give Up	Ch4を事前に読む
	7	Ch4	同上
	8	Ch5 The Migration of the Monarch ...	Ch5を事前に読む
	9	Ch5 & Ch6 New Foods from the New World	Ch6を事前に読む
	10	Ch6	同上
	11	Ch7 Foreign Language Study ...	Ch7を事前に読む
	12	Ch7 & Preparation for the Mid-term exam	中間試験対策をする
	13	中間試験 Ch1-7	中間試験対策をする
	14	Ch8 Isaac Lufkin: The Armless Football Player	Ch8を事前に読む
	15	Ch8 & Ch9 Atlantis, the Lost Empire	Ch9を事前に読む
	16	Ch9	同上
	17	Ch10 Pope Francis: A New Kind of Pope	Ch10を事前に読む
	18	Ch10 & Ch11 The Power of Meditation	Ch11を事前に読む
	19	Ch11	同上
	20	Ch12 Sedona: Harmony with Nature	Ch12を事前に読む
	21	Ch12 & Ch13 Malala: Champion of Education	Ch13を事前に読む
	22	Ch13	同上
	23	Ch14 Universities: Past, Present and Future	Ch14を事前に読む
	24	Ch14 & Ch15 Lighting up the Future	Ch15を事前に読む
	25	Ch15	同上
	26	Watching a DVD (Writng an essay)	DVDに関連した資料チェック
	27	Watching a DVD (Writng an essay)	DVDに関連した資料チェック
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
30	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする	
31	Final Exam (期末試験) Ch8-15	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Read Well, Write Better (2016年) Joan McConnell, 武田修一、山内圭 成美堂 2,000円 (税別) (教科書を変更する場合があります) 参考文献：プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>履修の心構え</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 4. 教室では携帯電話の電源を切ること。 5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。
	<p>評価</p> <p>出席点20%、平常点30% (宿題・小テスト・レポート・授業への参加度)、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。 また遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で学習した基本的な英語運用能力 (特にリーディングとライティング) を実生活や専門科目で応用できることを目指して欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-親泊 かおり [法律・地行]	2年	講義終了時に教室で受け付け または kaori@win.email.ne.jp	

学びの準備	ねらい この講義では、アメリカ国内のニュース番組“World News Tonight”から収録されたニュースをもとに講義を行う。アメリカの家庭でアメリカ人が実際に見ている生の新しいニュースを視聴することで、英語をより身近なものとして感じ、英語に対する興味を高めながら、英語を学んでいくことに焦点を当てます。	メッセージ この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。英文を返り読みすることなしに、意味の切れ目ごとに、左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。
	到達目標 ①英語を正しく聞き取ることができる。 ②英文を正しく読み取ることができる ③自分自身の考えていることを平易な英語で伝えることができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	のびのび育児は自由すぎ?	Unit1 予習および復習
	3	ドローンがホワイトハウスに侵入	Unit2 予習および復習
	4	動物たちのお見合い	Unit3 予習および復習
	5	ピザの空輸作戦	Unit4 予習および復習
	6	もしも宝くじが当たったら	Unit5 予習および復習
	7	オバマ大統領がインド公式訪問	Unit6 予習および復習
	8	サイバー犯罪から身を守るためには	Unit7 予習および復習
	9	行列ができる人気のハンバーショップ	Unit8 予習および復習
	10	完璧なリンゴとは	Unit9 予習および復習
	11	吹雪で交通事故多発	Unit10 予習および復習
	12	ロシア人スパイ逮捕される	Unit11 予習および復習
	13	はしかの大流行	Unit12 予習および復習
	14	スクールバスは本当に安全	Unit13 予習および復習
	15	米・キューバ、国交正常化へ	Unit14 予習および復習
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など ABC World News 18 KINSEIDO</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①ユニット毎の小テストをする。 ②30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす。 ③10回以上の欠席は単位を与えない。 ④予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事。 注意：第1週目ガイダンスにてグループ分けを行い、ユニットごとの訳の割り当てを行うので必ず出席すること！</p>
	<p>評価 ①小テスト 50% ②期末テスト 40% ③出席 10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 本講義で習得した英語の基本的技能を用いて、英語で発信されている様々な情報に関心をもち、国際的視野に立って自分の意見を英語でまとめられるようになる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-前原 直子 [法律・地行]	2年	ptt756@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 基礎英語の4技能を身に付けることを目的としながら、特に読み・書きに力を入れる。テキストをとおして、ペアやグループでの練習問題や読解問題、ライティング課題、発表などに取り組む。	メッセージ 中学・高校で学んだはずのところもおさらいしながら、確実な使える基礎英語力を身につけましょう！
	到達目標 ①英語検定試験準2級～2級レベルを習得する。 ②300～800文字程度の簡単な英文を読み、的確に理解することができ、 ③200～500文字程度の簡単な英文が書けるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス&前期のふりかえり	
	2	Unit 7	復習・予習
	3	Unit 7	〃
	4	Unit 7	〃
	5	Writing Unit 7	〃
	6	Unit 8	〃
	7	Unit 8	〃
	8	Unit 8	〃
	9	Writing Unit 8	〃
	10	Test (Unit 7&8)	〃
	11	Unit 9	〃
	12	Unit 9	〃
	13	Unit 9	〃
	14	Unit 9	〃
	15	Writing Unit 9	〃
	16	Unit 10	〃
	17	Unit 10	〃
	18	Unit 10	〃
	19	Writing Unit 10	〃
	20	Test (Unit 9&10)	〃
	21	Unit 11	〃
	22	Unit 11	〃
	23	Unit 11	〃
	24	Unit 11	〃
	25	Writing Unit 11	〃
	26	Unit 12	〃
	27	Unit 12	〃
	28	Unit 12	〃
	29	Unit 12	〃
30	Writing Unit 12	復習	
31	Test (Unit 11&12)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Liz and John Soars 著 New Headway Elementary A1 - A2 Student's Book B (Unit 7~12, Writing Unit 7~12), Fourth edition (Oxford University Press)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①ほぼ毎回HOMEWORKとして課題を出すので、必ず取り組みましょう。 ②遅刻や無断欠席、私語や居眠り、LINEなどは厳禁です。 ③Unit2つ分ずつのテストが3回あります。</p>
	<p>評価</p> <p>課題&取り組み・・・30% テスト(3回)・・・70% *出席が3分の2に満たない、テストを2回以上を受けない場合、自動的に「不可」となります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>上位科目：英語V</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮城 和文 [全学科(全学年)]	1年	ptt758@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 前期「英語Ⅲ」の発展コースとして、Reading Skillsのさらなる向上をめざす。	メッセージ 外国語の習得に近道はありません。日々の積み上げが大事です。真剣な中にも、楽しく学んでいける環境作りを心がけますので、みなさんの積極的な授業参加を期待しています。
	到達目標 (1)比較的長めの英文エッセイにも躊躇せず読み通すことができる。(2)読んだ内容や読後の感想を短い文章にまとめることができ、受講生同士で共有することで扱われている題材の理解深化をめざす。(3)期間中、Three Line Diaryとよぶ「仮称：三行日記」を書きつけることができる。(4)毎週実施するクイズで8割以上の正答率をめざし、語彙力増強に努める。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Course Introduction, Reading Skill Exercise 1	・シラバスをよく読んで理解する。
	2	Unit 1 & 2, Scanning 1, Predicting 1, Quiz 01	
	3	Unit 3 & 4, Skimming 1, Recognizing Sequence of Events, Quiz 02	
	4	Unit 5, Identifying Main Ideas 1, Review the Units 1, Quiz 03	学期を通して以下の自律学習
	5	Unit 6 & 7, Predicting 2, Scanning 2, Quiz 04	・毎回、単語ノート(10語)を作成する。
	6	Unit 8 & 9, Skimming 2, Identifying Main Ideas 2, Quiz 05	・少なくとも2回音読をすませ
	7	Unit 10, Skimming 3, Review the Units 2, Quiz 06	て毎回の授業にのぞむ。
	8	Review the Quizzes 1, Midterm Examination	・課題問題は、事前に解いて発表に備える。
	9	Unit 11 & 12, Skimming for Faster Reading, Quiz 07	・週1回のクイズに備える。
	10	Unit 13 & 14, Reading without a Dictionary, Quiz 08	・正答率の低いクイズ問題を復習し、定期テストに備える。
	11	Unit 15, Predicting, Review the Units 3, Quiz 09	
	12	Unit 16 & 17, Looking for Specific Information, Quiz 10	
	13	Unit 18 & 19, Reading for Pleasure , Quiz 11	
	14	Unit 20, Paragraph Reading, Review the Units 4, Quiz 12	
	15	Reading Skill Exercise 2, Quiz 13	
	16	Review the Quizzes 2, Final Examination	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>英語Ⅲにおける受講生の理解度・到達度等を考慮に入れて、テキストを選定する予定。 よって、上記授業計画 身近な話題を集めたテキスト()</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①「単語ノート」用に学習ノートを1冊準備すること。デザイン・サイズは問わないが、ルーズリーフおよび他教科との併用ノートは不可。② 授業日数の3分の1を超えて欠席すると、学則により単位は認められない。なお遅刻3回で、欠席1回とみなす。③やむを得ず講義を休む(休んだ)場合は、すみやかに所定の様式で欠席届を提出すること。なお初回の講義では、大事な確認事項があるので、正当な理由がない限り欠席しないこと。④ 積極的な辞書利用を奨励する。しかし、辞書機能のついた通信端末機器(スマートフォン等)については誤認を避けるため講義中の使用を認めない。⑤ 定期試験およびクイズ等は、原則として追・再試験は行わない。やむを得ない事情で受験できない場合は、すみやかに講師に申し出て対応を協議すること。⑥ 以下の行為は講義進行の妨げになるので厳に慎む：遅刻、私語、居眠り、ガム噛および飲食、携帯通信機器の使用、理由不明の離席および</p>
学 び の 実 践	<p>評価</p> <p>①Examinations -40%, ②Quizzes -30%, ③Vocab-Notebook -20%, ④In-Class Contributions etc.-10% ※重要！単位取得には、①～④のすべての課題に取り組んでいることが必須。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>扱われているトピックの背景的知識を深めるために、新聞等の報道メディアに日ごろから積極的にふれておきましょう。また、Iネットなどを活用し、題材に関連した情報を収集・整理しておくことより効果的な講読活動につながるでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [全学科]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学教育においては、英語の文献を理解し、外国の学生や研究者との意見交換などができるようになることで、各専門分野の研究や調査の幅が広がる。必要最低限の読解力や文章を書く力を身につけるには、英文独特の構造やスタイルを理解し、様々な読み物を多読、熟読する訓練が有効だと考える。テーマや重要なポイントを読み取り、その要旨を自ら英文でまとめる練習を行い英語力強化を図る。</p>	<p>基本的テキストとして「星の王子さま」の英語版を用いる。又、各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性化させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speakingに自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>
到達目標	<p>英文の読解力や英語での表現力を養成する事を主目的とする。クラスで扱うエッセイや物語を購読後、発表、英作する中で、文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に着ける。又、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
		テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation & skill check	
	2	The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	3	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	4	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	5	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	6	Test 1/ TLP reading	
	7	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	8	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	9	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	10	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	11	Test 2/ TLP reading	
	12	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	13	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	14	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	15	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	16	Test 3/ TLP reading	
	17	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	18	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	19	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	20	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	21	Test 4/ TLP reading	
	22	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	23	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	24	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	25	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	26	Test 5/ TLP reading	
	27	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	28	TLP group discussion, mini-presentation	研究ノート提出
	29	The TLP final presentation group 1	プレゼン準備
30	The TLP final presentation group 2	プレゼン準備	
31	Evaluation		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>基本テキストとして、“The Little Prince”を各自購入する事（初日に説明）。 基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本） 2. 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意してください） 3. 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可） 4. 研究ノートを仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です） 5. 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語） 6. 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意” *授業初日に重要な情報を発表します（初日の参加必須！）
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定着を図るために行う定期テスト（4～5回）における成績 2. 毎回の授業後提出する研究ノートの評価 3. グループ・ディスカッション発表への積極的参加 4. 最終プレゼンテーション 5. 授業態度、出席率
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイのクラスで書く力を伸ばすことが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島村 麗[全学科(全学年)]	1年	l-shimamura@hotmail.co.jp	

学びの準備	ねらい 日本の文化・社会について英語で書かれたテキストを読み、理解しそれぞれの文を短い英文に要約することによって、文章力をつけることをねらいとする。	メッセージ 日本の文化社会に目を向け、それを英語で表現することを目標にします。毎回予習・復習を通して英語の力をつけていきましょう。
	到達目標 ・比較的日常的な日本の事柄を、英語で学び外国人との英語でのコミュニケーションにつなげたい。 ・英文を多読することで、読解力を身につける。 ・長文を英語で要約することによって、英作文の力を上達させる。	

学びの準備	到達目標 ・比較的日常的な日本の事柄を、英語で学び外国人との英語でのコミュニケーションにつなげたい。 ・英文を多読することで、読解力を身につける。 ・長文を英語で要約することによって、英作文の力を上達させる。
-------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語IVについてのオリエンテーション(テキスト・授業の進め方・評価方法等)	(1)の予習(単語・内容)
	2	(1) Sushi (culture 1)	(2)の予習(単語・内容)
	3	(2) Kimono(culture 2)	(3)の予習(単語・内容)
	4	(3) Matsuri(culture 3)	(4)の予習(単語・内容)
	5	(4) Chanoyu and Ikebana (culture 4)	(5)の予習(単語・内容)
	6	(5) Budo (culture 5)	(6)の予習(単語・内容)
	7	(6) Kabuki and Noh (culture 6)	(7)の予習(単語・内容)
	8	(7) Teien = Japanese Garden (culture 7)	(8)の予習(単語・内容)
	9	(8) Origami	(9)の予習(単語・内容)
	10	(9) O-chugen and O-Seibo (culture 8)	(10)の予習(単語・内容)
	11	(10) Tanabata (culture 9)	(11)の予習(単語・内容)
	12	(11) O-bon (culture 10)	(12)の予習(単語・内容)
	13	(12) Shogatsu (culture 11)	(13)の予習(単語・内容)
	14	(13) Children's Day (culture 12)	(14)の予習(単語・内容)
	15	(14) The Youth Culture (culture 13)	(15)の予習(単語・内容)
	16	(15) The Mass Culture and Manga (culture 14)	(16)の予習(単語・内容)
	17	(16) Greeting (society 1)	(17)の予習(単語・内容)
	18	(17) Sumimasen (society 2)	(18)の予習(単語・内容)
	19	(18) Keigo (society 3)	(19)の予習(単語・内容)
	20	(19) Business Manners (society 4)	(20)の予習(単語・内容)
	21	(20) Meishi (society 5)	(21)の予習(単語・内容)
	22	(21) Shusin-koyo-sei(society 6)	(22)の予習(単語・内容)
	23	(22) Nenko-joretsu (society 7)	(23)の予習(単語・内容)
	24	(23) Marriage (society 8)	(24)の予習(単語・内容)
	25	(24) Family (society 9)	(25)の予習(単語・内容)
	26	(25) koreika-shakai(society 10)	(26)の予習(単語・内容)
	27	(26) Social Welfare (society 11)	(27)の予習(単語・内容)
	28	(27) Education (society 12)	(28)の予習(単語・内容)
	29	(28) Ijime=Bulling (society 13)	(29)の予習(単語・内容)
30	(29) kakusa-sdhakai (society 14)	Final Examに向けてのReview	
31	Final Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：“Let’s Understand the Japanese Mind”-英語で伝える日本の文化と社会（南雲堂）</p> <p>参考文献：（１）ZOOM IN ON JAPANESE CULTURE（MACMILLAN LANGUAGEHOUSE） （２）日本的事象英文説明300選（ハロー通訳アカデミー）</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>英文で書かれた日本の文化や現代社会問題等を読み、それらを英語で説明できるような力をつけて、外国人とのコミュニケーションに役立ててもらいたい。</p>
	<p>評価</p> <p>出席状況・（１）～（２９）の英文要約文：内容理解確認についての豆テスト、Final Exam 等の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>授業で身に着けた英文読解、英作文などを生かして、積極的に英語でのコミュニケーションに挑戦していこう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡久山 幸功 [法律・地行]	2年	Emai : l_realrealgone123@yaoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語購読・英作文のテキストを使用し、基本的な英文法を学習・体得しながら、英語によるリーディングおよびライティングのレベルアップを図る。英語I及び英語IIで学んだ英会話・コミュニケーション表現を多く含むベストセラーHOW-to 本 Skinny Bitch (2009) を講読することによって、平易な英文理解を強化していきます。	多読的な学習方法で講義を進めていきます。受講生は根気強くテキスト Skinny Bitch (2009) を繰り返し読んで授業に臨んでください。また、このクラスは全学の学生が受講するクラスなので、クラスメートと友人なって楽しい授業になるように、積極的に授業に参加することを心がけてください。
到達目標	現代アメリカ英文の長文を読むことができるようになる。現代アメリカ英語の日常英会話的な表現を理解できるようになる。基礎的な英文法を使用して基礎的な英文法を使用して自分の気持ち・意見を平易な英作文で表現できるようになる。現代社会における食の安全と環境破壊などの社会問題を理解することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス・オリエンテーション	リーディングの課題
	2	Skinny Bitch Chater 1	リーディングの課題
	3	Skinny Bitch Chater 1	ライティングの課題
	4	Composition	リーディングの課題
	5	Skinny Bitch Chater 2	ライティングの課題
	6	Composition	リーディングの課題
	7	Skinny Bitch Chapaer 3	リーディングの課題
	8	Skinny Bitch Chapter 3 Supersize Me (2008)	リーディングとライティングの課題
	9	Skinny Bitch Chapaer 3	ライティングの課題
	10	Composition	リーディングの課題
	11	Skinny Bitch Chapter 4	リーディングの課題
	12	Skinny Bitch Chapter 4 King Corn (2008)	リーディングとライティングの課題
	13	Skinny Bitch Chapter 4	ライティングの課題
	14	Composition	リーディングの課題
	15	Skinny Bitch Chapter 5	リーディングの課題
	16	Skinny Bitch Chapter 5	ライティングの課題
	17	Composition	中間試験の準備学習
	18	Midterm Exam	リーディングの課題
	19	Skinny Bitch Chapter 6	リーディングの課題
	20	Skinny Bitch Chapter 6 Food Inc. (2009)	リーディングとライティングの課題
	21	Skinny Bitch Chapter 6	ライティングの課題
	22	Composition	リーディングの課題
	23	Skinny Bitch Chapter 7 & 8	ライティングの課題
	24	Composition	リーディングの課題
	25	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	26	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	27	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	28	Skinny Bitch Chapter 10 Forks Over Knives	リーディングとライティングの課題
	29	Skinny Bitch Chapter 10	リーディングの課題
30	Skinny Bitch Chapter 10	期末試験の準備学習	
31	Final Exam	ライティングの課題	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Skinny Bitch Roy Fredman and Barnouin Running Press (2009)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ① 履修の心得：「英語III」の単位を取得していること。3分の1以上欠席した場合（このクラスは10回以上）には、大学の規定により単位を与えることはできません。30分以上遅刻した場合には、欠席とみなします。また、講義中の居眠りや授業内容に関係のないおしゃべり、スマートフォンや携帯電話の使用を禁止します。講義には英文辞書を持参してください。② 学びを深めるために：講義時間外での予習・復習は外国語学習・習得には極めて重要です。毎日教科書を読むようにして、英文を読むことになれるように努力してください。</p>
	<p>評価 中間試験 25% 期末試験 25% 英文レポートと（テキスト・映画の感想文）と各章毎のクイズ40% プレゼンテーション（口頭発表）10% *中間試験と期末試験のの両方を受験しない場合には単位を取得できません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 （1）関連科目：英語 V、英語 VI、英語 VII、英語VIII のクラスを継続して受講して、英語力をアップせるように努力してほしい。（2）次のステージ：英語の小説、新聞、雑誌などを読む努力をすることが望ましい。特に、Skinny Bitch はビジネス英語の語彙が頻出するので、TOEICテストを大学卒業までに受験してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美 [法律・地行]	2年	ptt016@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	日米の法律の違い、社会背景の違い等を扱った読み物（各章500～550 words程度）を読み、文化的な相違や考え方の違いを認識する。また、法律に関するテーマで短い英文のエッセイを課し、ライティングの強化を図る。	各章の読み物には、日米の実際の事例を基にしたエピソードが含まれており、法律に関する話題に触れながら比較文化を深めるよい機会になるであろう。グループ発表では、メンバーで協力して準備してほしい。中間・期末試験の他に英文のエッセイを課すので、日頃から英字新聞や小説を読むなどして英語に触れるよう勧める。
到達目標	① Reading内容を正しく理解し、法律用語を正しく使える ② 割り当てられた英文のReadingの音読と和訳ができる（グループ発表） ③ レポート形式のライティングの指導に従い、英語でエッセイが書ける（テーマは法律に関するもの。A4用紙サイズ1～2枚程度）	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	Unit 1 予習
	2	Unit 1 Child Abuse (児童虐待)	Unit 1 Reading内容・単語予習
	3	Unit 1 Child Abuse (児童虐待)	Unit 1 Exercises 予習
	4	Unit 1 Child Abuse (児童虐待)	日米の児童保護について調べる
	5	Unit 2 Divorce (離婚)	Unit2 Reading内容/単語/練問予習
	6	Unit 2 Divorce (離婚)	婚前契約について調べる
	7	Unit 3 Wills (遺言)	Unit3 Reading内容/単語/練問予習
	8	Unit 3 Wills (遺言)	遺産相続について調べる
	9	Unit 4 Bankruptcy (破産)	Unit4 Reading内容/単語/練問予習
	10	Unit 4 Bankruptcy (破産)	日米の医療事情について調べる
	11	Unit 5 Breach of Contract (契約違反)	Unit5 Reading内容/単語/練問予習
	12	Unit 5 Breach of Contract (契約違反)	解雇事情について調べる
	13	Unit 6 Traffic Violations (交通違反)	Unit6 Reading内容/単語/練問予習
	14	Unit 6 Traffic Violations (交通違反)	交通違反事情について調べる
	15	Midterm Examination (中間試験)	Units 1-6 Review
	16	Unit 7 Products Liability (製造物責任)	Unit7 Reading内容/単語/練問予習
	17	Unit 7 Products Liability (製造物責任)	裁判員と陪審員について調べる
	18	Unit 8 Harassment in the Workplace (職場でのハラスメント)	Unit8 Reading内容/単語/練問予習
	19	Unit 8 Harassment in the Workplace (職場でのハラスメント)	職場のセクハラについて調べる
	20	Unit 9 Copyright Infringement on the Internet(インターネット上での著作権侵害)	Unit9 Reading内容/単語/練問予習
	21	Unit 9 Copyright Infringement on the Internet (インターネット上での著作権侵害)	著作権法違反について調べる
	22	Unit 10 Anti-Stalking Law (ストーカー規制法)	Unit10 Reading内容/単語/練問予習
	23	Unit 10 Anti-Stalking Law (ストーカー規制法)	ストーカー規制法について調べる
	24	Unit 11 Rehabilitation of Juvenile Criminals (若年犯罪者の更生)	Unit11 Reading内容/単語/練問予習
	25	Unit 11 Rehabilitation of Juvenile Criminals (若年犯罪者の更生)	若年犯罪者の更生について調べる
	26	Unit 12 Miscarriage of Justice (誤審・冤罪)	Unit12 Reading内容/単語/練問予習
	27	Unit 12 Miscarriage of Justice (誤審・冤罪)	誤審・冤罪について調べる
	28	How to write an English essay (writing 指導)	テーマを決める
29	〃	下書きを書く	
30	〃	下書きを終える	
31	Final Examination (期末試験) + English essay 提出 (紙媒体)	編集作業と清書	
		Units 7-12 Review	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Legal Matters (CENGAGE Learning, 2010)</p>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修の心構え> リーディング内容を読み、単語調べや練習問題は必ず事前にやってくる。英語学習では予習が大事なので、単語帳を作るなど、ノート作りをすると学習効果上がるであろう。その積み重ねが評価につながる。練習問題の解答は全て学生にやってもらう。積極的な態度が望ましい。講義中の私語や携帯/スマホの使用を強く禁ずる。毎回、出欠を確認する。遅刻3回で1回の欠課とみなし、欠席が10回になると単位を与えない。 ・学びを深めるために> 教科書で扱っている法律のテーマに沿って、書籍やネット等でいろいろ調べると、さらに深い学びができるでしょう。
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中間試験 --- 30% (到達目標①) 2. 期末試験 --- 30% (到達目標①) 3. グループ発表 (リーディング内容の音読と和訳) --- 15% (到達目標②) 4. 英文レポート --- 15% (到達目標③) 5. 授業参加度 --- 10%
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>レベル上の英語クラスや大学主催の英語合宿、英語スピーチコンテストへの参加等。また英検・TOEICにも挑戦して英語能力を磨いてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子[法律・地行]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学教育においては、英語の文献を理解し、外国の学生や研究者との意見交換などができるようになることで、各専門分野の研究や調査の幅が広がる。必要最低限の読解力や文章を書く力を身につけるには、英文独特の構造やスタイルを理解し、様々な読み物を多読、熟読する訓練が有効だと考える。テーマや重要なポイントを読み取り、その要旨を自ら英文でまとめる練習を行い英語力強化を図る。</p>	<p>基本的テキストとして「星の王子さま」の英語版を用いる。又、各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speakingに自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>
到達目標	<p>英文の読解力や英語での表現力を養成する事を主目的とする。クラスで扱うエッセイや物語を購読後、発表、英作する中で、文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に着ける。又、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation & skill check	
	2	The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	3	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	4	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	5	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	6	Test 1/ TLP reading	
	7	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	8	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	9	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	10	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	11	Test 2/ TLP reading	
	12	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	13	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	14	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	15	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	16	Test 3/ TLP reading	
	17	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	18	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	19	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	20	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	21	Test 4/ TLP reading	
	22	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	23	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	24	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	25	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	26	Test 5/ TLP reading	
	27	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	28	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	29	The TLP final presentation group 1	プレゼン準備
30	The TLP final presentation group 2	プレゼン準備	
31	Evaluation		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>基本テキストとして、“The Little Prince”を各自購入する事（初日に説明）。 基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本） 2. 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意してください） 3. 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可） 4. 研究ノートを仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です） 5. 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語） 6. 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意” *授業初日に重要な情報を発表します（初日の参加必須！）
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定着を図るために行う定期テスト（4～5回）における成績 2. 毎回の授業後提出する研究ノートの評価 3. グループ・ディスカッション発表への積極的参加 4. 最終プレゼンテーション 5. 授業態度、出席率
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイのクラスで書く力を伸ばすことが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語V	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [全学科]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ペア活動を中心にしながら、英検2級レベルの総合的な英語力の向上を目指すと共に、オーラルコミュニケーションの育成の指導にも力を入れる。	メッセージ 総合的な英語力を高め、英検2級の取得を目指したい人は、一緒に勉強しましょう。
	到達目標 ・英検2級レベルの総合的な英語力の育成を目指す。 ・英語による自己表現力の向上を図る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	よくシラバスを読むこと
	2	Quiz, Grammar & Listening (1)	文で覚える単熟語 (1)
	3	Quiz, Grammar & Listening (2)	文で覚える単熟語 (2)
	4	Quiz, Grammar & Listening (3)	文で覚える単熟語 (3)
	5	Quiz, Grammar & Listening (4)	文で覚える単熟語 (4)
	6	Quiz, Grammar & Listening (5)	文で覚える単熟語 (5)
	7	Quiz, Grammar, Listening & Reading (1)	文で覚える単熟語 (6)
	8	Quiz, Grammar, Listening & Reading (2)	文で覚える単熟語 (7)
	9	Quiz, Grammar, Listening & Reading (3)	文で覚える単熟語 (8)
	10	Quiz, Grammar, Listening & Reading (4)	文で覚える単熟語 (9)
	11	Quiz, Grammar, Listening & Reading (5)	文で覚える単熟語 (10)
	12	Quiz, Grammar, Listening & Reading (6)	文で覚える単熟語 (11)
	13	Quiz, Grammar, Listening & Reading (7)	文で覚える単熟語 (12)
	14	Quiz, Grammar, Listening & Reading (8)	文で覚える単熟語 (13)
	15	Quiz, Grammar, Listening & Reading (9)	文で覚える単熟語 (14)
	16	模擬テスト	これまでの総復習をすること
	17	Quiz, Grammar, Listening & Reading (10)	文で覚える単熟語 (15)
	18	Quiz, Grammar, Listening & Reading (11)	文で覚える単熟語 (16)
	19	Quiz, Grammar, Listening & Reading (12)	文で覚える単熟語 (17)
	20	Quiz, Grammar, Listening & Reading (13)	文で覚える単熟語 (18)
	21	Quiz, Grammar, Listening & Reading (14)	文で覚える単熟語 (19)
	22	Quiz, Grammar, Listening & Reading (15)	文で覚える単熟語 (20)
	23	スピーチテスト	スピーチ原稿の作成
	24	Quiz, Grammar, Listening & Reading (16)	文で覚える単熟語 (21)
	25	Quiz, Grammar, Listening & Reading (17)	文で覚える単熟語 (22)
	26	Quiz, Grammar, Listening & Reading (18)	文で覚える単熟語 (23)
	27	Quiz, Grammar, Listening & Reading (19)	文で覚える単熟語 (24)
	28	Quiz, Grammar, Listening & Reading (20)	文で覚える単熟語 (25)
	29	Quiz, Grammar, Listening & Reading (21)	文で覚える単熟語 (26)
30	Quiz, Grammar, Listening & Reading (22)	これまでの総復習をすること	
31	期末テスト	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英検 2 級 文で覚える単熟語 (旺文社) 2. 参考書等をオリエンテーションの時間に連絡する。
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合には、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、Quizの準備等、英語学習に積極的に取り組むこと。
	<p>評価</p> <p>出席状況、授業態度、クイズ、スピーチテスト、模擬・期末テストの結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この講義で学んだことを活かし、英検準 1 級レベルの学習をする英語VIや、より高度な英語VII、英語VIIIを履修してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語VI	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子 [全学科]	1年	akooshiro@oku.ac.jp	

学びの準備	ねらい 4技能の活動を通して英検準一級程度の力を習得できるようにする。	メッセージ 様々な活動を楽しみsつつ行っていきましょう！
	到達目標 英検準一級レベルの英語力をつける。	

学びの準備	到達目標 英検準一級レベルの英語力をつける。
-------	---------------------------

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	
	2	Reading1& Others	
	3	Reading2& Listening1	
	4	Reading3& Listening2	
	5	Reading 4 & Listening 3	
	6	Reading5& Listening4	
	7	Reading6& Listening5	
	8	Listening6 & Others	
	9	Review1 & Others	
	10	Speaking 1 & Others	
	11	Speaking 2 & Others	
	12	Reading7 & Listening7	
	13	Reading8 & Listening8	
	14	Reading9 & Listening9	
	15	Reading10 & Listening10	
	16	Reading11 & Listening11	
	17	Reading12 & Listening12	
	18	Review2 & Others	
	19	Activity 1	
	20	Speaking 3 & Others	
	21	Speaking 4 & Others	
	22	Reading13 & Listening13	
	23	Reading14 & Listening14	
	24	Reading15 & Listening15	
	25	Reading16& Listening16	
	26	Reading17& Listenin17	
	27	Reading18 Listening18	
	28	Review4 & Others	
	29	Speaking 5 & Others	
30	Speaking 6 & Others		
31	Proficiency Test		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 授業でお伝えします。 授業で随時お伝えします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 英語に触れ、使う機会を自からつくり活用してください。</p>
	<p>評価 授業態度、Review等での成果、クイズ等 総合的に評価します</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語Ⅶ、Ⅷの科目であり、英語を自信をもって用いることが次へのステージとなります。</p>

※ポリシーとの関連性 「キャリア形成に役立つ、実践的でより高度な英語力の向上を図るべく、それに沿った学習方法を学び、実践する。」

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅶ	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [全学科]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	TOEICの教材を用いて英語力を身につけ、同時に就職にも有利な資格(スコア)の取得を目指す。また、自分にあった英語学習方法を見つけ、自立した学習者となることを目標とする。	満点保持者の担当教員自らほぼ毎回公開テストを受験し、問題傾向を調査・分析し、対策を練っています。一緒に「TOEICまみれ」になりましょう！ 【重要】受講希望者は必ず初日(オリエンテーション)に出席すること。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・7月23日の公開テストで個人で50～100点以上スコアアップを目指し、英語力をつける。 ・TOEICテストを熟知し、自分の得意な分野とそうでない分野を分析できるようになる。 ・自分に合った学習方法を見つけ、学習を継続し、自立した学習者になる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (TOEIC学習についての心構え)	模試実施・採点
	2	学習プランニング・基礎文法	模試実施・採点
	3	模試結果分析・解説	Part 2予習
	4	Listening Part 2	Part 2復習、「やる単」Unit 1
	5	Listening Part 2	Part 2復習、「やる単」Unit 1
	6	Listening Part 2	Part 2問題作成、「やる単」Unit 2
	7	Listening Part 2 (まとめ・小テスト)	Reading予習、「やる単」Unit 2
	8	Reading 問題のアプローチ方法、Part 5 イントロ	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	9	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	10	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	11	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	12	Reading Part 5 (品詞問題・まとめ、小テスト)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	13	Reading Part 5 (動詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	14	Reading Part 5 (語彙問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 6
	15	Reading Part 5 (その他の問題)	Part 5問題作成「やる単」Unit 6
	16	Reading Part 5 (まとめ・小テスト)	Part 2&5復習、「やる単」Unit 7
	17	中間テスト (Listening Part 2 & Reading Part 5)	Part 1予習、「やる単」Unit 7
	18	Listening Part 1	Part 1復習、「やる単」Unit 8
	19	Listening Part 1	Part6 予習、「やる単」Unit 8
	20	Reading Part 6	Part6 復習、「やる単」Unit 9
	21	Reading Part 6 (文章挿入型問題)	Part 7予習、「やる単」Unit 9
	22	Reading Part 7 (チャット・シングルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	23	Reading Part 7 (ダブルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	24	Reading Part 7 (マルチプルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 1-2
	25	Reading Part 7 (まとめ・小テスト)	Part 3&4 予習「やる単」Unit 3-4
	26	Listening Part 3	Part 3&4 復習「やる単」Unit 5-6
	27	Listening Part 4	Part 3&4 復習「やる単」Unit 7-8
	28	「やる単」Review Unit 1-5、Listening Part 3 & 4	Part 3&4復習「やる単」Unit 9-10
	29	「やる単」Review Unit 6-10、Listening Part 3 & 4	全パート復習
30	直前対策・全パート復習	全パート復習	
31	TOEICフェスタ (振り返り)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：①TOEICテスト非公式問題集 至高の400問、ヒロ前田、テッド寺倉、ロス・タロック著（アルク） ②TOEICテストやたらと出る英単語クイックマスター、テッド寺倉&上原ちとせ共著（アルク） *両方必要です。各自で購入すること。（朝野書房の販売はありません。） 参考書：TOEICテスト直前の技術、ロバートヒルキ、ポールワーデン、ヒロ前田共著（アルク） *参考書は、必ずしも購入する必要は無いが、購入するのであれば最新版（2015年11月出版）を勧める。 その他の参考書や資料は必要に応じて授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ほぼ毎回単語クイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的、かつ積極的にやること。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。 ・目標スコアを設定し、モチベーションを維持し、学習を継続すること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性（25%）②課題・宿題（25%）③小テスト・単語クイズ（25%）④個人目標達成度・Self Reflection（25%）を総合的に判断して評価する。</p> <p>また、授業以外に積極的に英語活動を行ったもの、ゲーム等の勝者にはボーナスポイントを与える場合があるのでそれらも考慮する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>目標スコア取得後はさらに高得点を目指すか、英検などの他の資格を目指すかなど、今後の学習計画を立てると良い。出来れば海外旅行や留学なども視野に入れ、英語を活用する機会を増やしてほしい。将来の進路が決まっている学生は、その職種や業界で求められている英語レベルを把握し、それに向かって学習を継続すれば仕事にも大いに役立つであろう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅷ	後期	火3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	津波 聡	1年	satoshi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい Listening, Speaking, Reading, Writing活動を通して、英語力向上を目指します。	メッセージ 中級以上（2級以上）の英語力を要します。
	到達目標 To acquire pre-1st-grade-level (TOEFL 500-Level) proficiency through listening, reading, speaking, and writing activities	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	
	2	Drill 1	Out-of-Class Exercise 1
	3	Drill 2	Out-of-Class Exercise 2
	4	Drill 3	Out-of-Class Exercise 3
	5	Drill 4	Out-of-Class Exercise 4
	6	Quiz 1, Speaking 1	Out-of-Class Exercise 5
	7	Drill 5	Out-of-Class Exercise 6
	8	Drill 6	Out-of-Class Exercise 7
	9	Drill 7	Out-of-Class Exercise 8
	10	Drill 8	Out-of-Class Exercise 9
	11	Quiz 1, Speaking 2	Out-of-Class Exercise 10
	12	Drill 9	Out-of-Class Exercise 11
	13	Drill 10	Out-of-Class Exercise 12
	14	Drill 11	Out-of-Class Exercise 13
	15	Drill 12	Out-of-Class Exercise 14
	16	Quiz 1, Speaking 3	Out-of-Class Exercise 15
	17	Drill 13	Out-of-Class Exercise 16
	18	Drill 14	Out-of-Class Exercise 17
	19	Drill 15	Out-of-Class Exercise 18
	20	Drill 16	Out-of-Class Exercise 19
	21	Quiz 1, Speaking 4	Out-of-Class Exercise 20
	22	Drill 17	Out-of-Class Exercise 21
	23	Drill 18	Out-of-Class Exercise 22
	24	Drill 19	Out-of-Class Exercise 23
	25	Drill 20	Out-of-Class Exercise 24
	26	Quiz 1, Speaking 5	Out-of-Class Exercise 25
	27	Drill 21	Out-of-Class Exercise 26
	28	Drill 22	Out-of-Class Exercise 27
	29	Drill 23	Out-of-Class Exercise 28
30	Drill 24	Out-of-Class Exercise 29	
31	Quiz 1, Speaking 6	Out-of-Class Exercise 30	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Worksheets will be distributed in class.</p>
	<p>学びの手立て (1) All the worksheets must be filed in a portfolio. (2) Out-of-class exercises must be done on a regular basis. (3) Most of in-class activities are to be done in pairs. (4) Class will be conducted in English.</p>
	<p>評価 Class participation 30% Quizzes/Out-of-class exercises 50% Portfolio 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>